
アジア新興国における競争力強化に資する スタートアップ投資に関する調査

I. スタートアップへの投資動向

2021年4月

日本貿易振興機構（JETRO）
対日投資部 対日投資課
DX推進チーム

調査対象資料、集計条件

- 本調査レポートは、以下の調査対象資料などに基づき、株式会社日本総合研究所に作成を委託した。

■ 調査対象資料

- データ分析の元となるデータは、基本的に2021年12月時点のCrunchbaseのデータベースを基にして集計（Exit件数のデータのみ2021年3月再取得）。

■ 集計条件

- 「投資件数」については、原則投資ラウンド数と一致するが、投資元国別の分析においては、1件の投資案件に2社以上の投資家が投資している場合、すべて1カウントとして集計している。
Ex) 1件の投資案件に5社が参加している場合、投資件数は5件とする。
- 「投資金額」について、投資元国別の分析においては、1件の投資案件に2社以上の投資家が投資している場合、その投資案件金額を参加している全投資家で按分して集計している。
Ex) 1件100万ドルの投資案件に5社が参加している場合、1社の投資金額は20万ドルとする。

■ その他

- 本報告書内では、「国・地域」を全て「国」と表記する。
- 凡例は、読みやすさを優先し、各図表につき主要なもののみを記載している。すべての業種凡例は巻末に掲載。

■ スタートアップの定義

- 使用したCrunchbaseデータベースに登録されている、“Funding Stage”がSeed、Early Stage Venture、Late Stage Venture、Private Equityの4つのうちいずれかとなっているものをスタートアップとしてカウントした。（Seedには、Angel、Seed、Preseed、Early StageはSeriesA、B、Late StageはSeriesC以降を含んでいる。）
- 使用したデータベースは右記のものである。Crunchbase(<https://www.crunchbase.com>)
- また、投資実行時に企業設立から15年以内（16年目を迎えていない）ものを対象としている。

目次

- 本調査レポートの調査対象国と調査対象年、掲載ページなどは以下の通り。

I. スタートアップへの投資動向		II. 日本企業および主要海外企業による投資動向	III. アジア新興国への投資を通じた競争力強化の事例
	ページ	調査対象年	
1. インド	P.5	2008年以降	報告書全体版 あるいは II章版を参照
2. シンガポール	P.17		
3. インドネシア	P.26		
4. タイ	P.35	2016年以降	
5. ベトナム	P.42		
6. フィリピン	P.49		
7. マレーシア	P.56		
8. ミャンマー	P.63	2018年以降	
9. カンボジア	P.69		
10. ラオス	対象案件なし		

調査結果サマリー

(1) アジア新興国におけるスタートアップへの投資動向

【インド・シンガポール・インドネシア】

- スタートアップへの投資は、2015年頃から急速に増加。中でもインドは2015年以降、年間1,000件を超える投資が行われている（2020年を除く）。各国、シードラウンドへの投資を中心に増加。
- 投資先の業種としては、情報通信業、宿泊・飲食サービス業、運輸・保管業などが占める割合が高い。
- 社会課題分類（※p13参照）別にみると、インド、インドネシアでは「食料確保/資源の有効利用」、シンガポールは「健康/福祉」に関連するスタートアップへの投資件数が多い。

【タイ・ベトナム・フィリピン・マレーシア】

- シンガポール、インドネシアの数分の1の規模ではあるが投資は増加傾向。年間数十件の投資が行われている。いずれの国でもシードラウンドへの投資が中心。
- 投資先の業種としては、情報通信業への投資が共通して比較的多いが、直近では、タイで運輸・保管業、ベトナムで卸売・小売業への投資が急増するなど、国によって特色が異なる。

【ミャンマー・カンボジア】

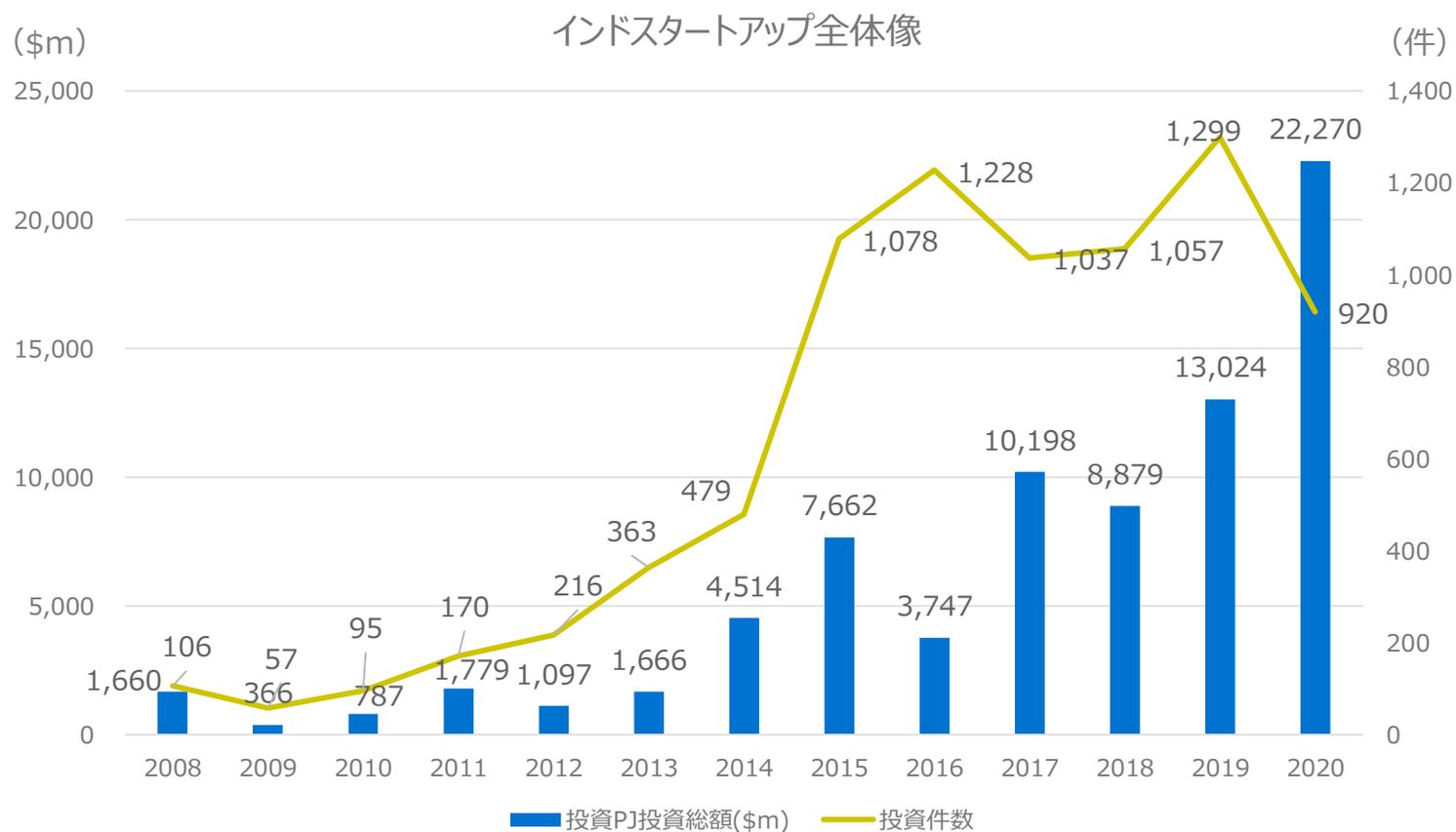
- 年に数件程度、投資が行われている。カンボジアはSeed、Earlyの投資のみが存在。
- 投資先の業種は年によってばらつきがあるが、直近2020年はいずれも情報通信業への投資が中心

I. アジア新興国におけるスタートアップへの投資動向

(1) インドにおけるスタートアップへの投資動向

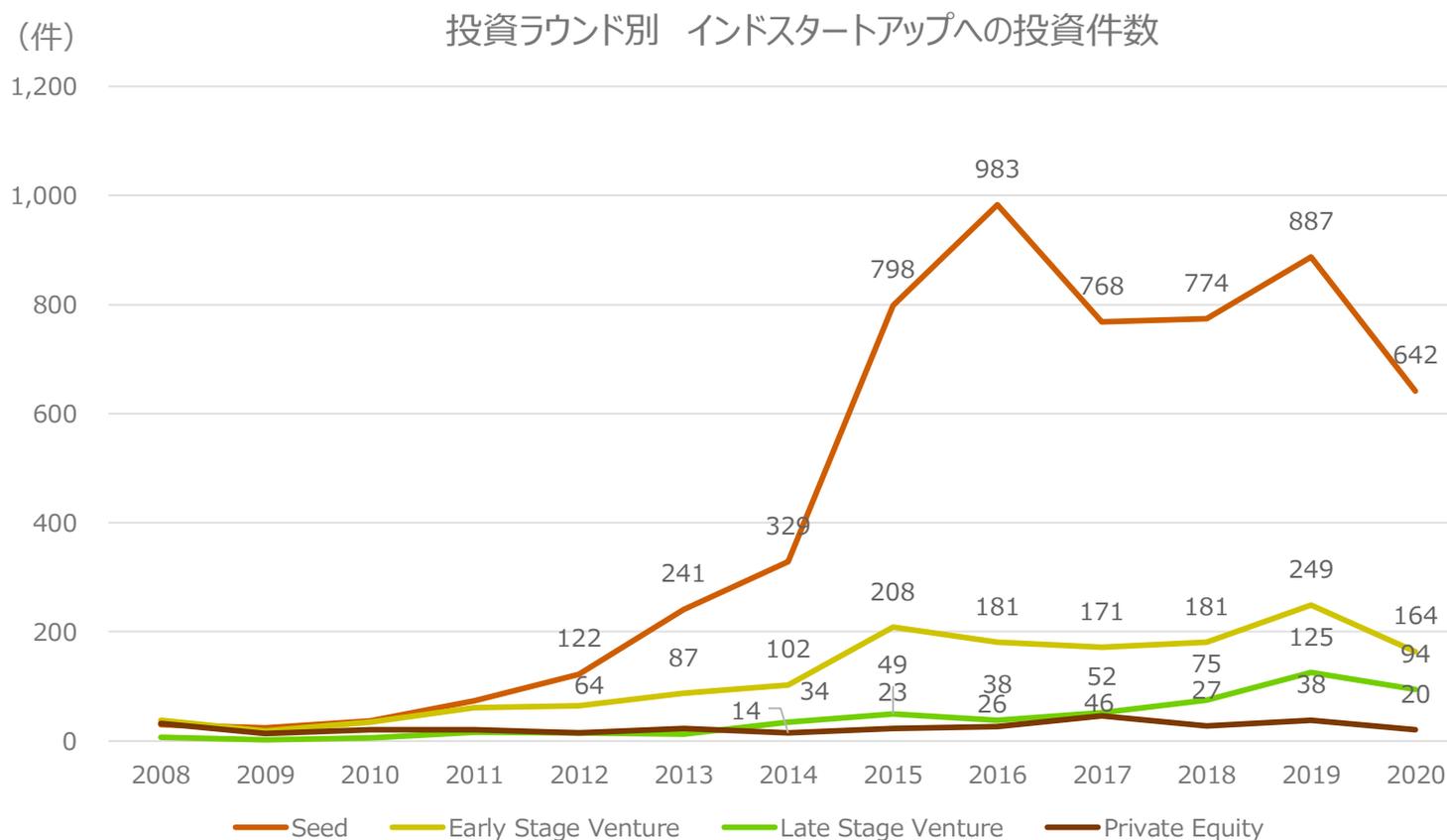
(0) インドスタートアップへの投資 全体像

- インドのスタートアップへの投資をみると、2008年以降、金額は増加傾向。件数もおおむね増加傾向。
- 新型コロナウイルスの影響を受けた2020年は、件数は大幅に落ち込んだものの、金額は大きく伸びている。



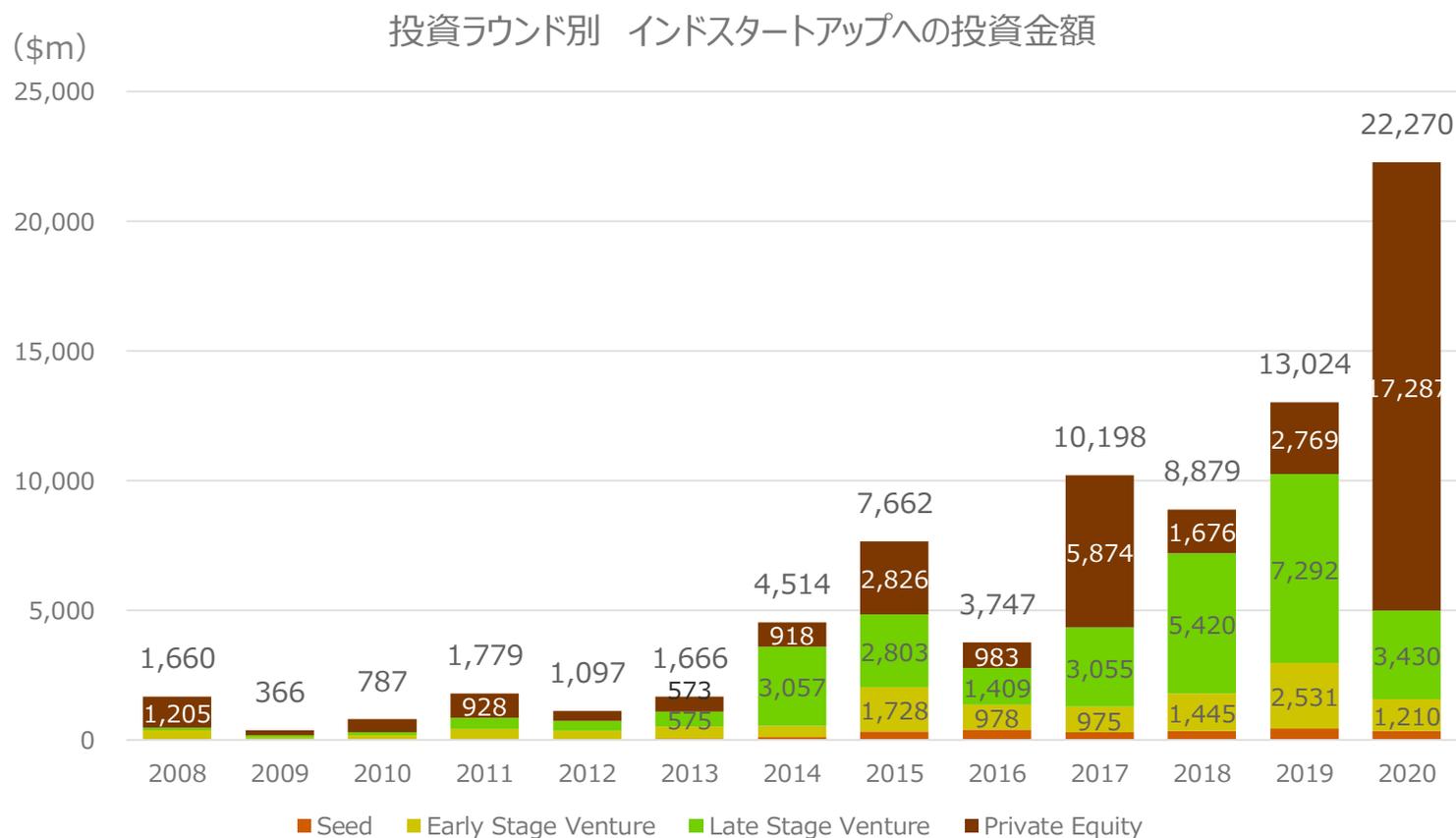
(1) インドスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- 件数が大きく伸長してきたのは主にSeedの企業への投資である。2020年はすべてのステージにおいて投資件数の減少がみられる。



(1) インドスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

- 金額別では1件当たりの投資金額の大きいLate StageとPEが大きい傾向にある。
- 特に2020年はPEが大きく伸びている。



(参考) Crunchbaseにおける業種分類基準

- Crunchbaseにおける業種判断は「Industry Groups」を用いた（一企業が複数業種に跨る場合も有り）。
- ただし、業種数が多いため、傾向などの判別のため国際標準産業分類で再集計し、分析を行った。

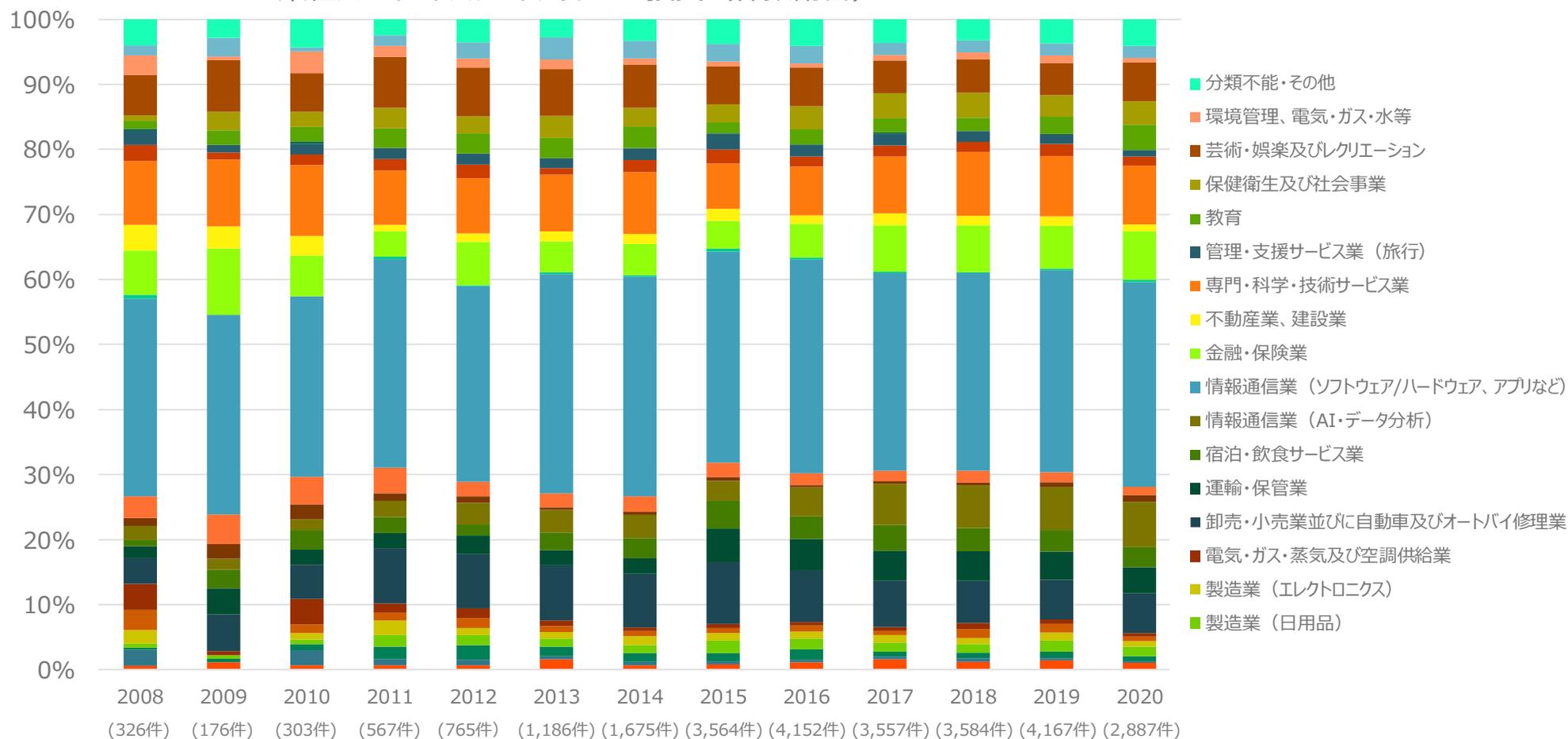
Crunchbase Industry Groups	国際標準分類記号	国際標準産業分類 (一部文言加工)
Agriculture and Farming	A	農業・林業及び漁業
Natural Resources	B	鉱業及び採石業
Clothing and Apparel	C	製造業（衣料）
Consumer Goods	C	製造業（日用品）
Consumer Electronics	C	製造業（エレクトロニクス）
Manufacturing	C	製造業
Energy	D	電気・ガス・蒸気及び空調供給業
Commerce and Shopping	G	卸売・小売業/自動車など
Transportation	H	運輸・保管業
Food and Beverage	I	宿泊・飲食サービス業
Advertising	J	情報通信業（広告・出版）
Apps	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Artificial Intelligence	J	情報通信業（AI・データ分析）
Content and Publishing	J	情報通信業（広告・出版）
Data and Analytics	J	情報通信業（AI・データ分析）
Hardware	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Information Technology	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Internet Services	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Messaging and Telecommunications	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Mobile	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Navigation and Mapping	J	情報通信業（ナビ、マッピング）
Platforms	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Software	J	情報通信業（ソフトウェア/ソフトウェア、アプリなど）
Video	J	情報通信業（映像）

Crunchbase Industry Groups	国際標準分類記号	国際標準産業分類 (一部文言加工)
Financial Services	K	金融・保険業
Lending and Investments	K	金融・保険業
Payments	K	金融・保険業
Real Estate	L&F	不動産業、建設業
Biotechnology	M	専門・科学・技術サービス業
Design	M	専門・科学・技術サービス業
Professional Services	M	専門・科学・技術サービス業
Sales and Marketing	M	専門・科学・技術サービス業
Science and Engineering	M	専門・科学・技術サービス業
Administrative Services	N	管理・支援サービス業
Privacy and Security	N	管理・支援サービス業
Travel and Tourism	N	管理・支援サービス業（旅行）
Government and Military	O	公務及び国防・義務的社会保障事業
Education	P	教育
Health Care	Q	保健衛生及び社会事業
Events	R	芸術・娯楽及びレクリエーション
Gaming	R	芸術・娯楽及びレクリエーション
Media and Entertainment	R	芸術・娯楽及びレクリエーション
Music and Audio	R	芸術・娯楽及びレクリエーション
Sports	R	芸術・娯楽及びレクリエーション
Community and Lifestyle	S	その他のサービス業
Other	X	分類不能
Sustainability	X&a	環境・インフラ

(2) インダスタートアップへの投資 業種別投資件数

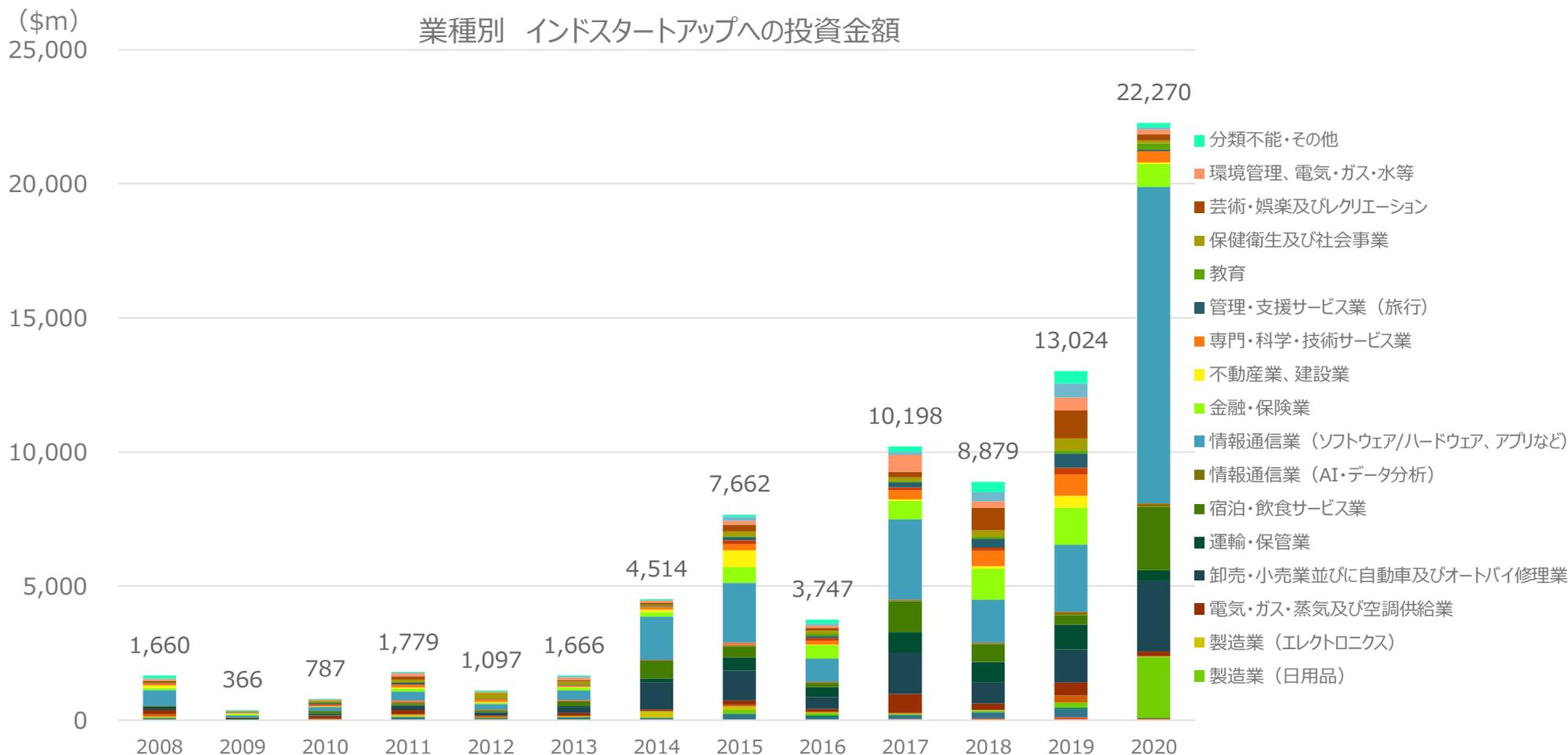
- 業種別の投資件数は、毎年3分の1程度は情報通信業が占める。
- 全体として、毎年の業種比率の傾向に大きな変動はみられない。

業種別 インダスタートアップへの投資 (件数割合)



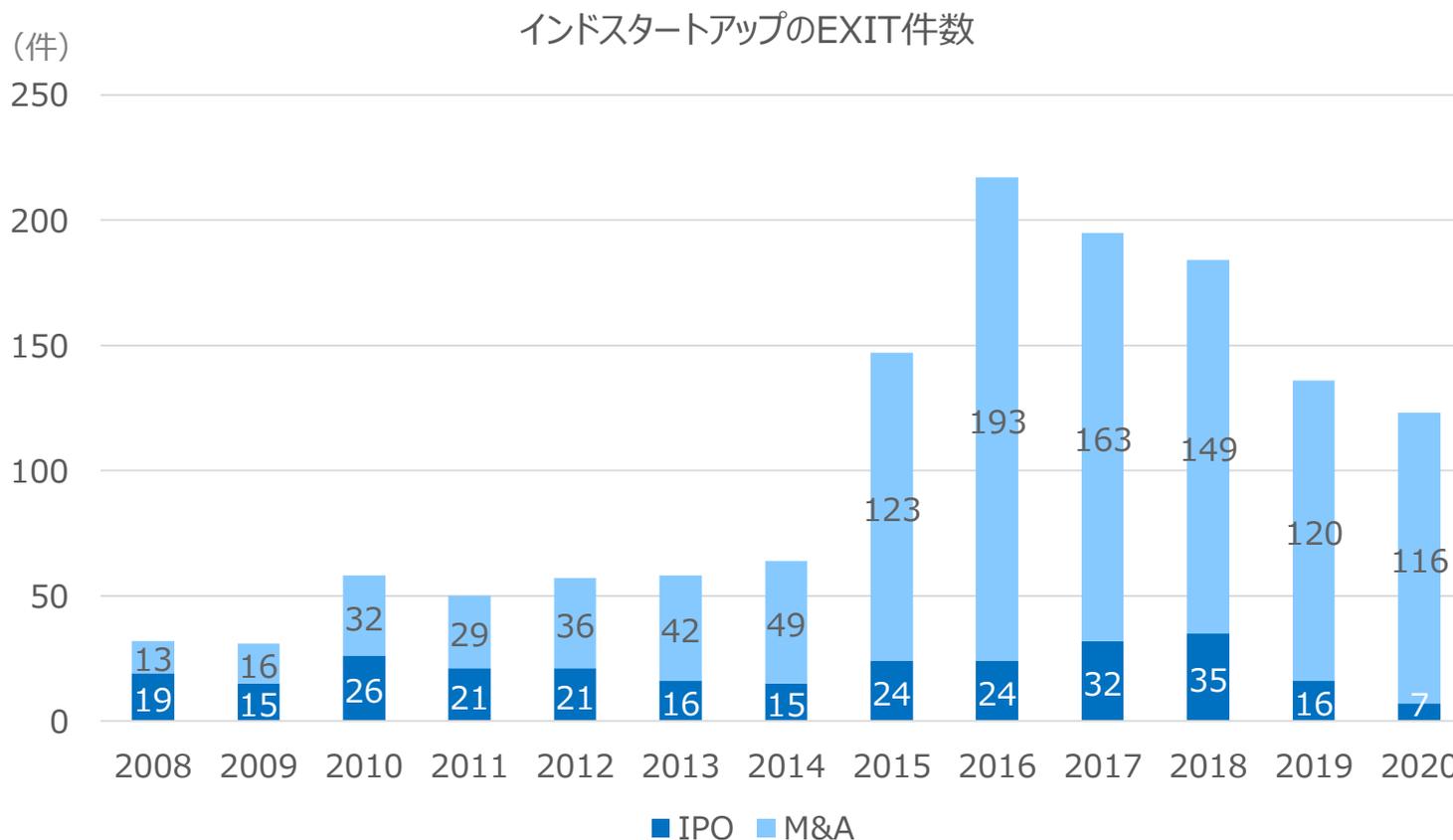
(2) インダスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 投資金額ベースでは情報通信業、卸売・小売、金融・保険業のスタートアップへの投資が多くみられる。
- 2020年の投資金額の大きな伸びは、情報通信業のスタートアップへの投資の影響によるものだった。



(3) インドスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

- インドのスタートアップのEXITは2016年まで増加し、直近数年間は減少傾向にある。
- 2008年以降、IPOの件数に大きな変動はなく、M&AによるEXITの増加が、全体件数を押し上げている。



(参考) 社会課題の設定

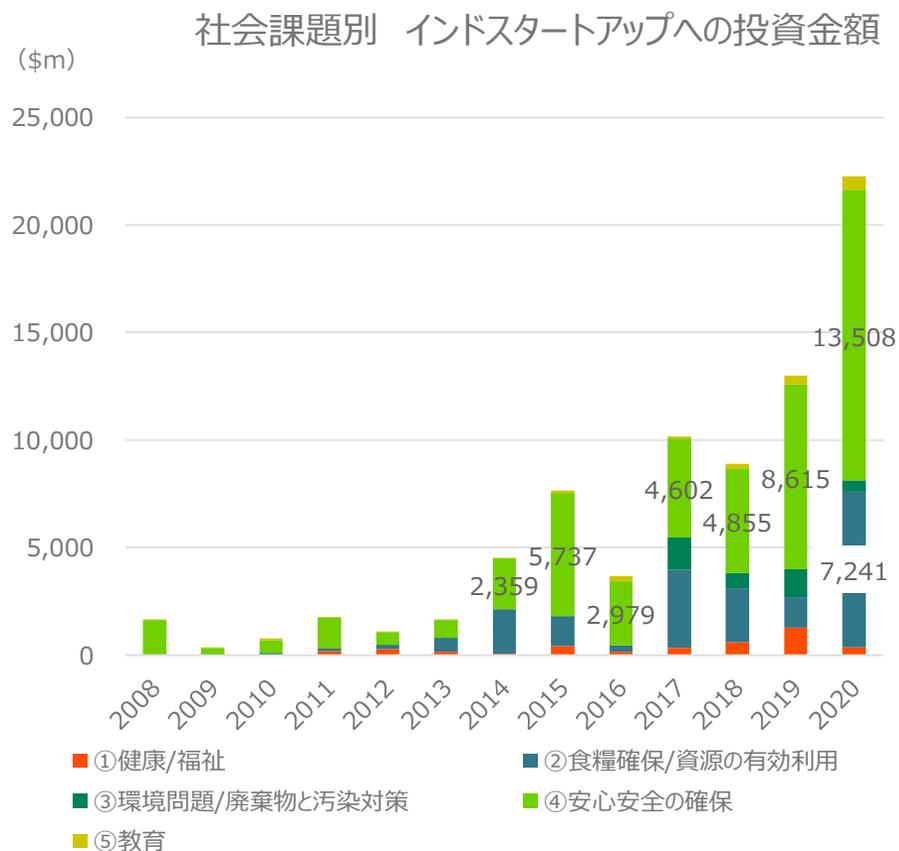
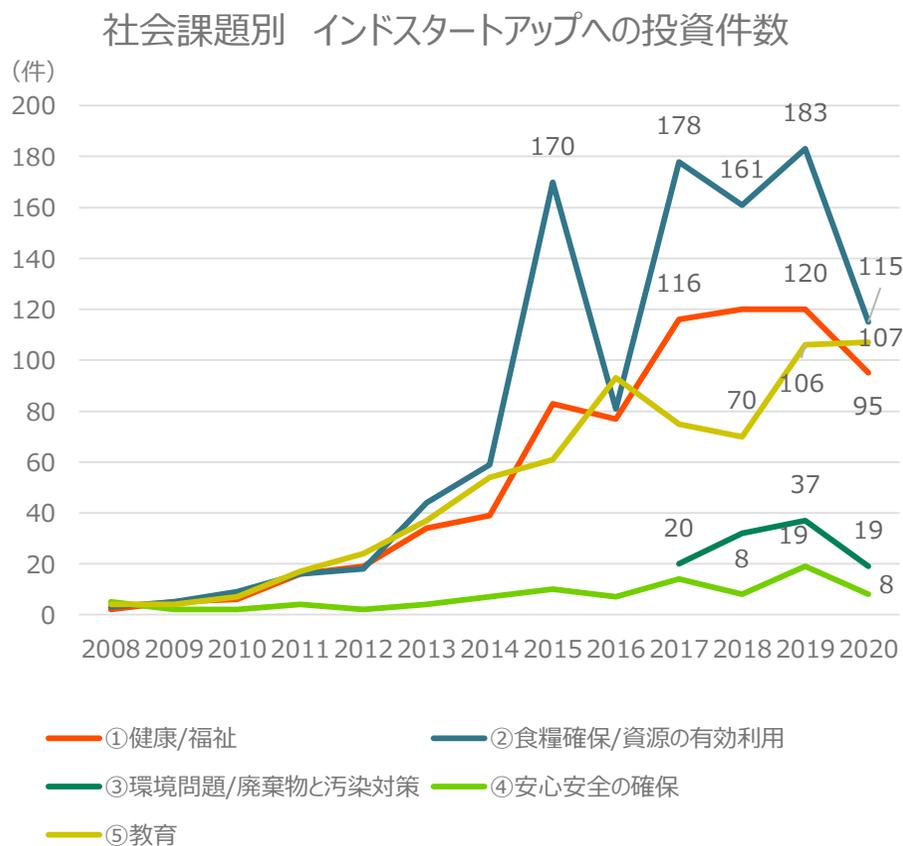
- 社会課題分析にあたり、下記①～⑤の課題を設定した。
- 集計時に、投資先企業の業種（Industry Groups）のうち、下記社会課題分類に関連するものを抽出。投資先企業の業種が、複数の社会課題分類に当てはまる場合は企業の事業内容（Description）から判断。

スタートアップの取り組む社会課題分類	含まれる業種サブカテゴリー
①健康/福祉	Biotechnology/Health Care
②食糧確保/資源の有効利用	Agriculture and Farming/Food and Beverage/Natural Resources
③環境問題/廃棄物と汚染対策	Energy/Sustainability
④安心安全の確保	Privacy and Security
⑤教育	Education

(4) インドスタートアップへの投資 社会課題別投資概要

【「社会課題」の分類はp13参照】

- 投資先スタートアップを、当該スタートアップの事業内容に関連する社会課題別に分類すると、件数、金額ともに「②食糧確保/資源の有効利用」関連が多い。
- 「④安心安全の確保」の金額が件数に比して高額である理由は、IT系のセキュリティ関連投資が含まれるためだと考えられる。



(参考) テクノロジーの設定

- 投資先企業の業種分類(Industries)のうち、先端技術（テクノロジー）に関連する下記の単語が入っている投資案件を抽出。
- 業種分類は各企業最大12種類が設定されているため、1件の投資先企業に、複数の単語が含まれるケースもある。

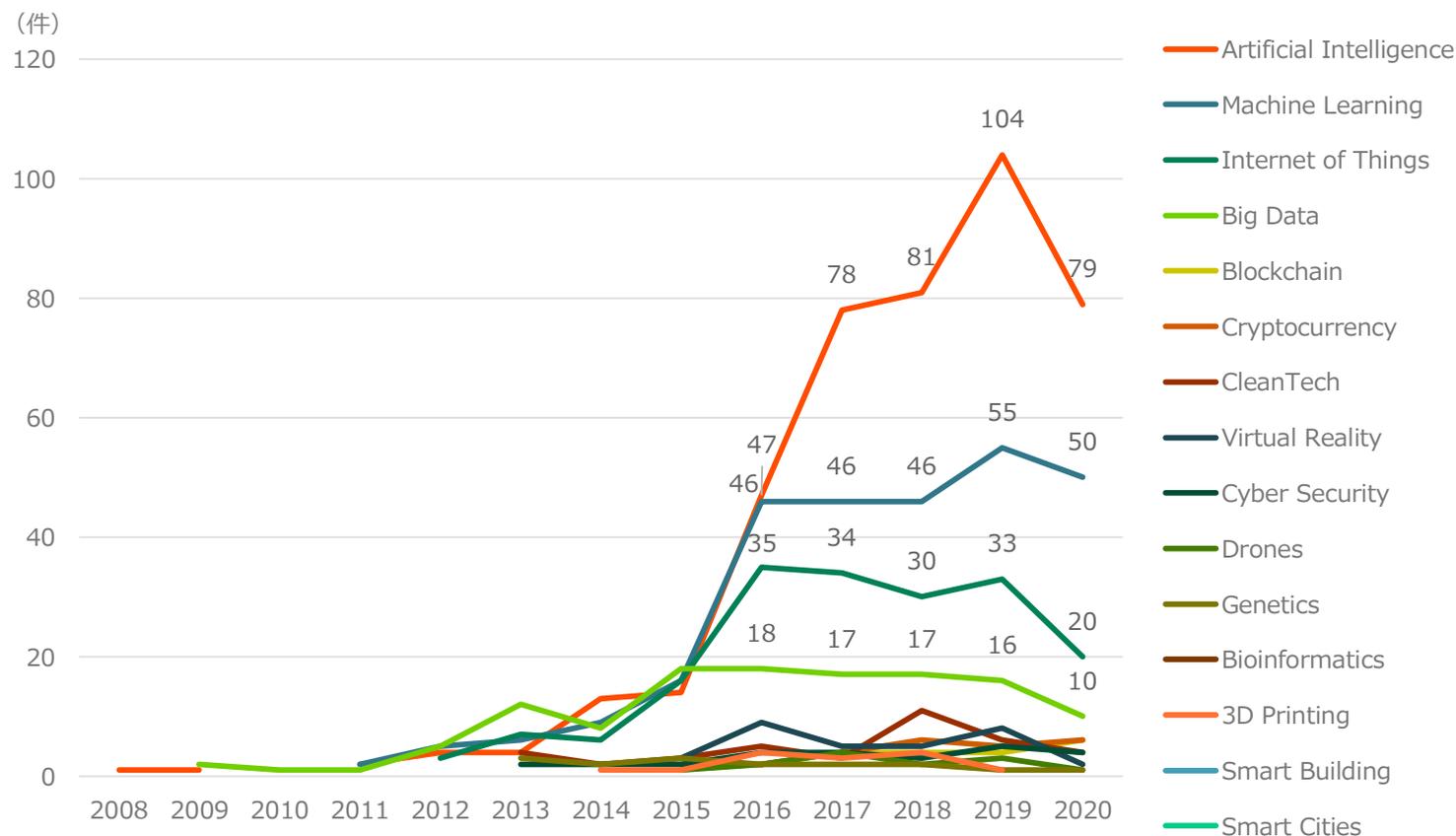
業種分類 (Industries)		
Artificial Intelligence	Cryptocurrency	Genetics
Machine Learning	CleanTech	Bioinformatics
Internet of Things	Virtual Reality	3D Printing
Big Data	Cyber Security	Smart Building
Blockchain	Drones	Smart Cities

(5) インドスタートアップへの投資 テクノロジー別投資件数

【「テクノロジー」の分類はp15参照】

- インドのスタートアップ投資をテクノロジー別にみると、Artificial Intelligenceを扱う企業への投資が最も多い。次いで、直近5年間は、Machine Learning、Internet of Things、Big Data関連の投資も多い。

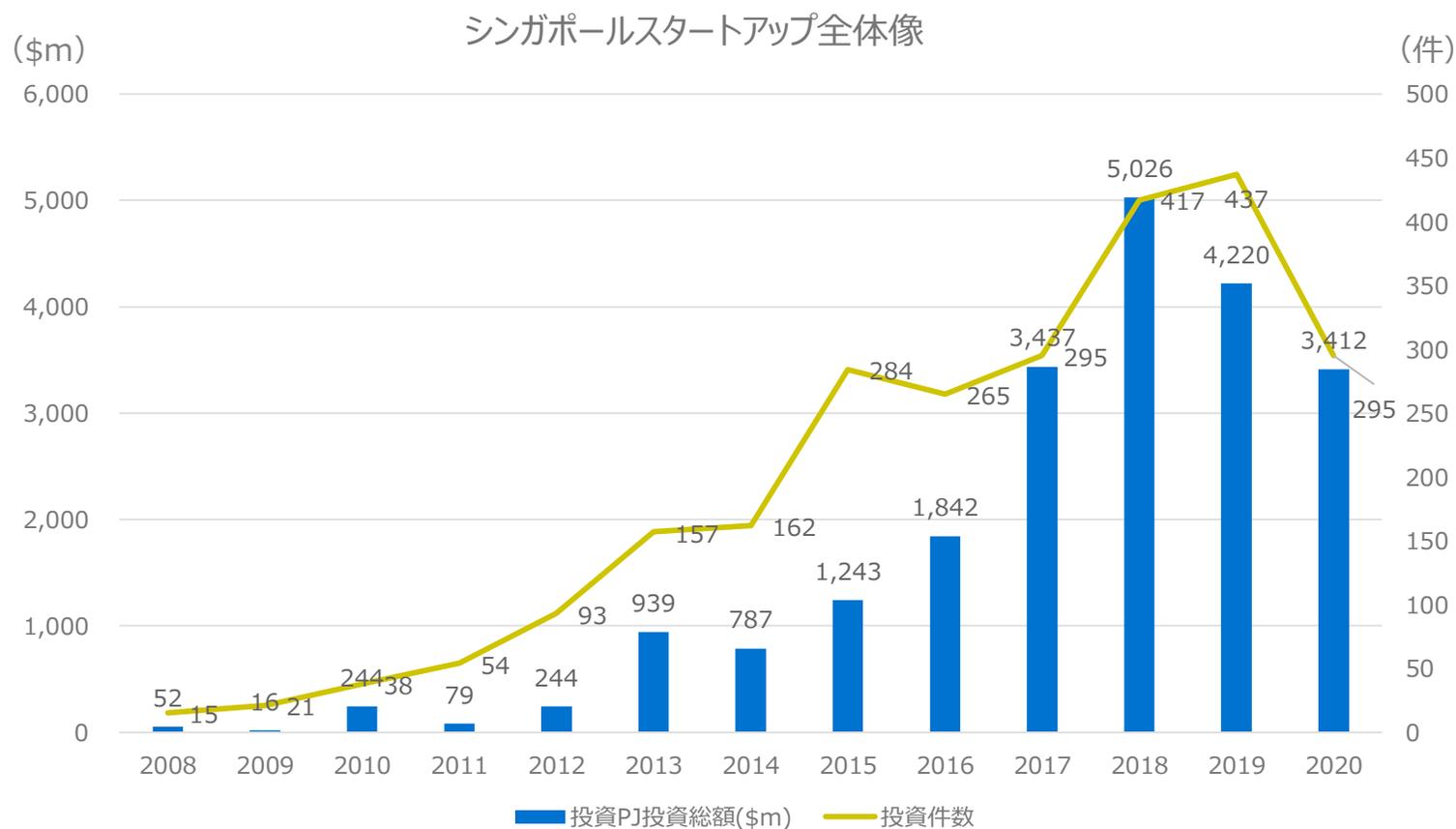
テクノロジー別投資件数



(2) シンガポールにおけるスタートアップへの投資動向

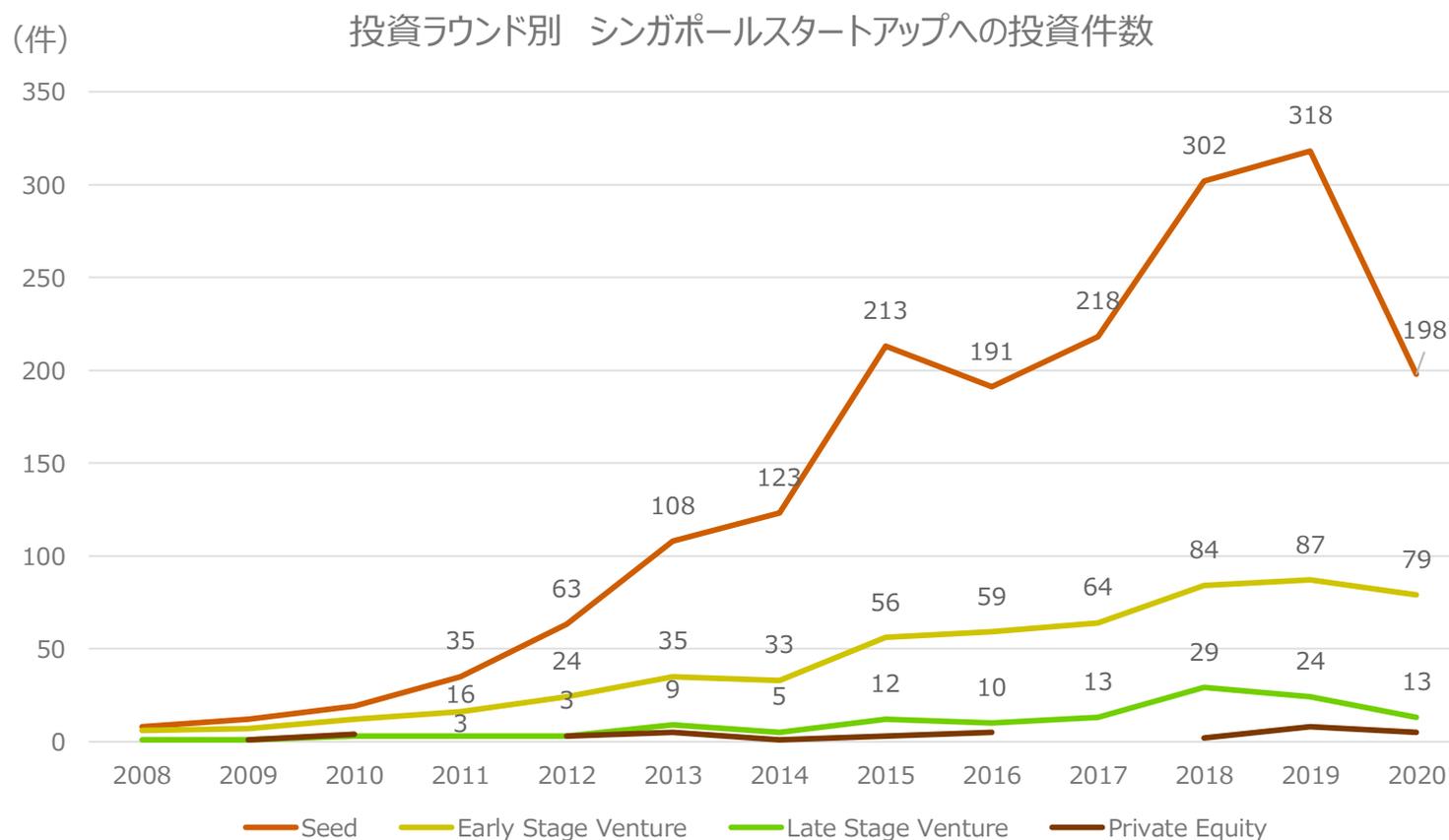
(0) シンガポールスタートアップへの投資 全体像

- シンガポールのスタートアップへの投資は、件数、金額ともに2010年代に急増し、2018年に最大となった。
- 2019年は金額、2020年は件数、金額ともに減少傾向にある。



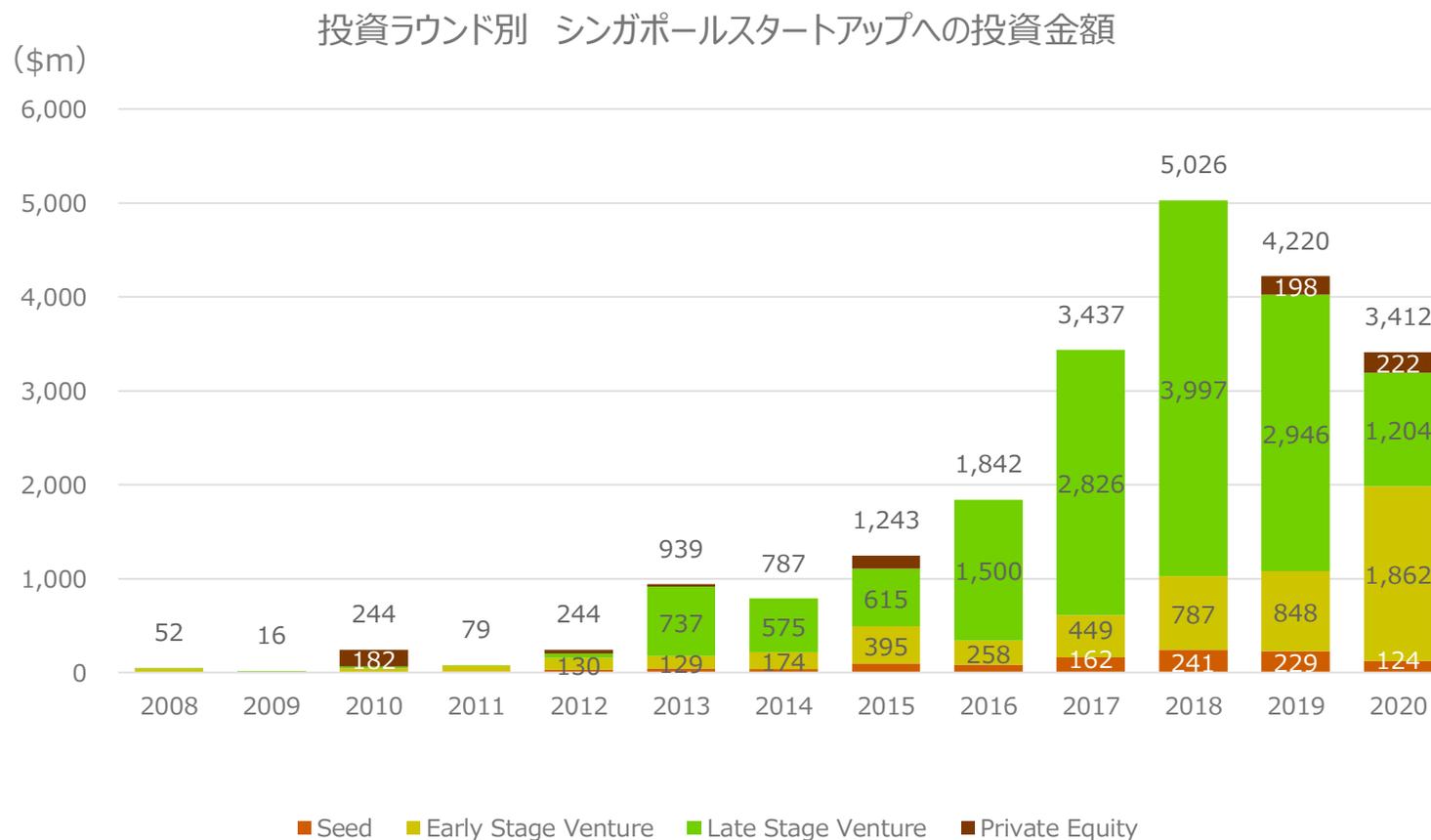
(1) シンガポールスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- 2010年代の件数の増加は、主にSeedの企業への投資の増加によるものだった。
- 2020年はいずれのステージでも件数が減少しているが、Seedの減少が著しい。



(1) シンガポールスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

- 金額別ではLater Stageの投資金額を中心に伸長してきた。
- 2019年、2020年は全体の金額の減少にもかかわらず、Early Stageへの投資金額は伸びている。



(2) シンガポールスタートアップへの投資 業種別投資件数

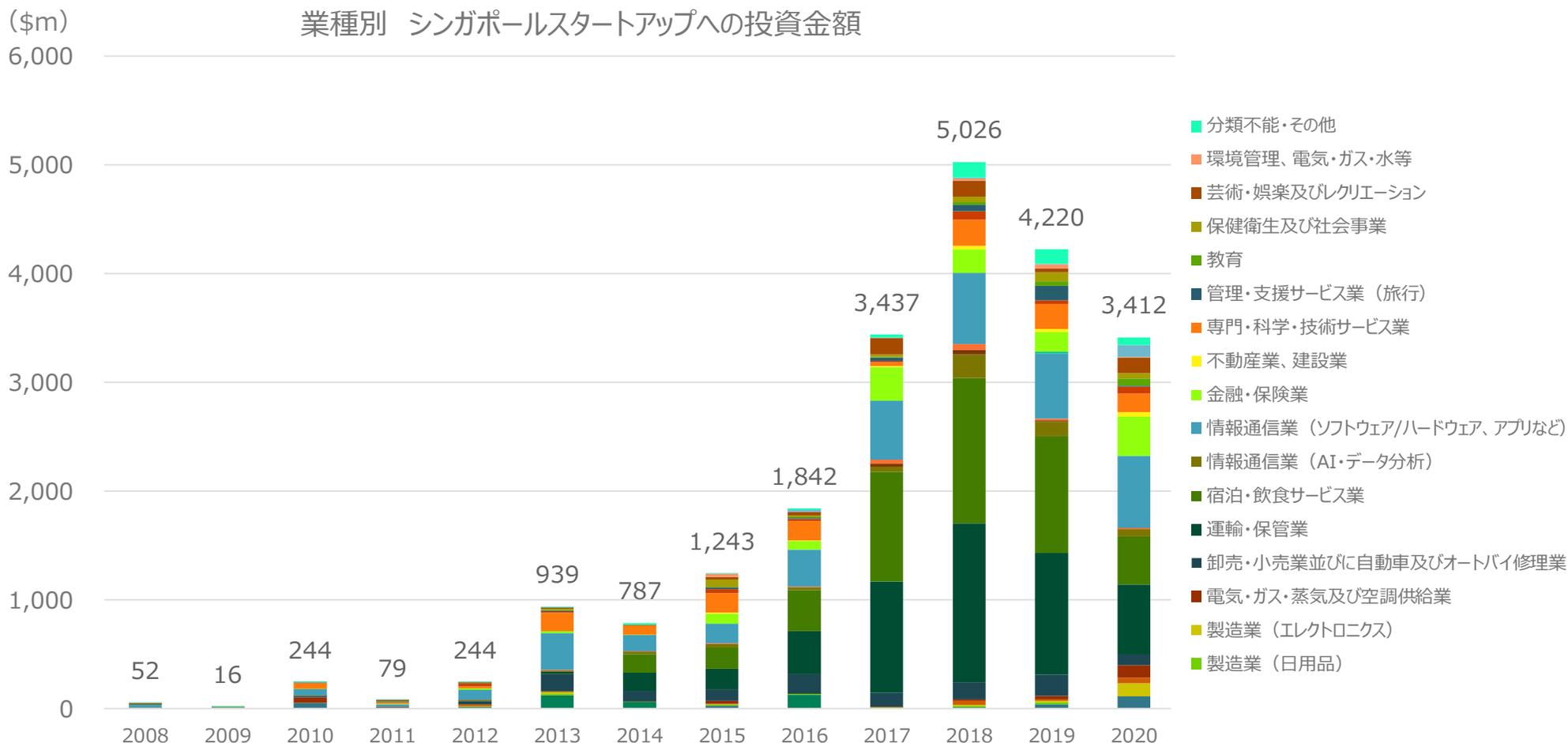
- 投資件数ベースでは情報通信業、卸売・小売、金融・保険業への投資の割合が多い。

業種別 シンガポールスタートアップへの投資（件数割合）



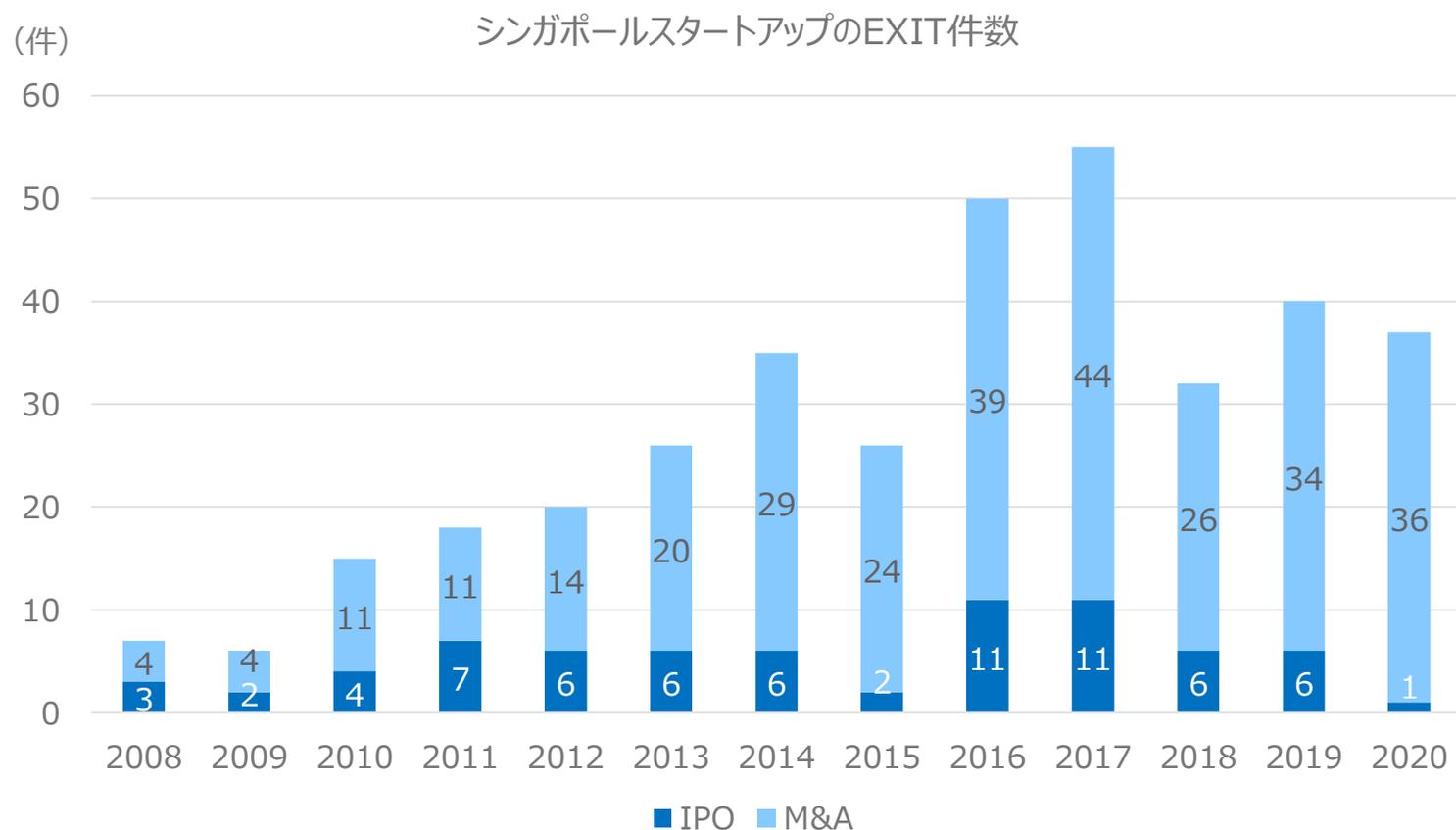
(2) シンガポールスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 業種別の投資金額をみると、情報通信業、運輸・保管業、宿泊・飲食サービス業が多い。インド、インドネシアよりも業種のばらつきがやや大きい。



(3) シンガポールスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

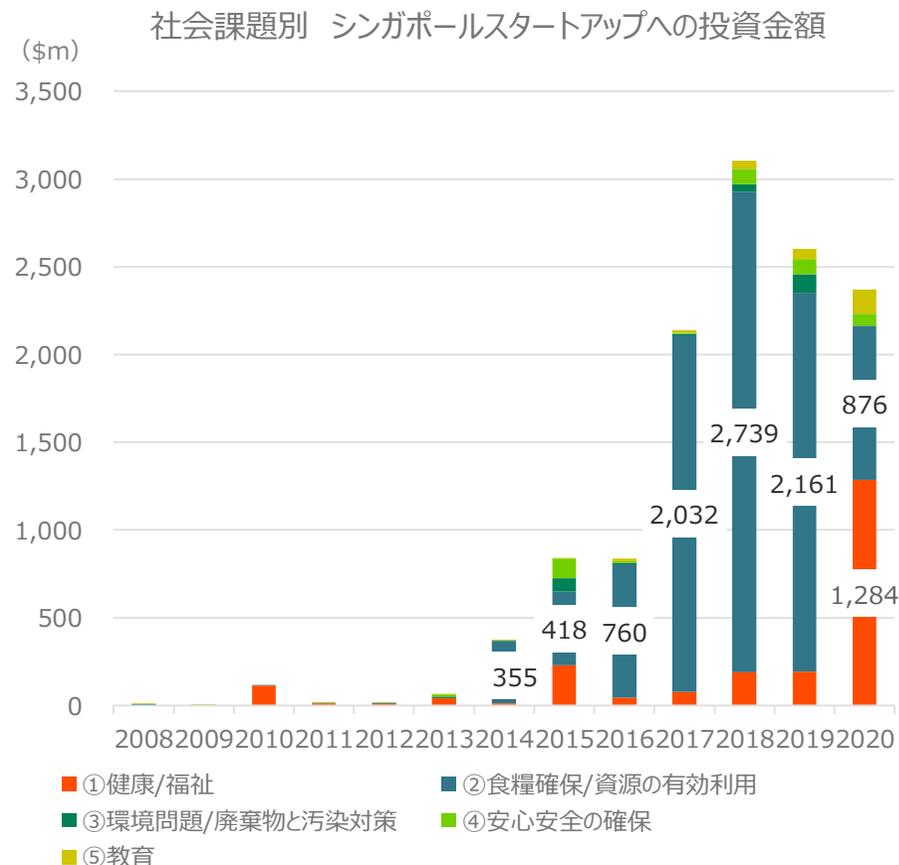
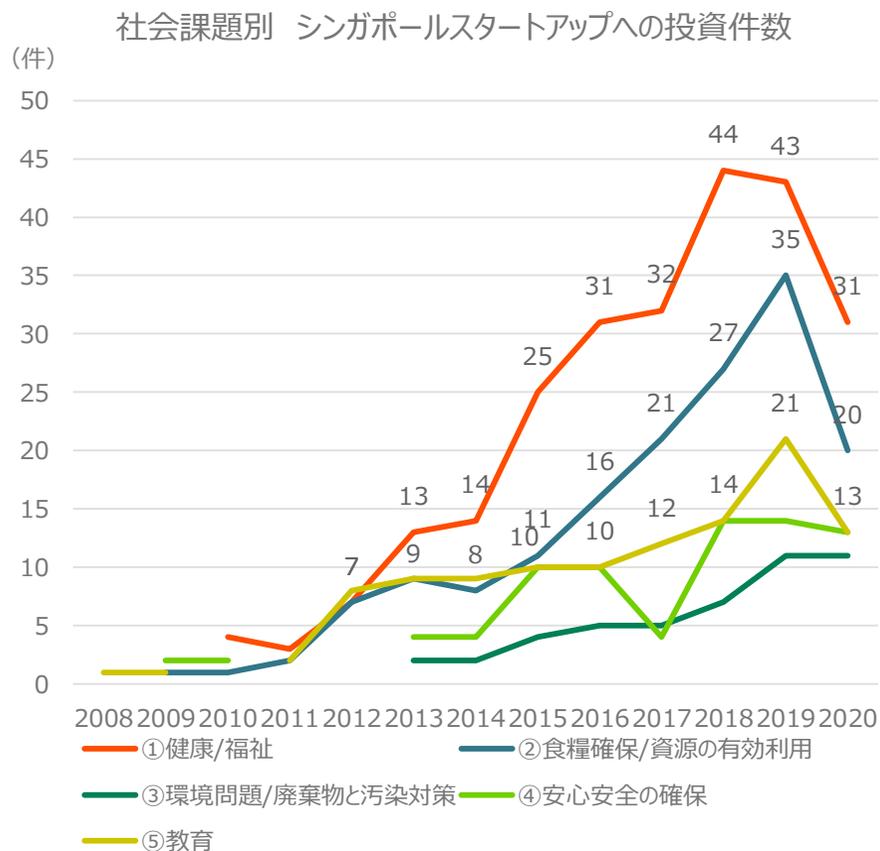
- シンガポールスタートアップ企業のEXITは、2017年まで増加し、以降減少傾向。大半はM&Aによるものである。



(4) シンガポールスタートアップへの投資 社会課題別投資概要

【「社会課題」の分類はp13参照】

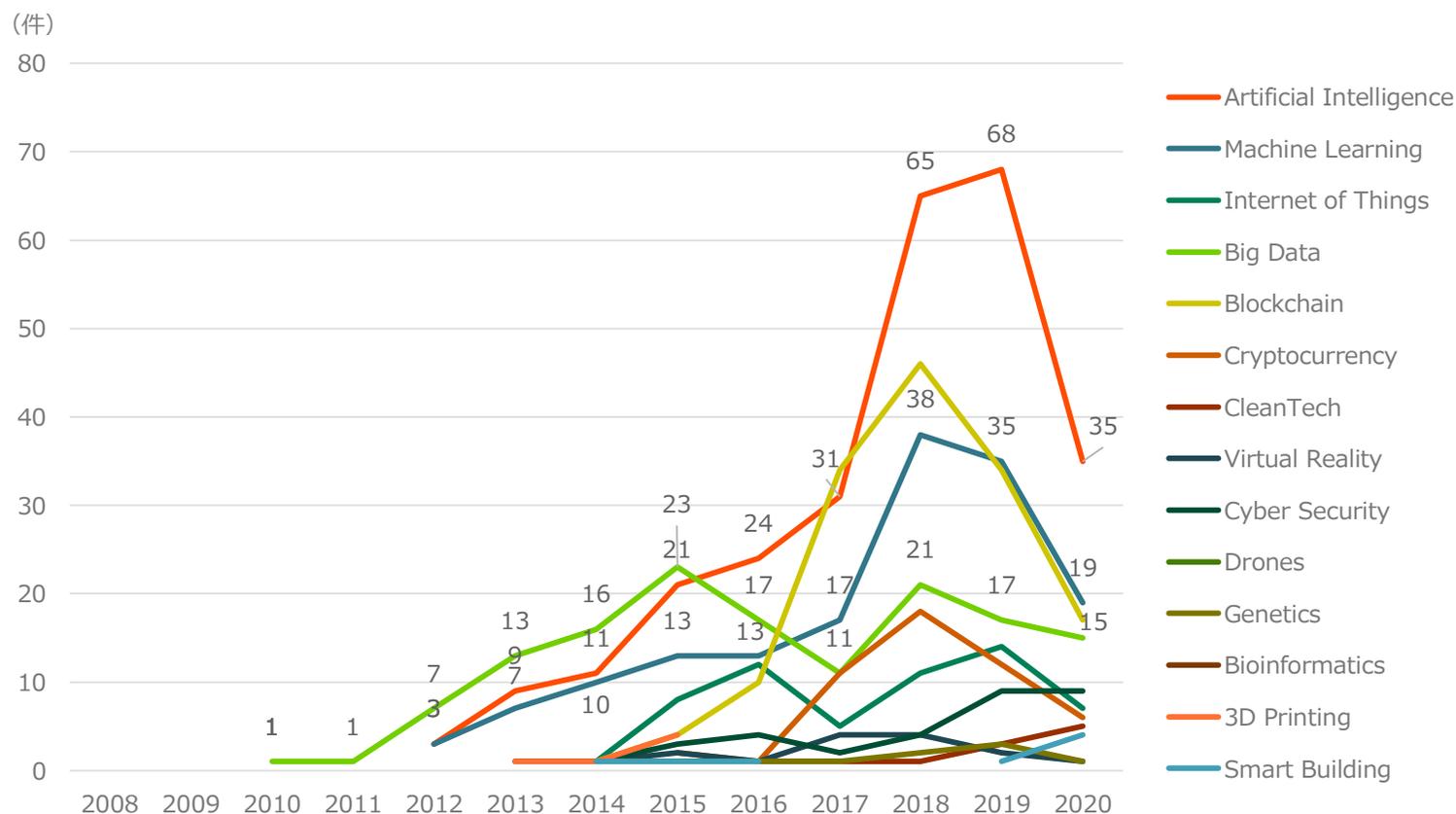
- 投資先スタートアップを、当該スタートアップの事業内容に関連する社会課題別に分類すると、件数ベースでは「①健康/福祉」、金額ベースでは「②食糧確保/資源の有効利用」関連が多い。
- 「環境問題・廃棄物と汚染対策」は金額は小さいものの、件数が徐々に伸びている。



(5) シンガポールスタートアップへの投資 テクノロジー別投資件数 【「テクノロジー」の分類はp15参照】

- シンガポールのスタートアップ投資をテクノロジー別にみると、Artificial Intelligenceを扱う企業への投資が最も多い。そのほか、Blockchain、Internet of Things関連の投資が多い。

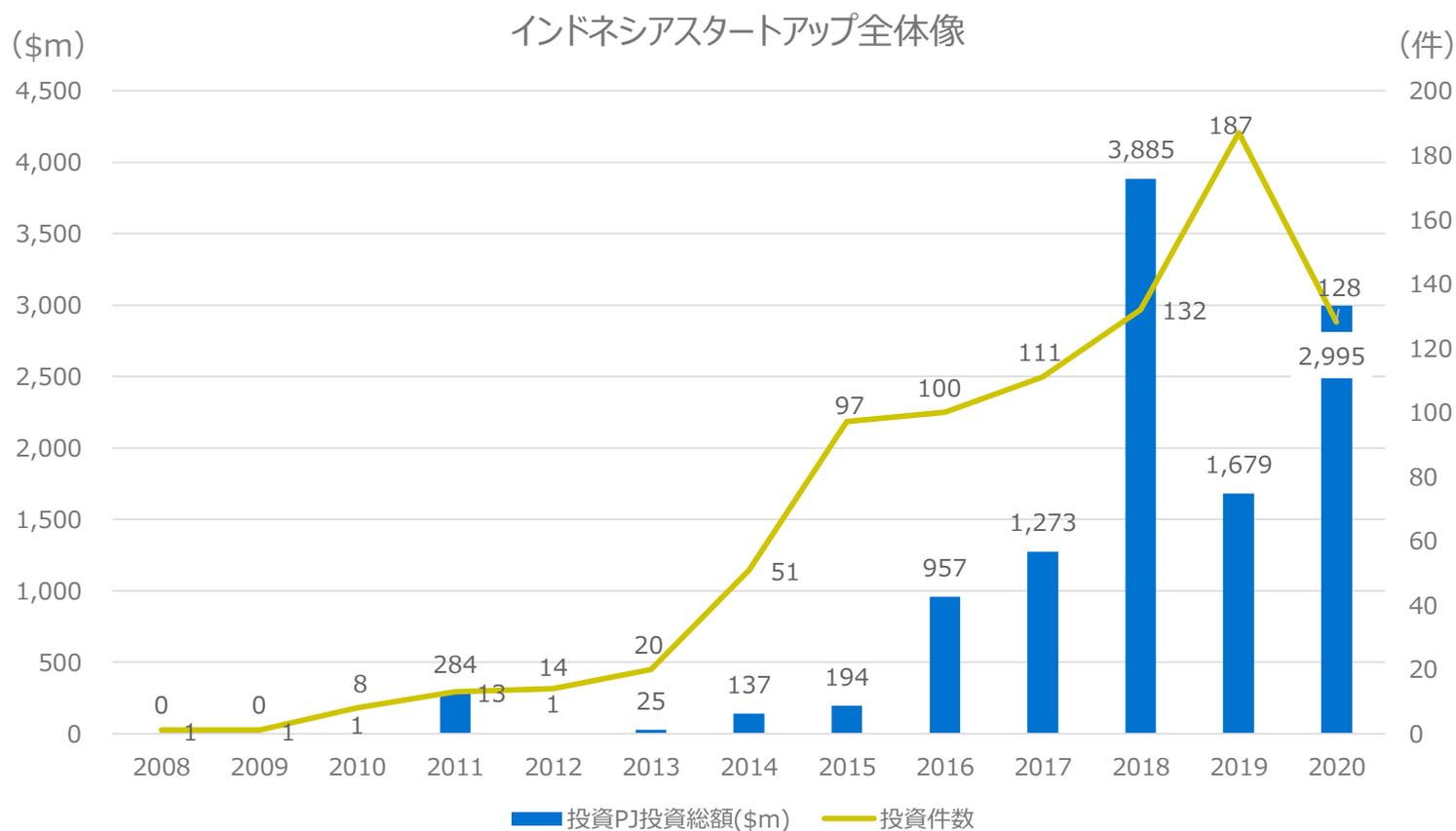
テクノロジー別投資件数



(3) インドネシアにおけるスタートアップへの投資動向

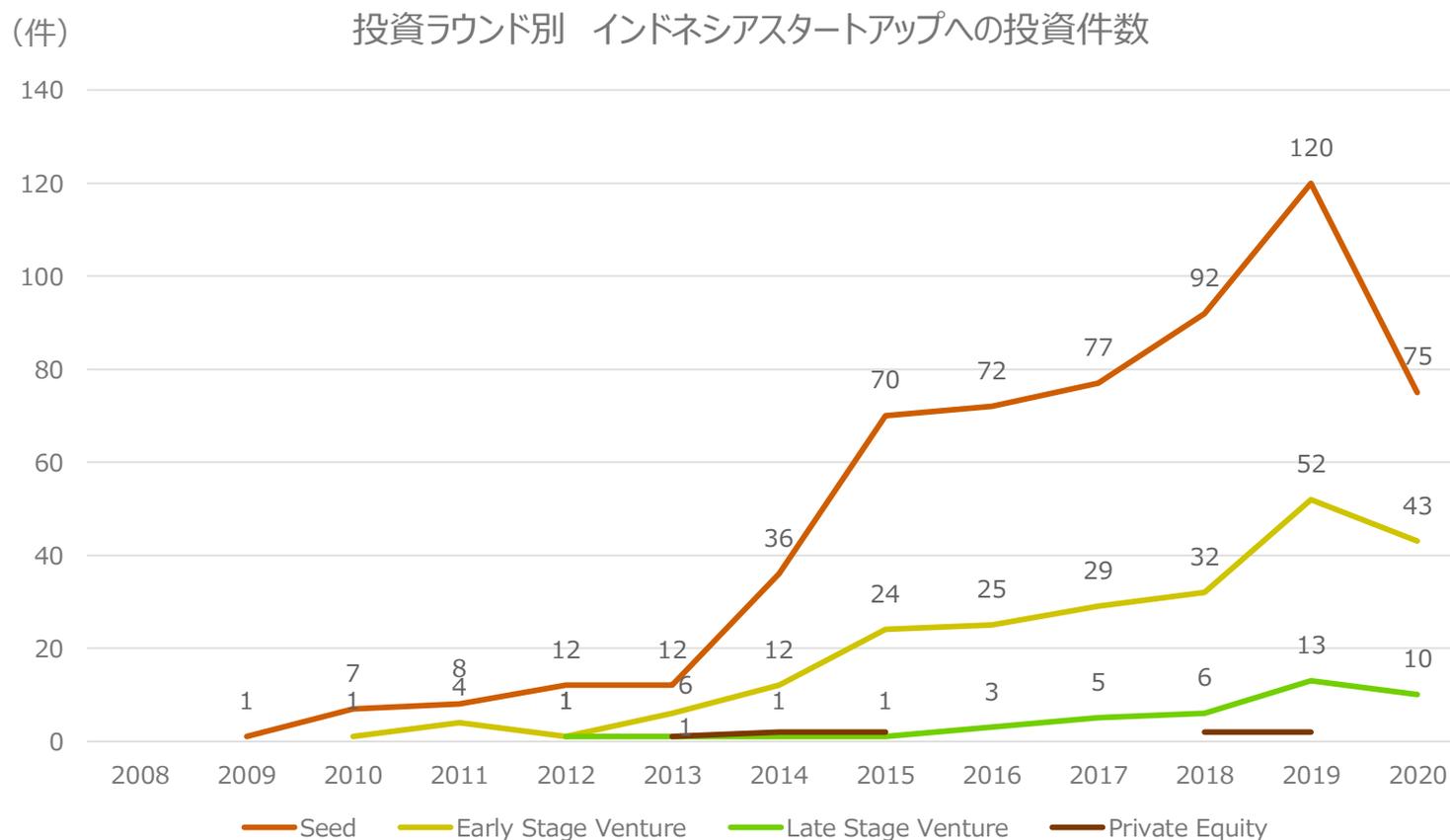
(0) インドネシアスタートアップへの投資 全体像

- インドネシアのスタートアップへの投資は、2015年頃から金額、件数ともに増加傾向にある。
- 新型コロナウイルスの影響下であった2020年は、件数は大幅に落ち込んだものの、金額は前年比で大幅に増加。



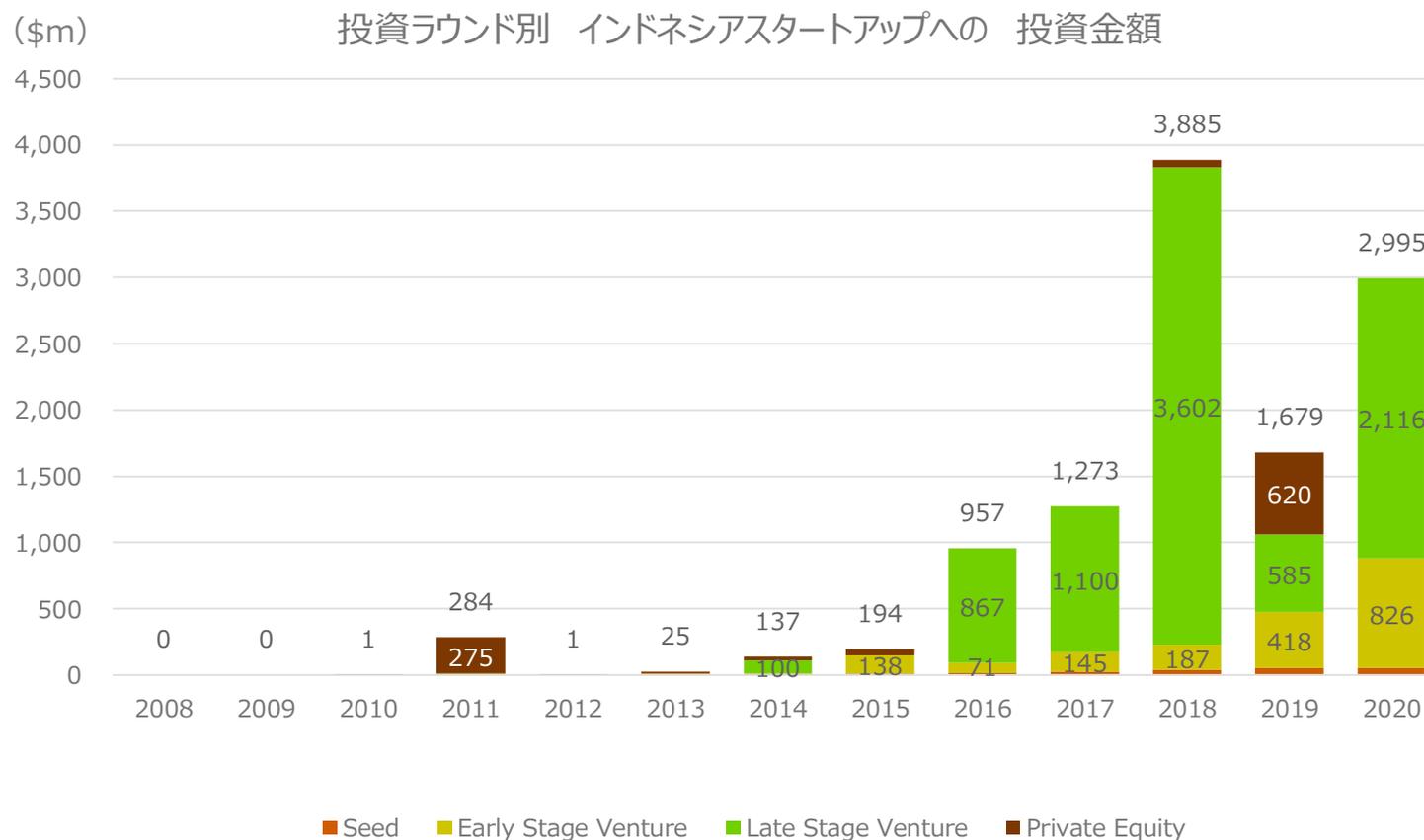
(1) インドネシアスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- 件数が大きく伸長してきたのは主にSeedの企業への投資である。2020年はすべてのステージにおいて投資件数の減少がみられる。



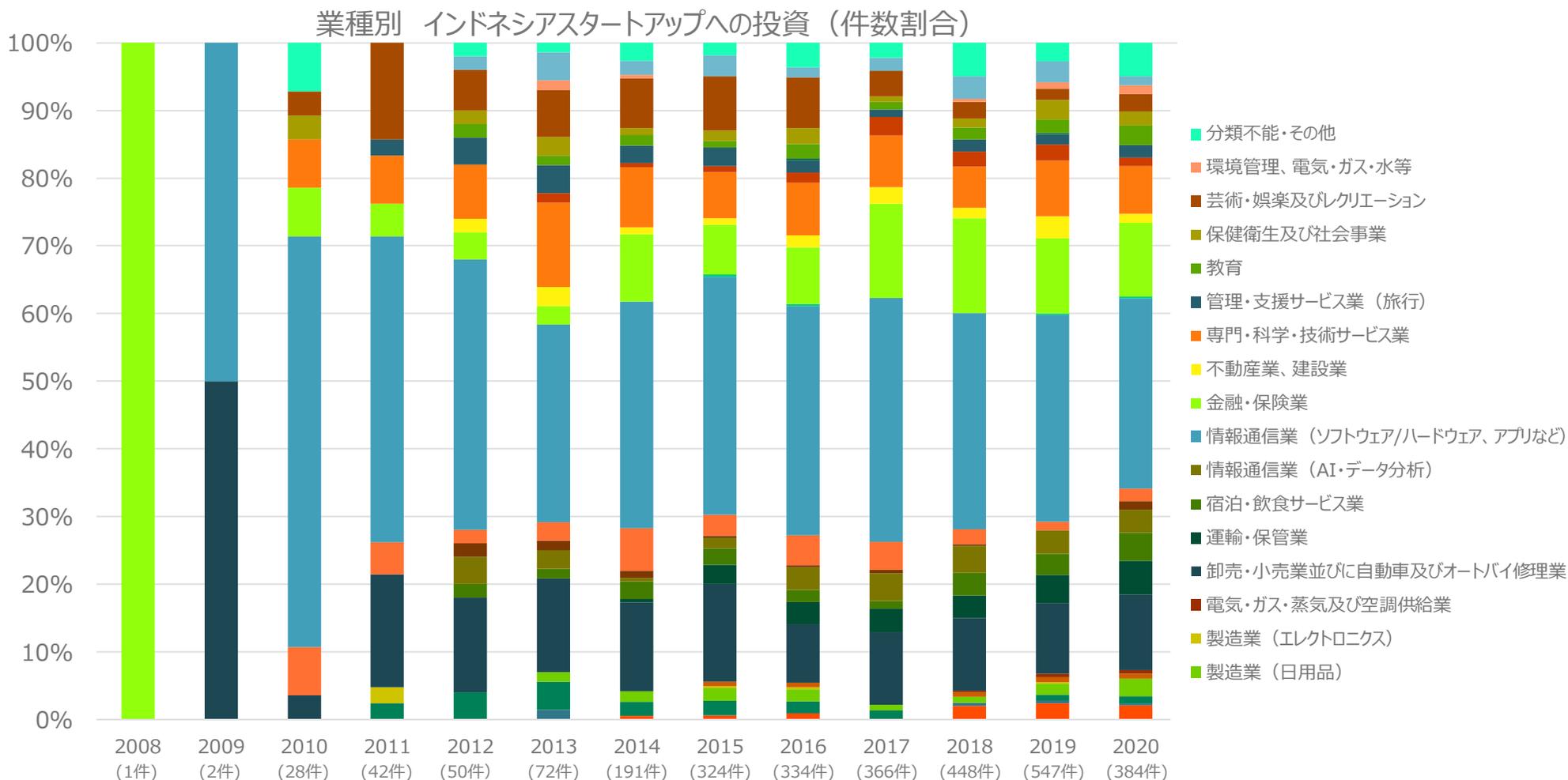
(1) インドネシアスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

- 金額別では1件当たりの投資金額の大きいLate Stageが大半を占める傾向にある。
- 件数ベースでは伸びの大きいSeedへの投資は金額ベースでは非常に小さい。



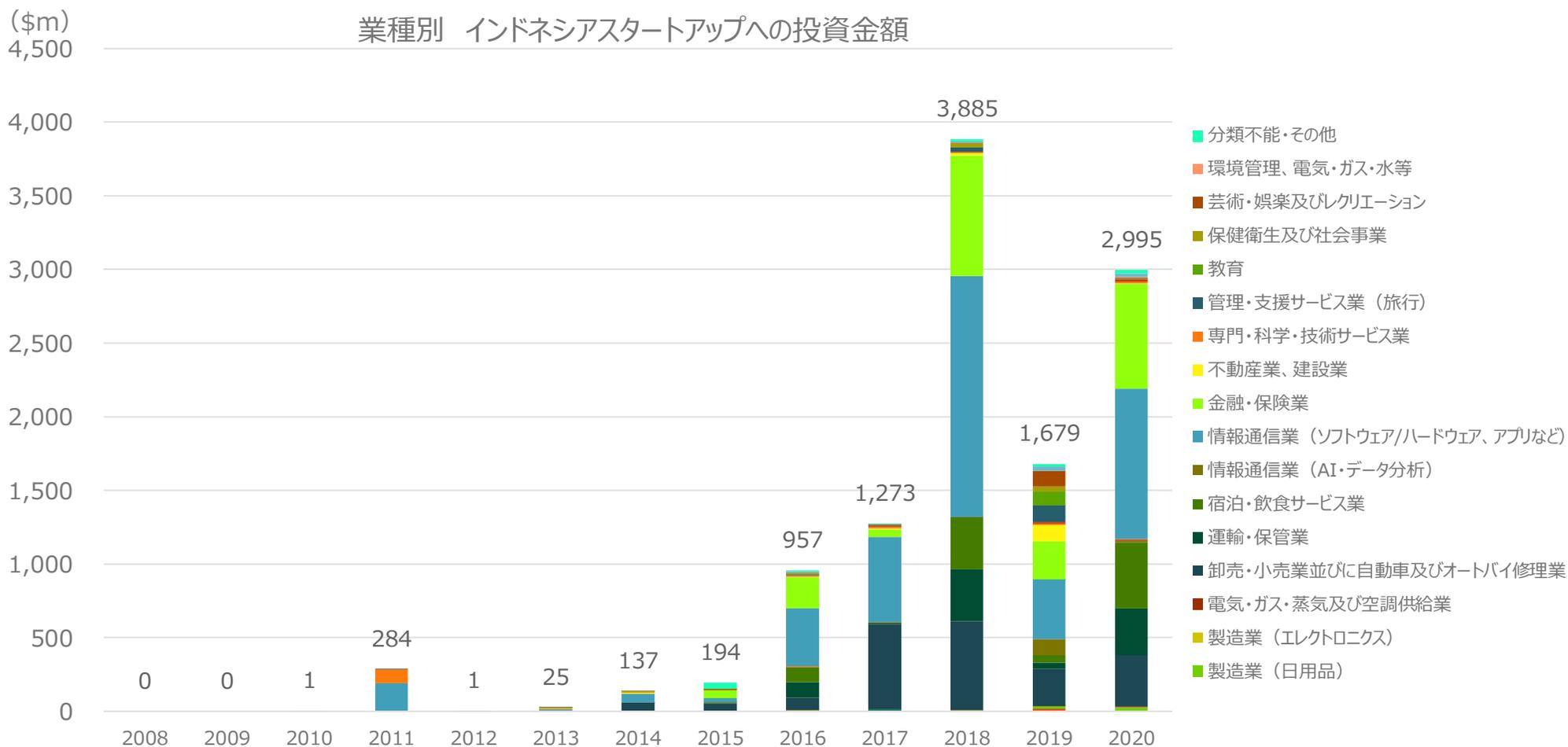
(2) インドネシアスタートアップへの投資 業種別投資件数

- 投資件数をみると、毎年3分の1程度は情報通信業（ソフトウェア/ハードウェア、アプリなど）が占める。
- 2020年は、幅広い業種で投資件数が減少した。



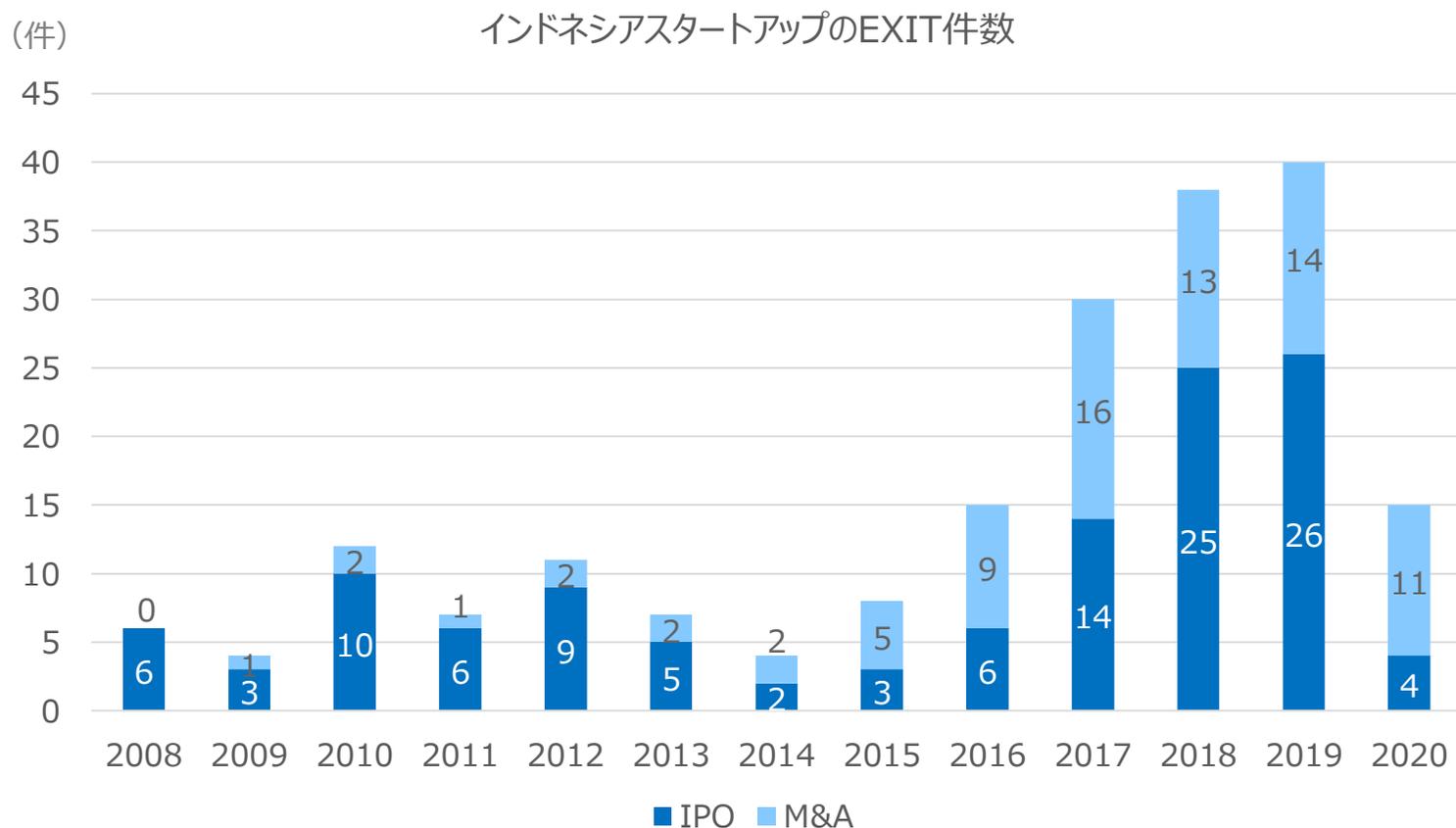
(2) インドネシアスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 投資金額ベースで見ると、情報通信業、金融・保険業、卸売・小売、宿泊・飲食サービス業に多くの投資が行われている。



(3) インドネシアスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

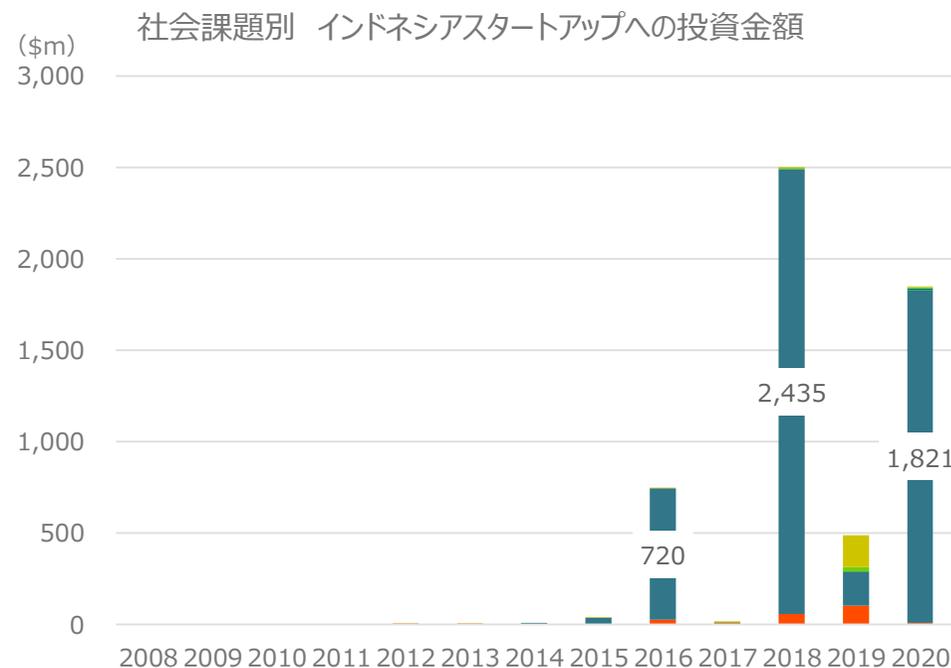
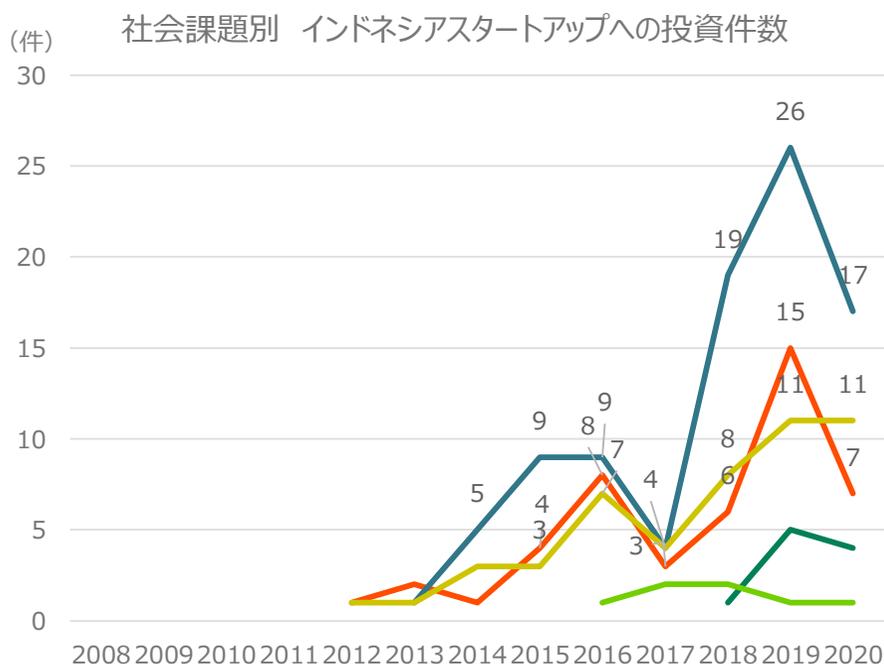
- インドネシアのスタートアップのEXIT件数は2016年から2019年まで増加傾向にあったが、2020年は大幅減。
- EXIT件数のうち、IPOが大半を占める点が特徴的。



(4) インドネシアスタートアップへの投資 社会課題別投資概要

【「社会課題」の分類はp13参照】

- 投資先スタートアップを、当該スタートアップの事業内容に関連する社会課題別に分類すると、件数、金額ともに「②食糧確保/資源の有効利用」関連が多い。
- 他の分野も徐々に2017年以降、投資件数の増加がみられる。



- ①健康/福祉
- ②食糧確保/資源の有効利用
- ③環境問題/廃棄物と汚染対策
- ④安心安全の確保
- ⑤教育

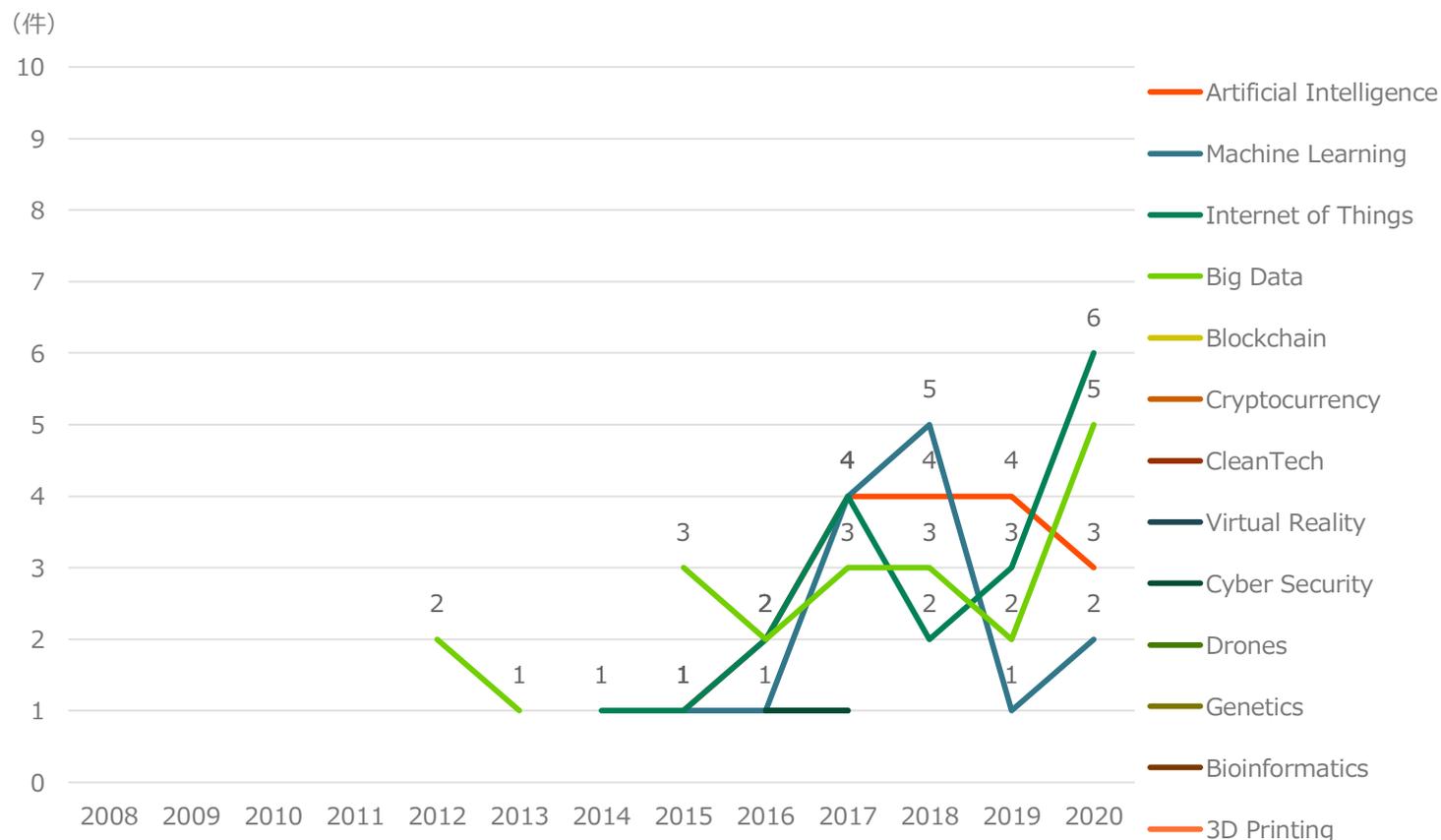
- ①健康/福祉
- ②食糧確保/資源の有効利用
- ③環境問題/廃棄物と汚染対策
- ④安心安全の確保
- ⑤教育

(5) インドネシアスタートアップへの投資 テクノロジー別投資件数

【「テクノロジー」の分類はp15参照】

- インドのスタートアップ投資をテクノロジー別にみると、Machine Learning、Artificial Intelligence、Big Dataなどに関連するものがそれぞれ数件ずつ存在する。

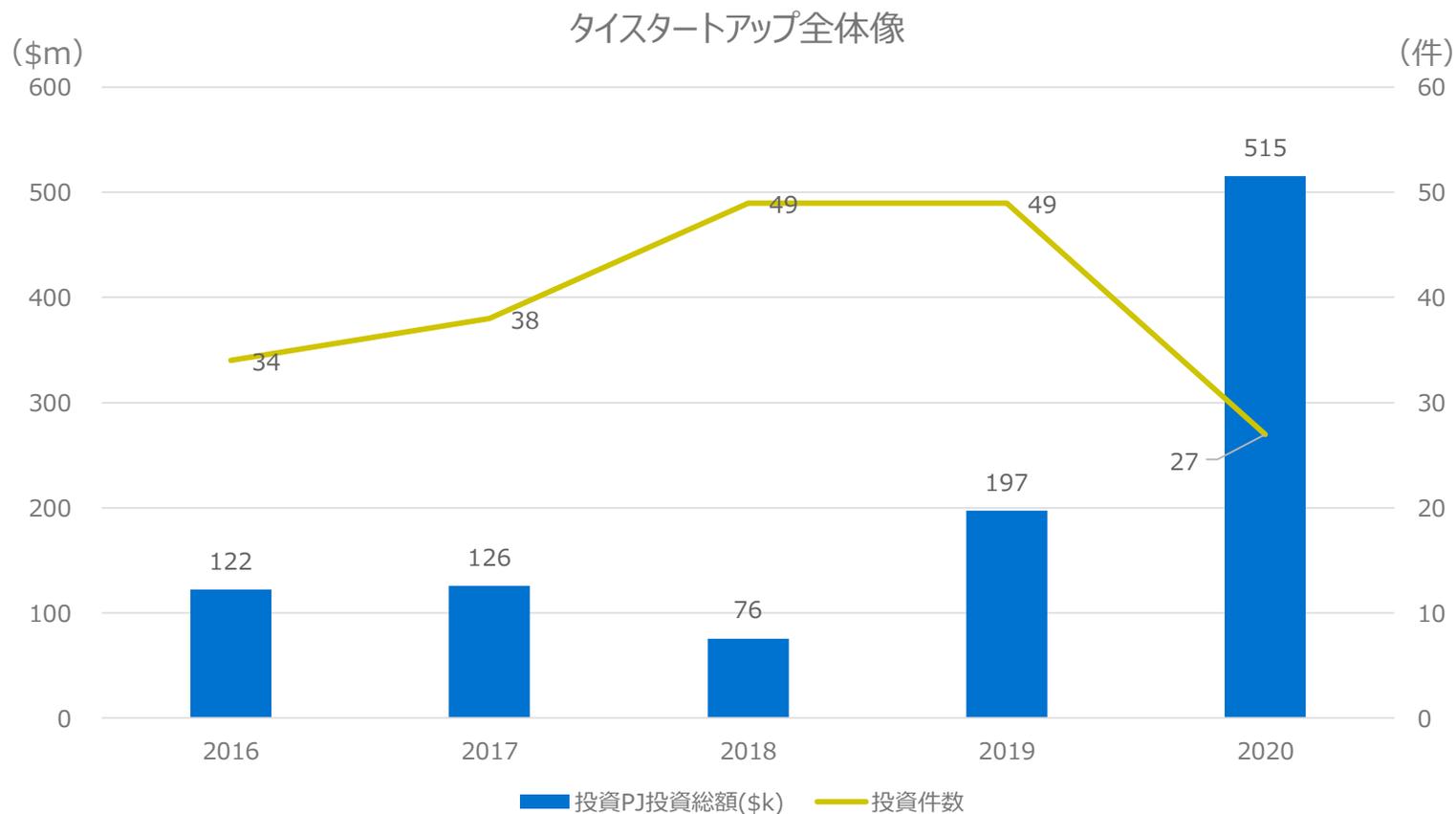
テクノロジー別投資件数



(4) タイにおけるスタートアップへの投資動向

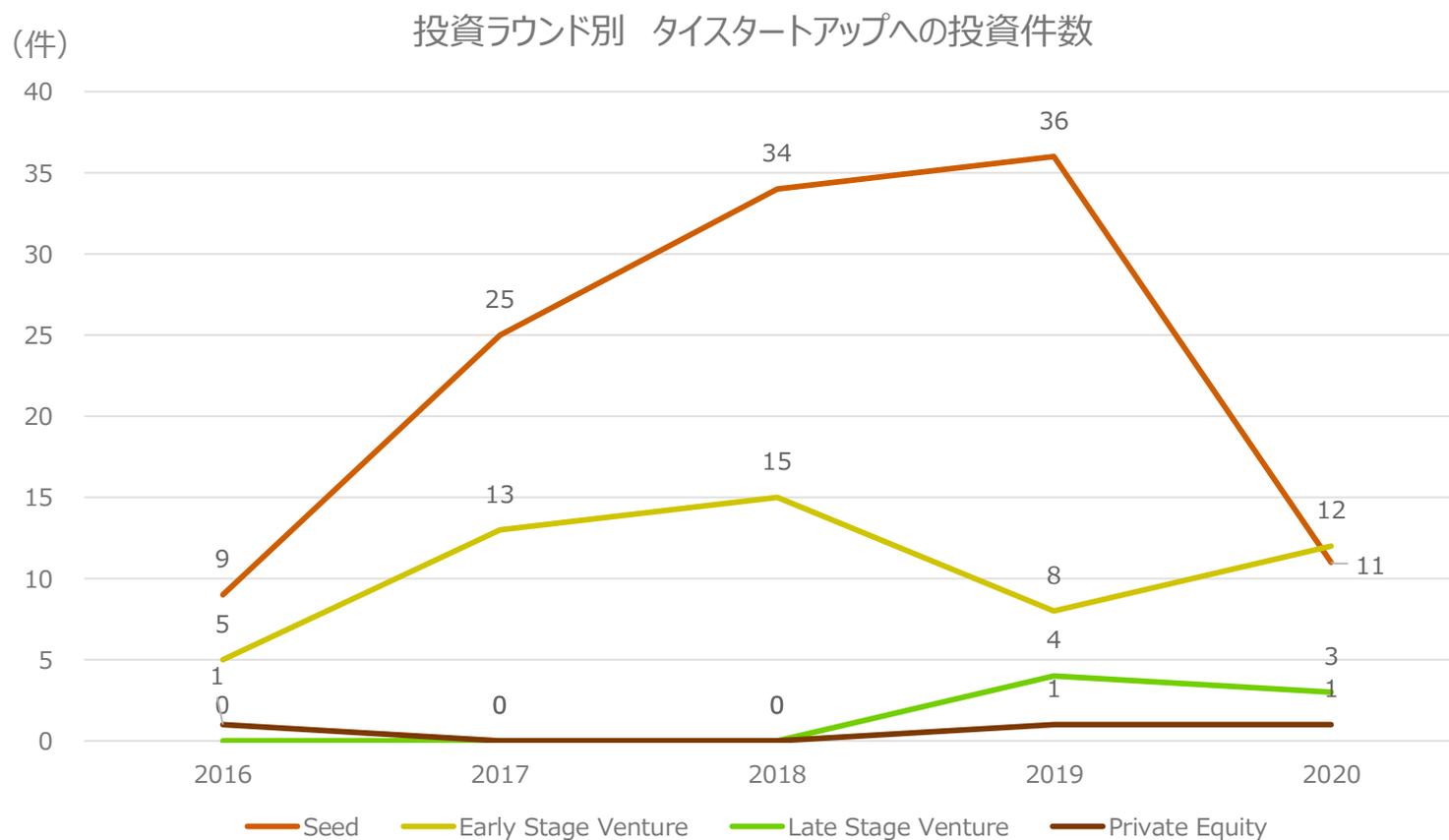
(0) タイスタートアップへの投資 全体像

- 金額ベースでは2019から2020年に急増したが、件数ベースでは2020年に落ち込んだ。
- 2020年の金額の増加は、Later StageとPEの4件の投資によるものだった。



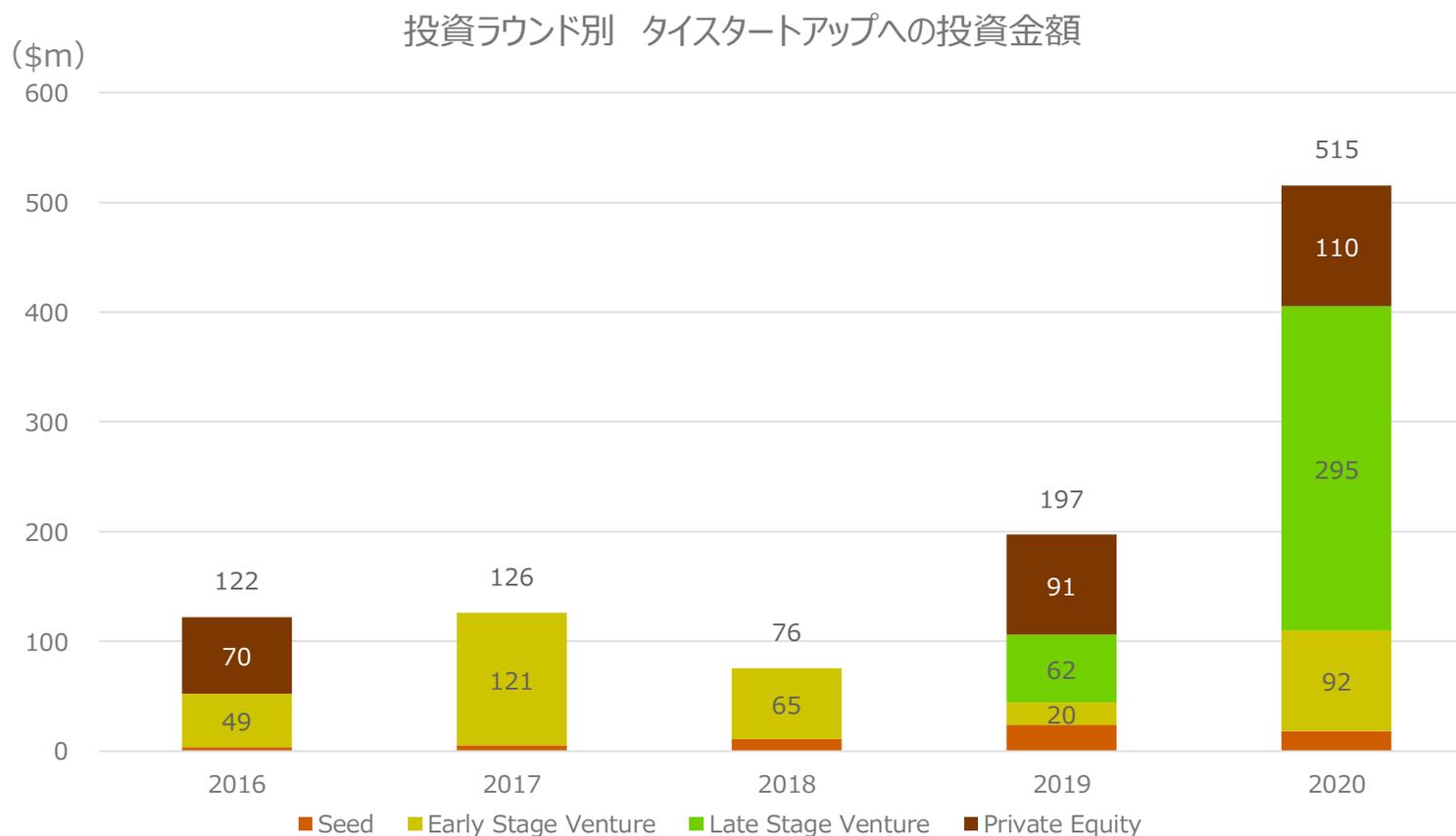
(1) タイスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- 件数ベースでは2019年までSeedのスタートアップへの投資が増加していたが、2020年に激減。



(1) タイスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

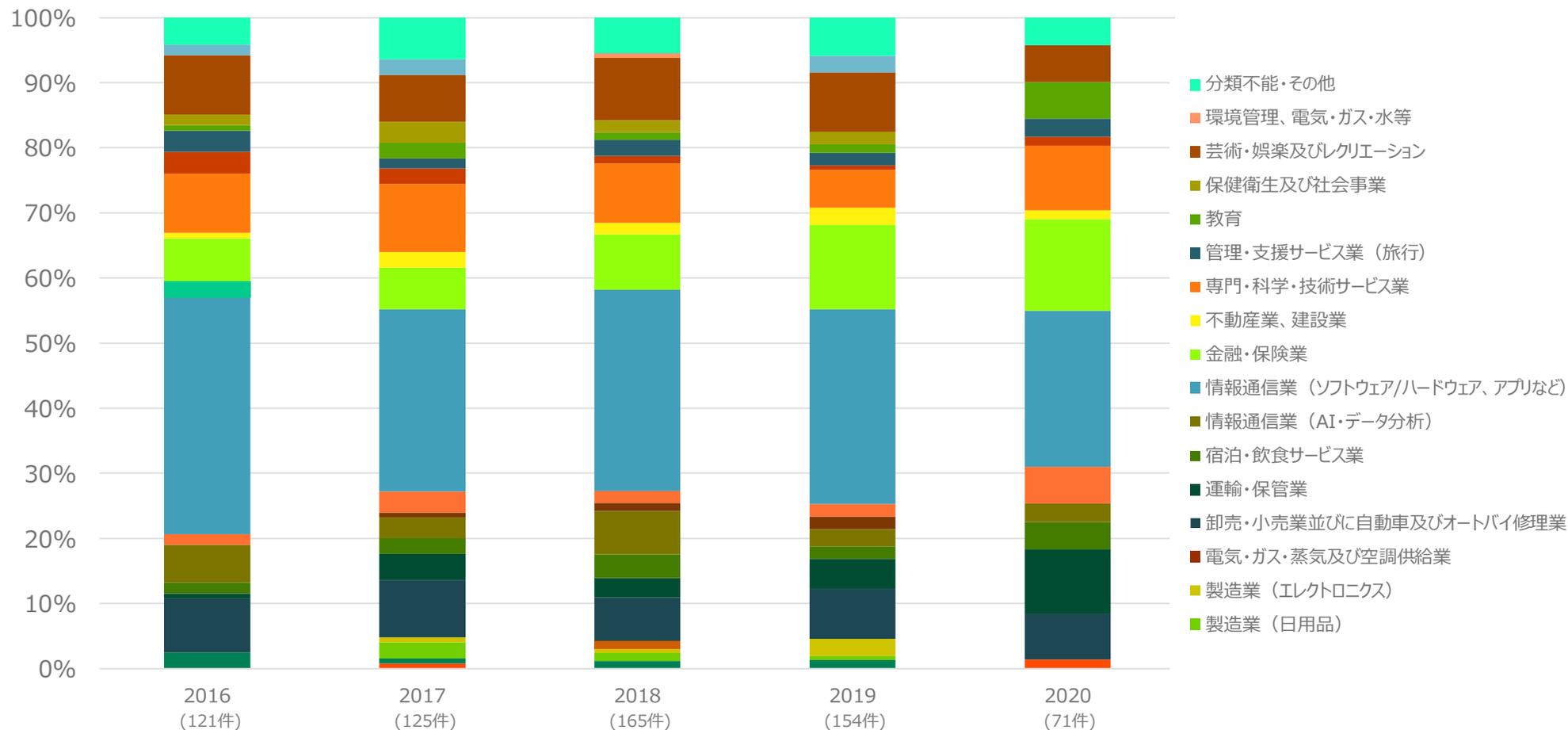
- 2017～2018年はEarly Stageへの投資が大半を占めていたが、2019年、2020年は後期ステージへの投資が増加している。これにより投資総額が急増した。



(2) タイスタートアップへの投資 業種別投資件数

- 投資件数ベースでは毎年、情報通信業、金融・保険業、専門・科学・技術サービス業で約半数を占める。

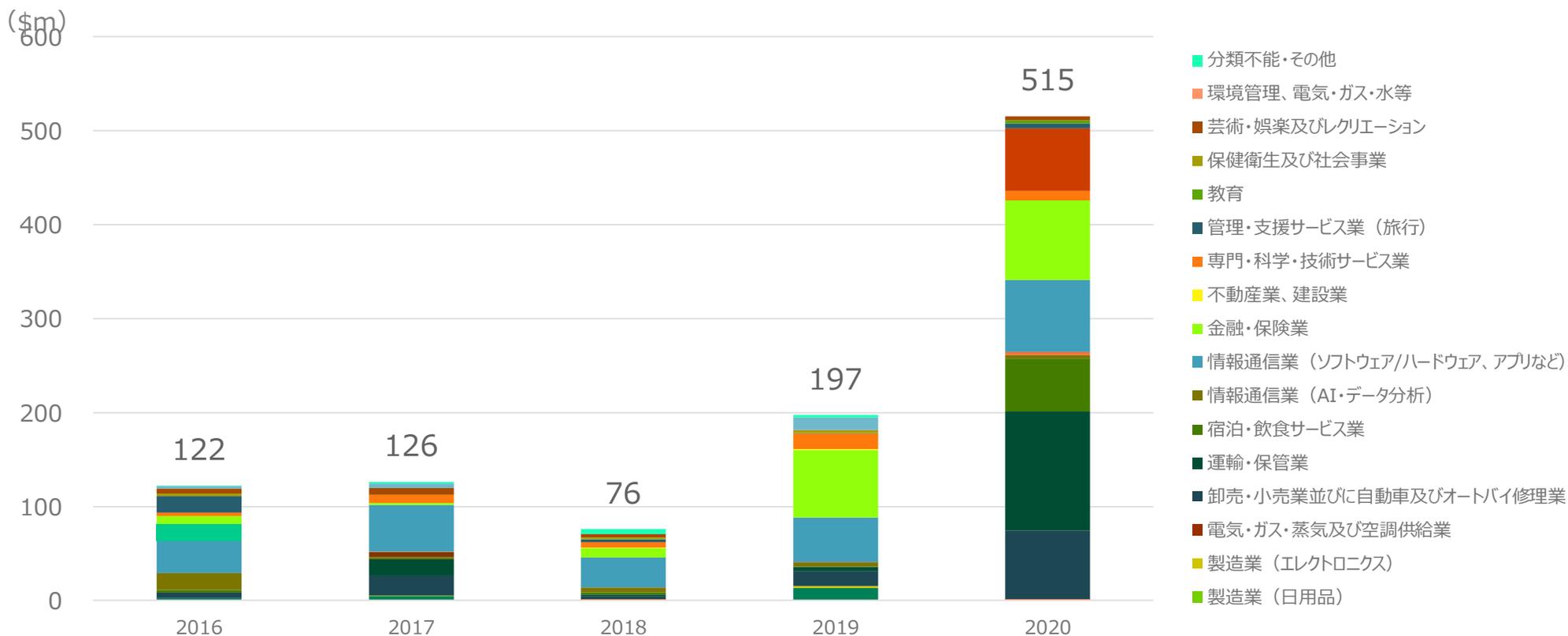
業種別 タイスタートアップへの投資（件数割合）



(2) タイスタートアップへの投資 業種別投資金額

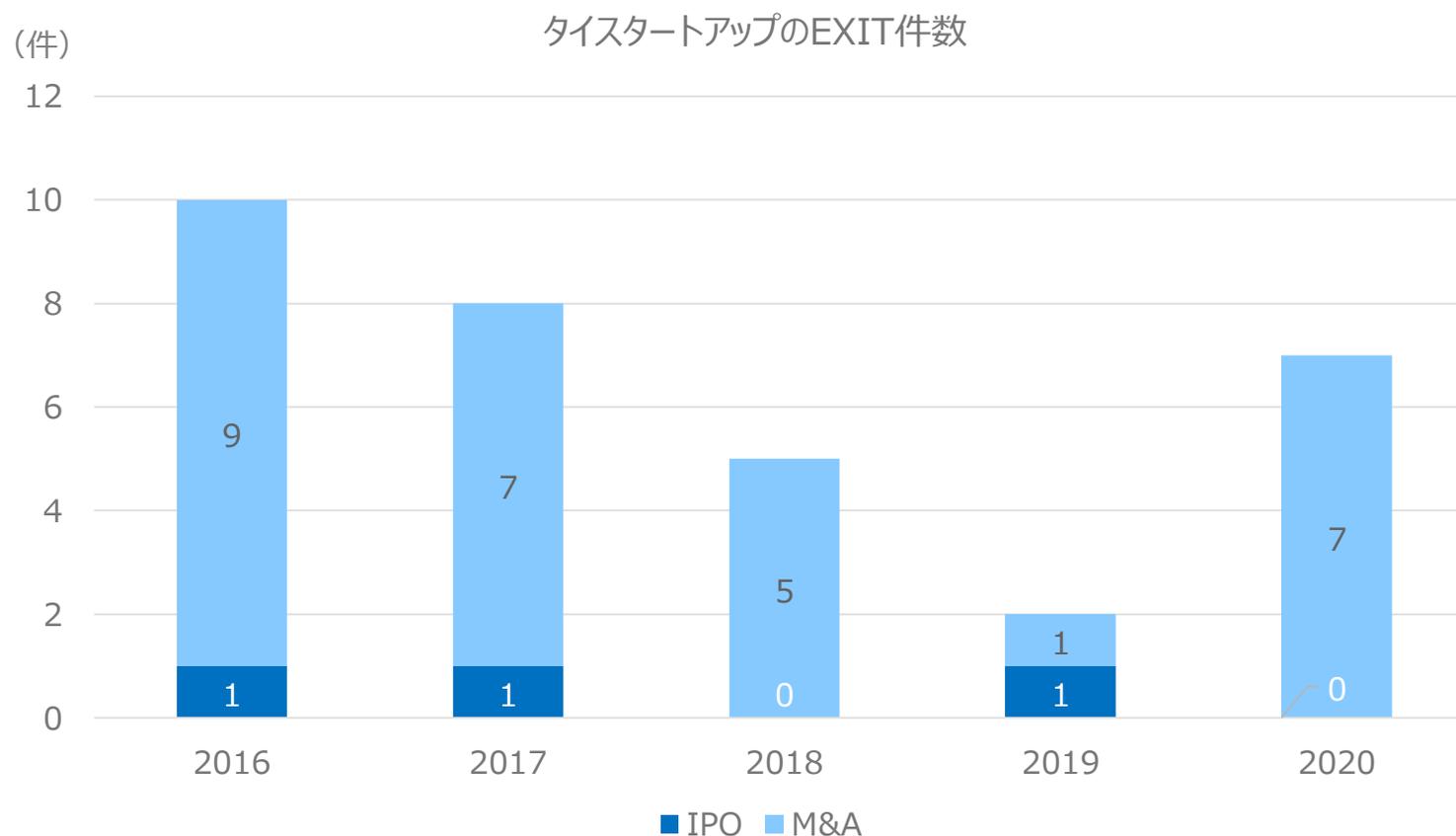
- 直近5年間をみると、情報通信業（ソフトウェアなど）、卸売・小売、金融・保険業などが主な投資先となっている。
- 2020年の投資総額の増加は、eコマースやフードデリバリーに関連する物流企業への投資による影響が大きい。

業種別 タイスタートアップへの投資金額



(3) タイスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

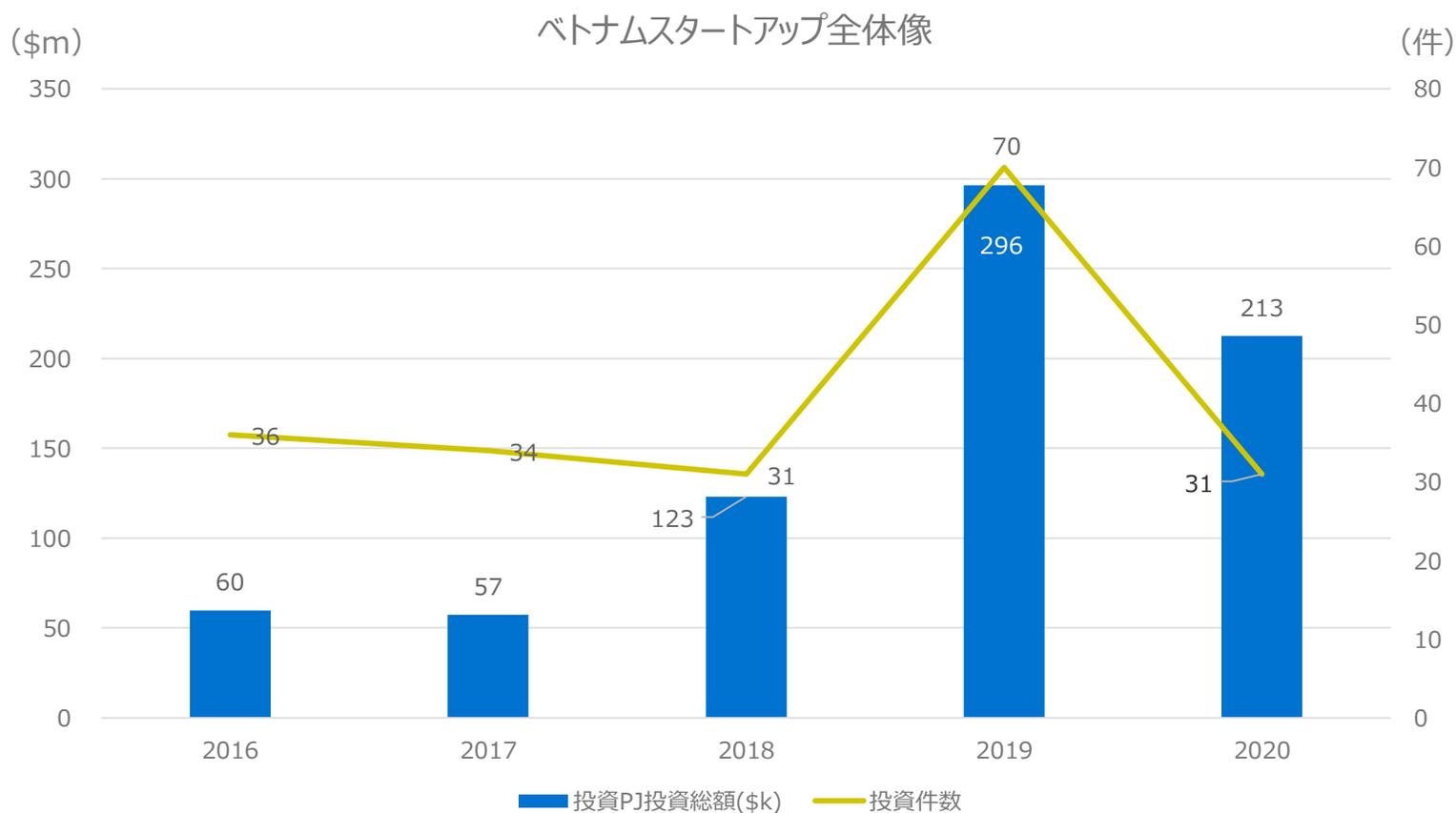
- タイのスタートアップの年間EXIT件数は10件以下。2019年まで減少傾向にあったが、2020年に再び増加した。



(5) ベトナムにおけるスタートアップへの投資動向

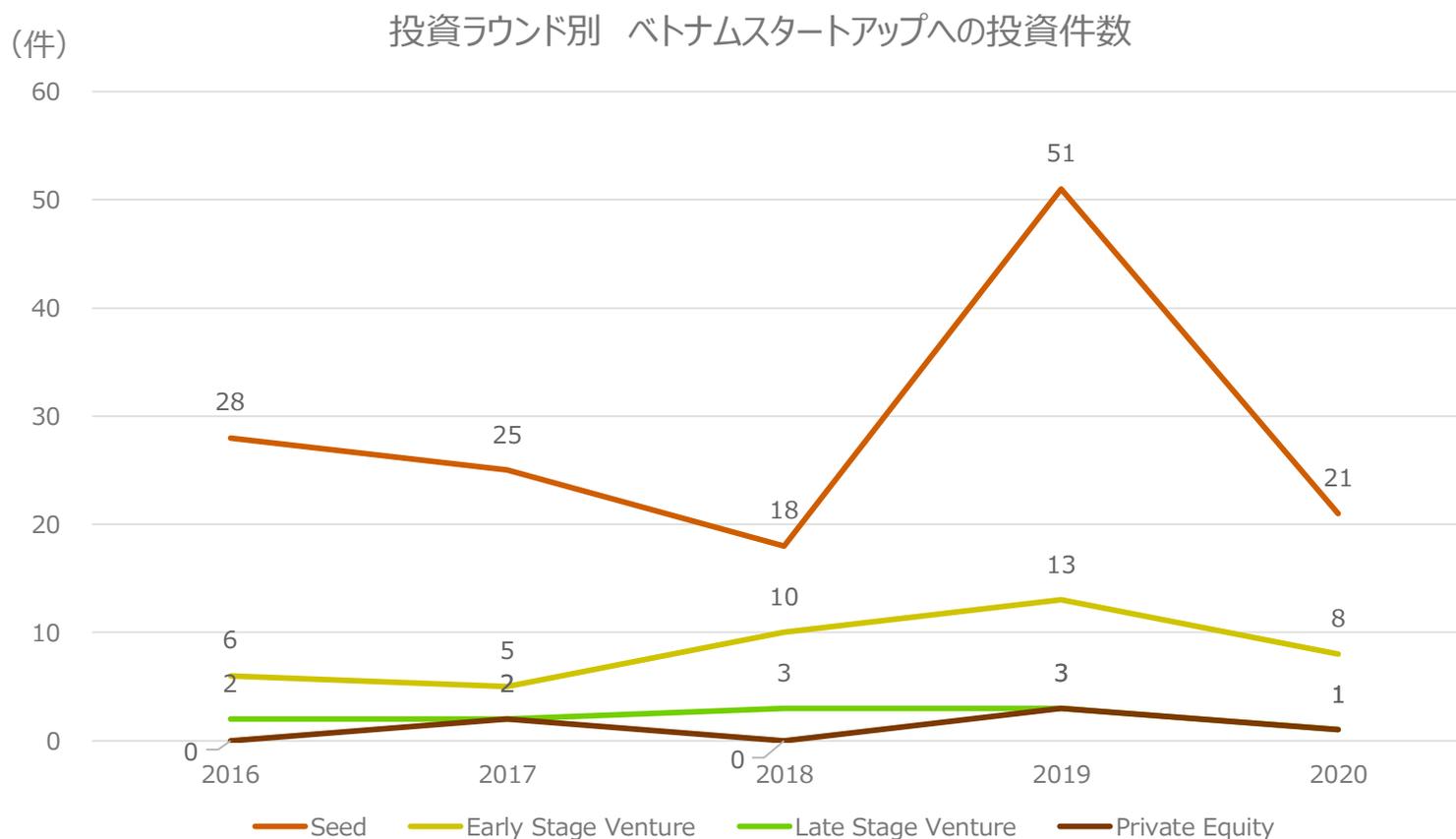
(0) ベトナムスタートアップへの投資 全体像

- ベトナムのスタートアップへの投資は2019年に急増したが、2020年に落ち込んだ。
- 2020年は件数、金額ともに減少したが、件数は2018年と同数である一方で金額は同年より多く、1件当たりの投資金額の伸びがみられた。



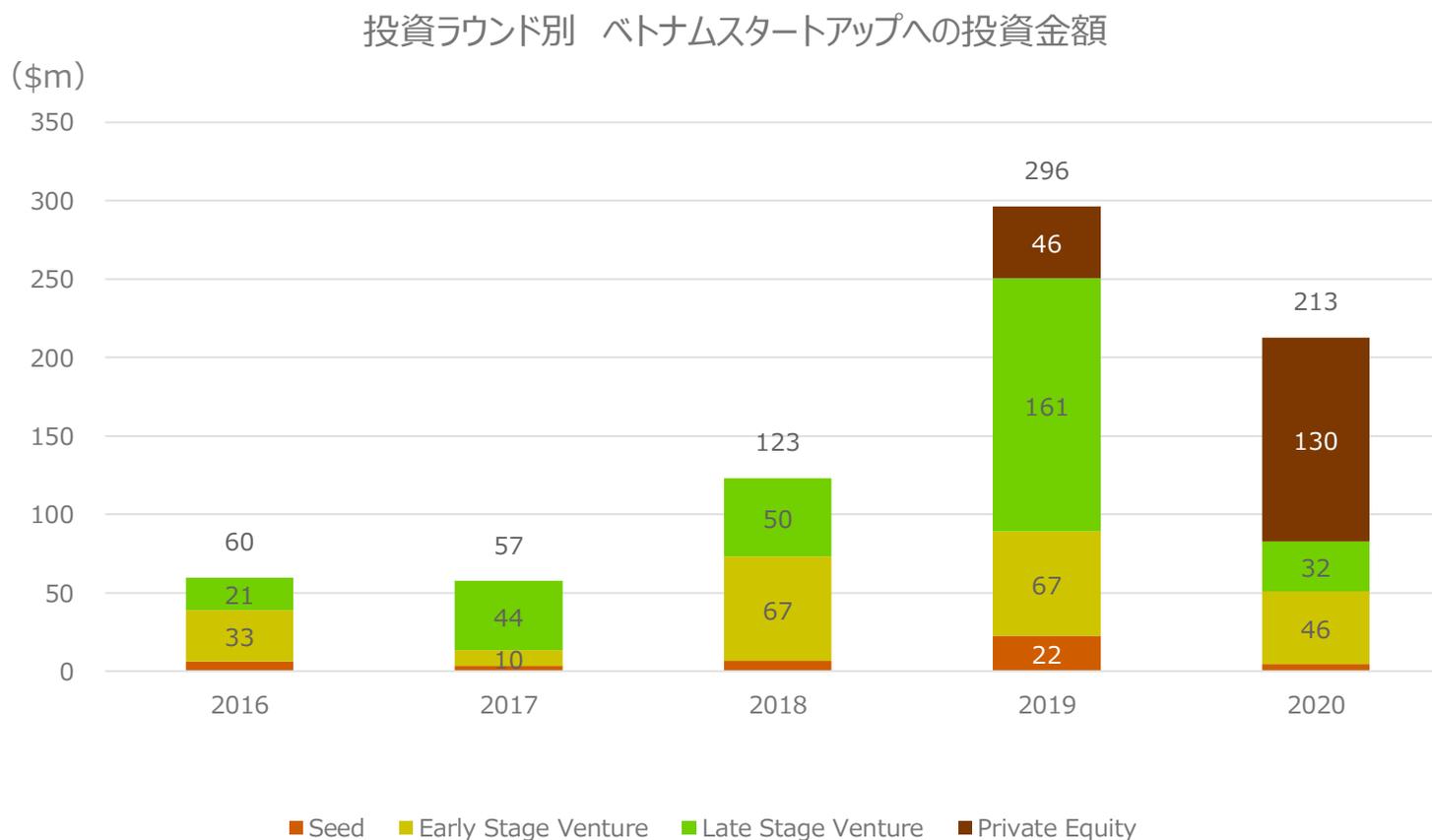
(1) ベトナムスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- 件数ベースではSeedへの投資が最も多く、その他のステージへの投資は限定的。



(1) ベトナムスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

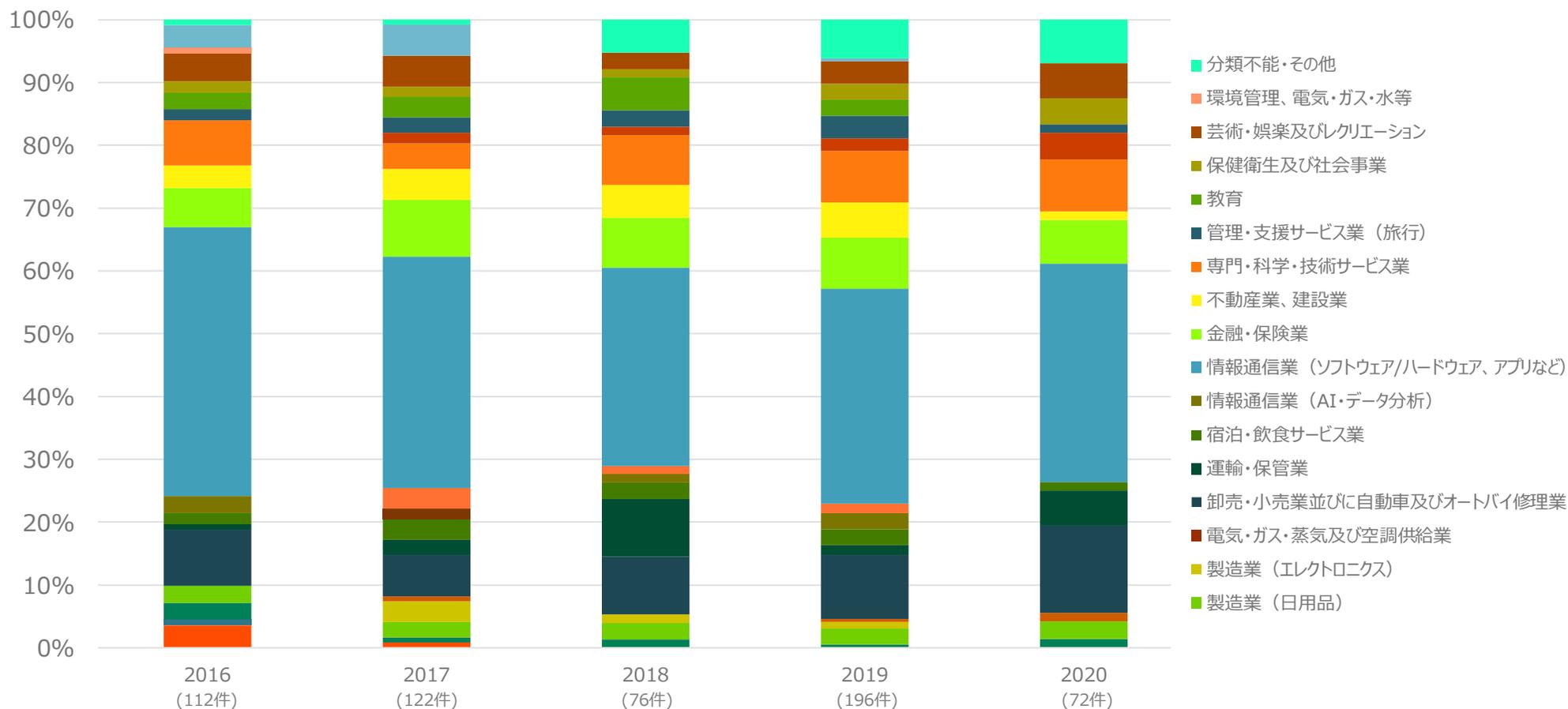
- 2017～2019年はEarly StageとLate Stageへの投資金額が伸長したが、2020年はLate Stageを中心に大幅減となった。



(2) ベトナムスタートアップへの投資 業種別投資件数

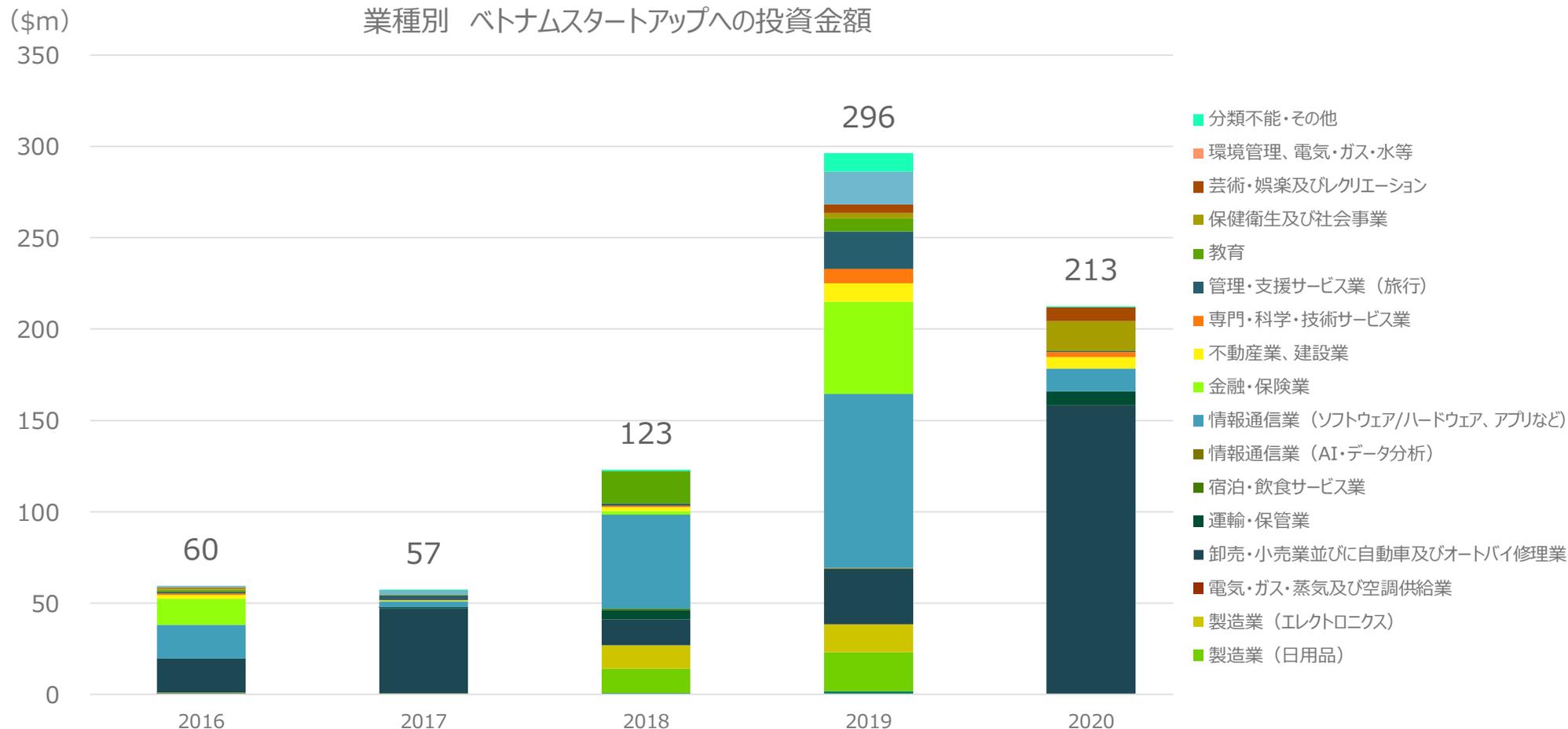
- 投資件数ベースでは情報通信業、卸売・小売、専門・科学サービス業に多くの投資が行われている。

業種別 ベトナムスタートアップへの投資（件数割合）



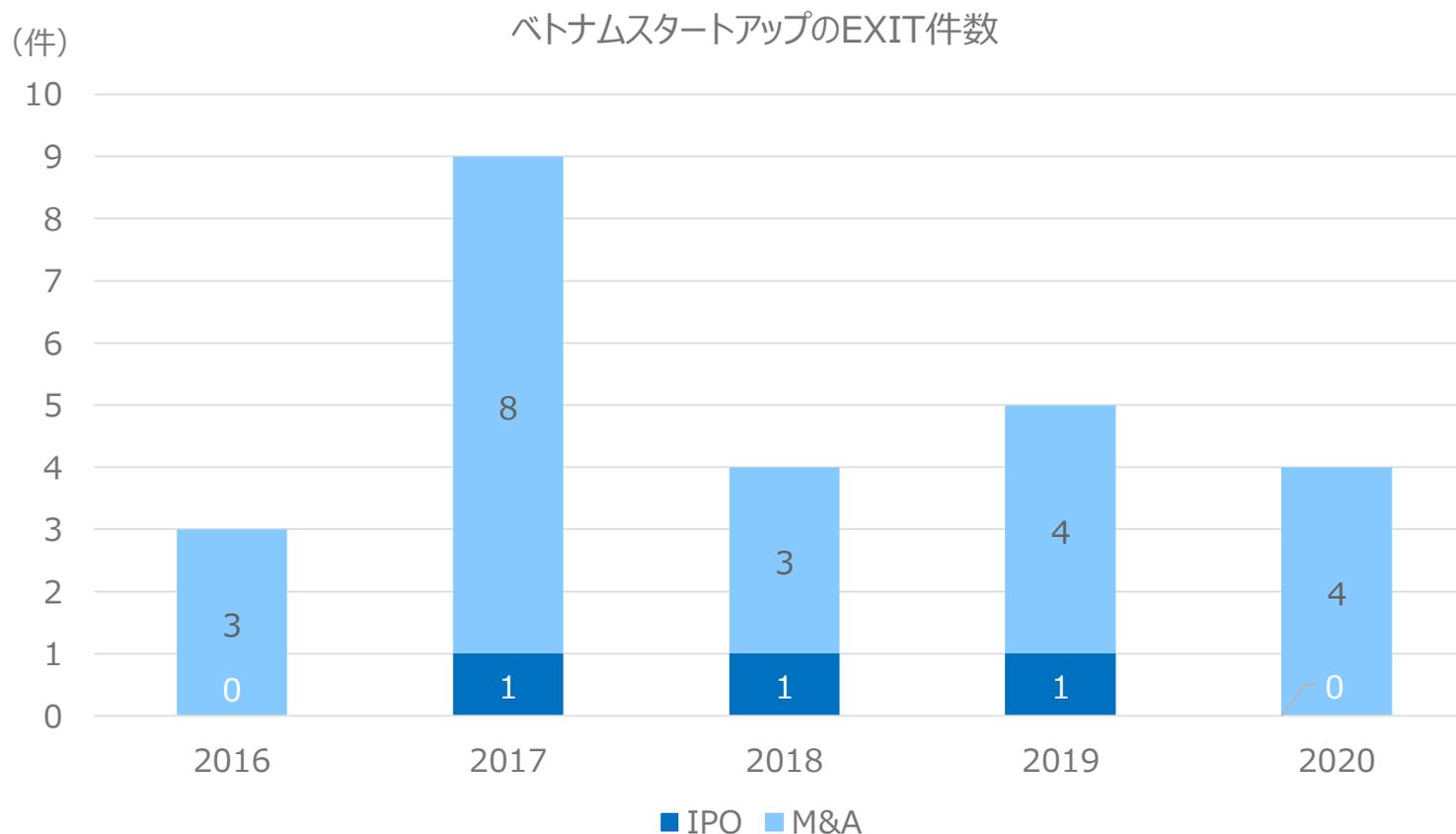
(2) ベトナムスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 直近5年をみると、情報通信業、卸売・小売などが主な投資先となっている。
- 特に2018年、2019年には他国ではあまり見られない「製造業（日用品）」への投資が一定数ある点、2020年は卸売・小売への投資が大半になっている点が特徴的。



(3) ベトナムスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

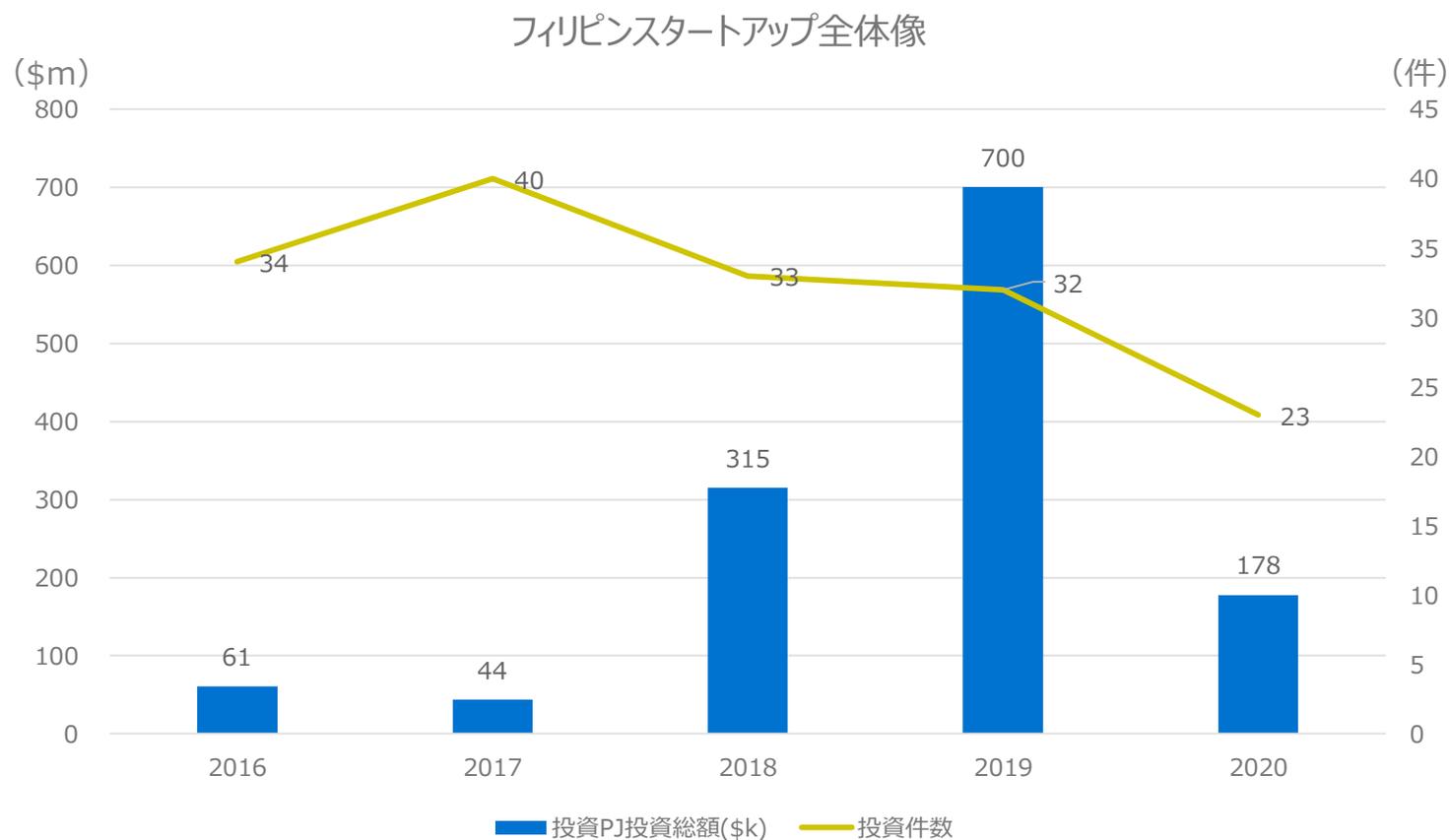
- ベトナムのスタートアップのEXIT件数は毎年数件程度。大半はM&Aによる。



(6) フィリピンにおけるスタートアップへの投資動向

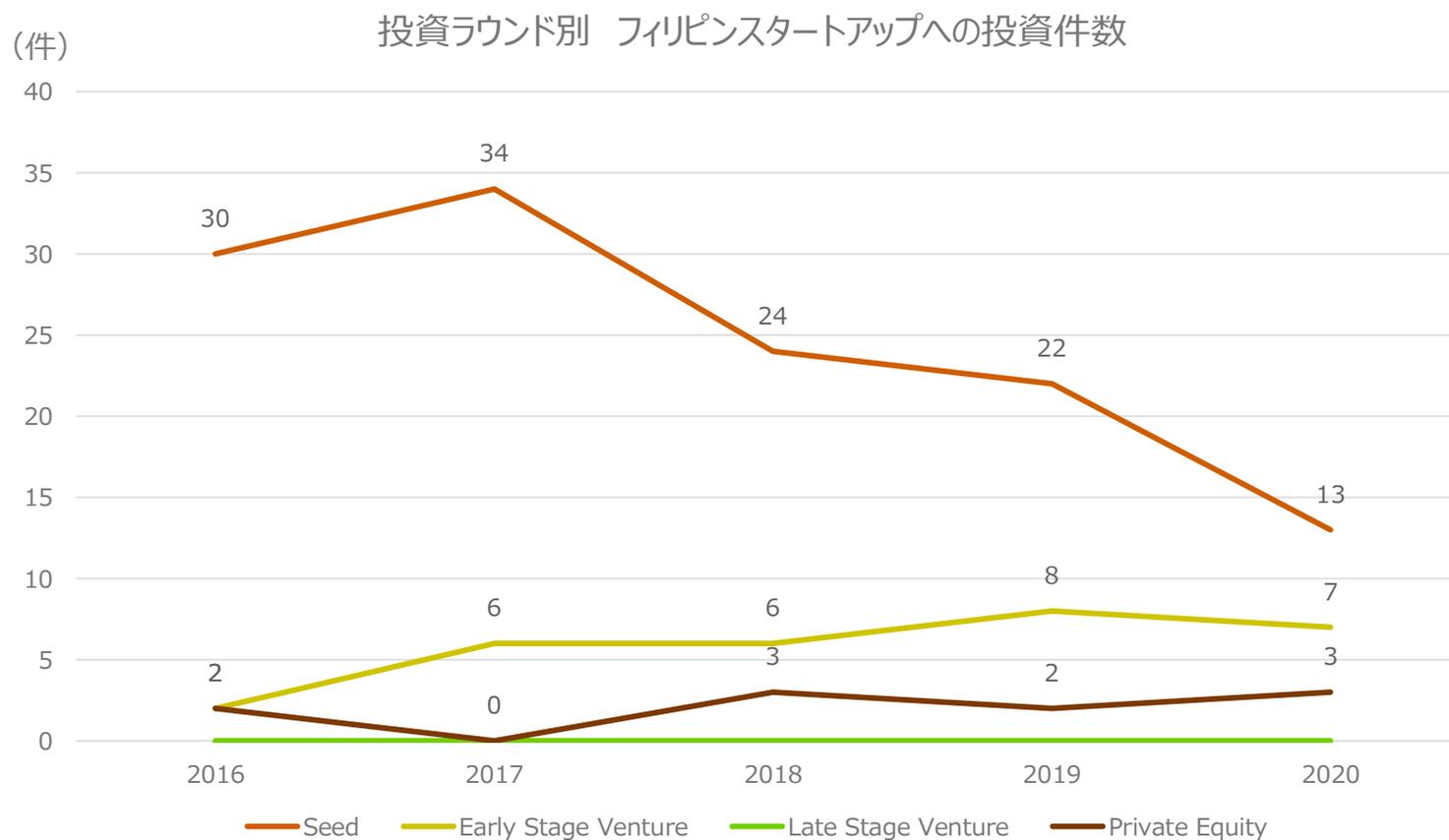
(0) フィリピンスタートアップへの投資 全体像

- フィリピンのスタートアップへの投資は2019年に金額が急増したが、2020年は金額、件数ともに落ち込んだ。



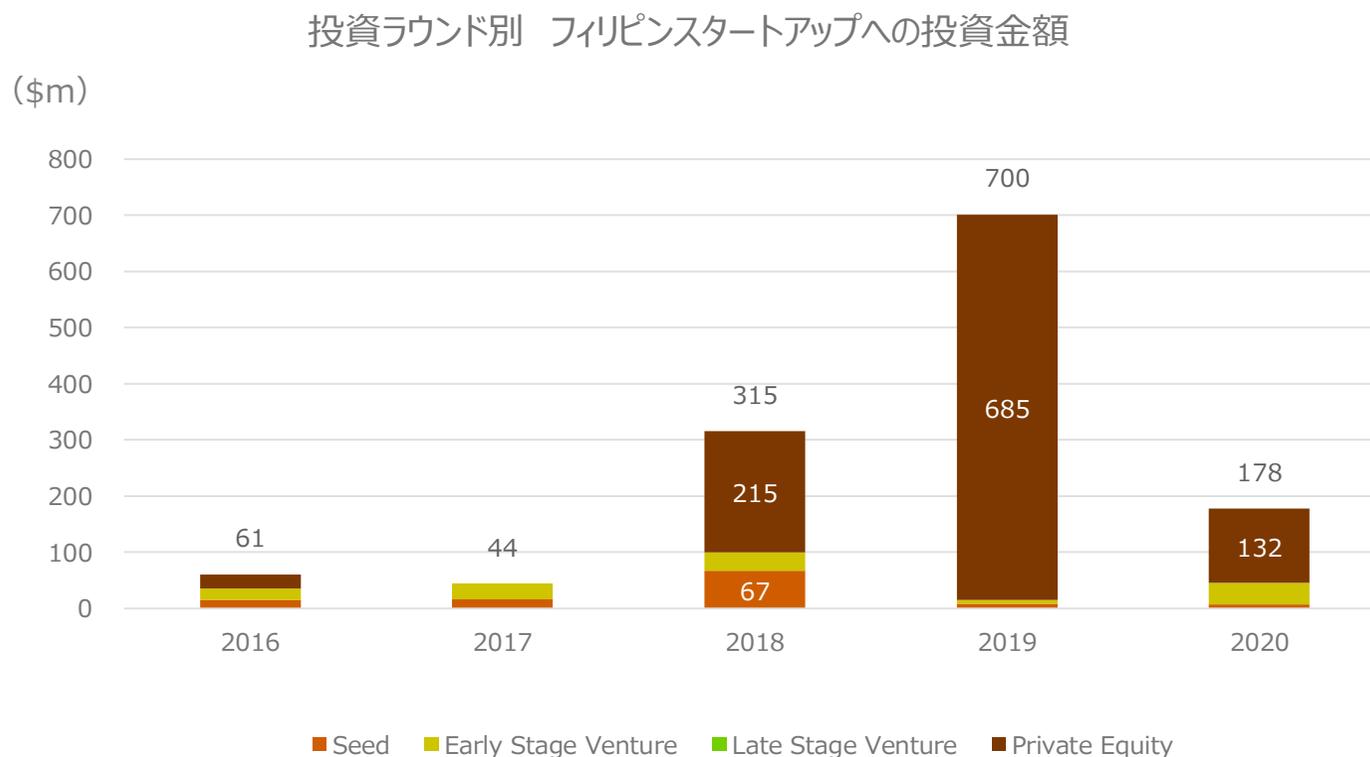
(1) フィリピンスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- 直近5年間で、Seedへの投資が年々減少。Early StageとPEはほぼ横ばいである。



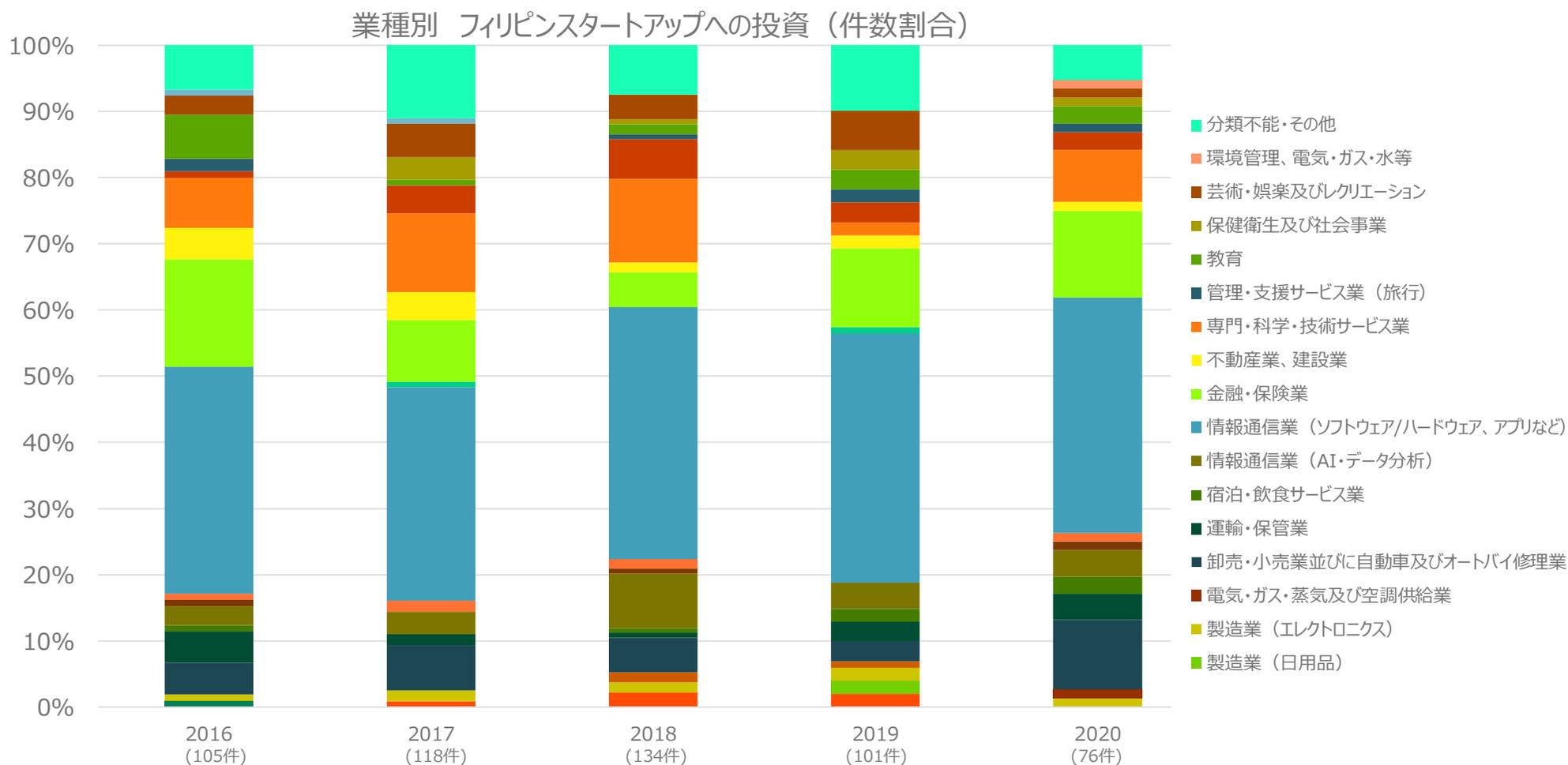
(1) フィリピンスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

- 直近5年間のフィリピンのスタートアップへの投資は、PEへの投資が中心で、その他のステージへの投資は限定的。



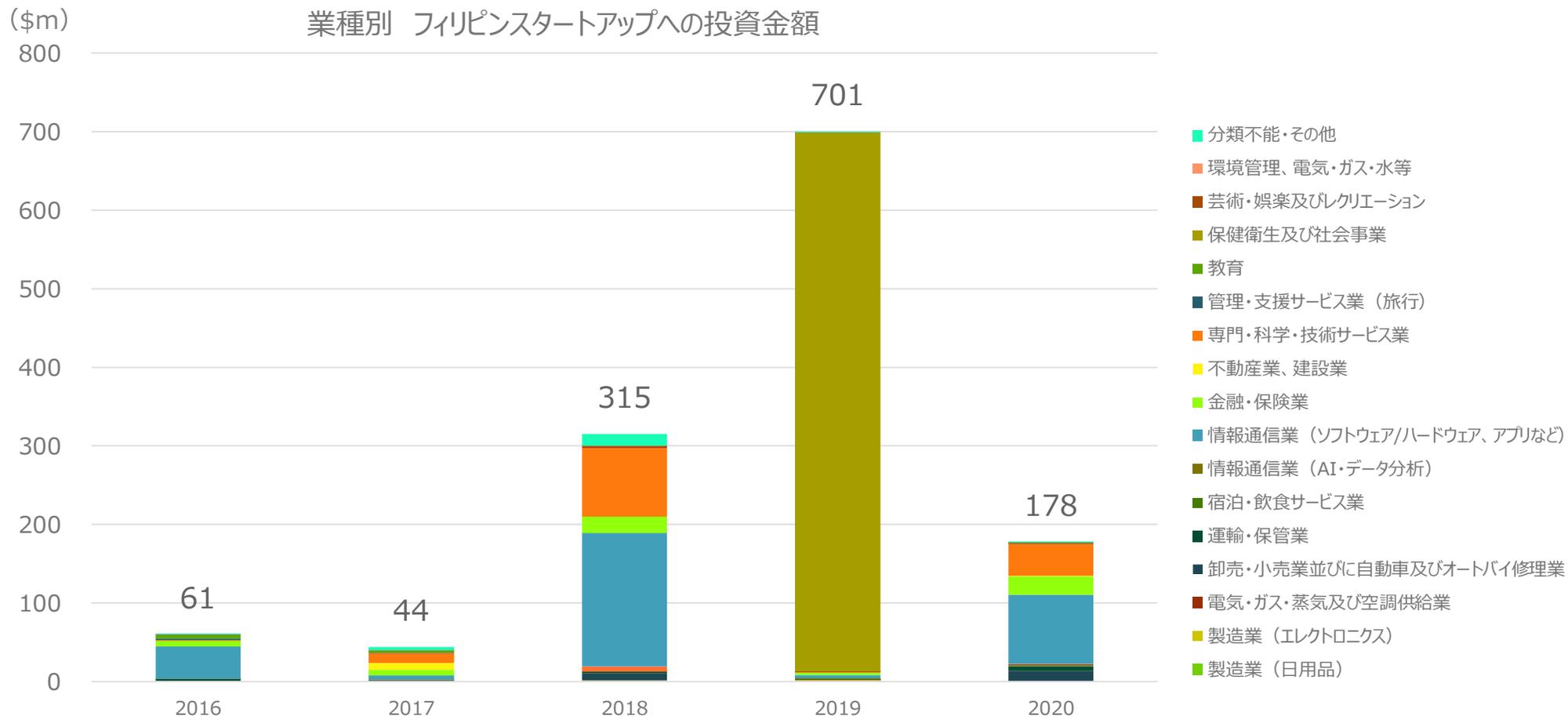
(2) フィリピンスタートアップへの投資 業種別投資件数

- 投資件数ベースでは、毎年、情報通信業が最も多い。年による業種構成の大きな変化はみられない。



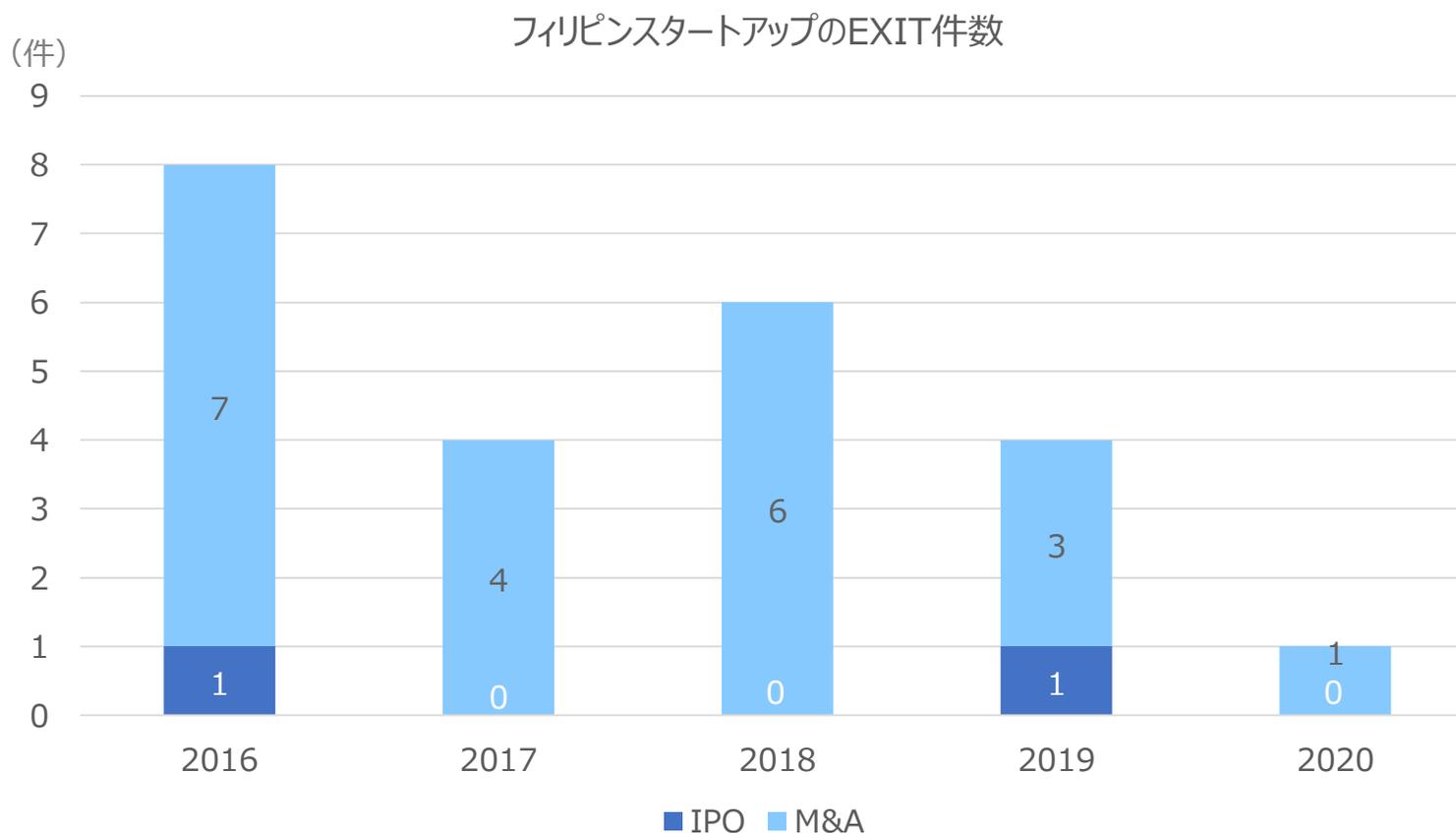
(2) フィリピンスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 2019年を除き、情報通信業（ソフトウェアなど）への投資が多い。
- 2019年の「保健衛生」関連の投資は、2007年設立の病院による大規模資金調達によるもの。



(3) フィリピンスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

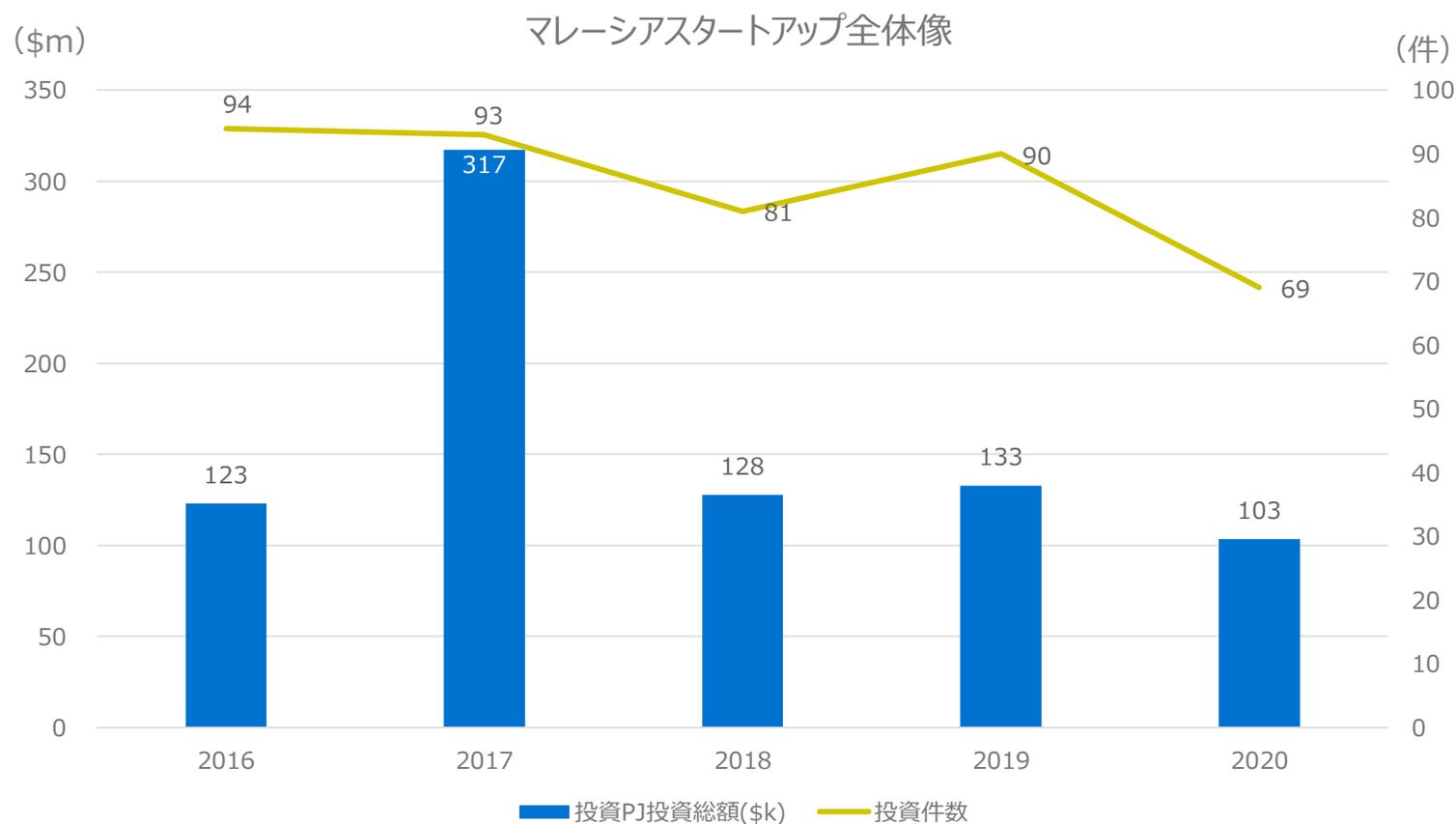
- フィリピンのスタートアップ企業のEXITは年間数件程度で、減少傾向にある。大半はM&Aによるもの。



(7) マレーシアにおけるスタートアップへの投資動向

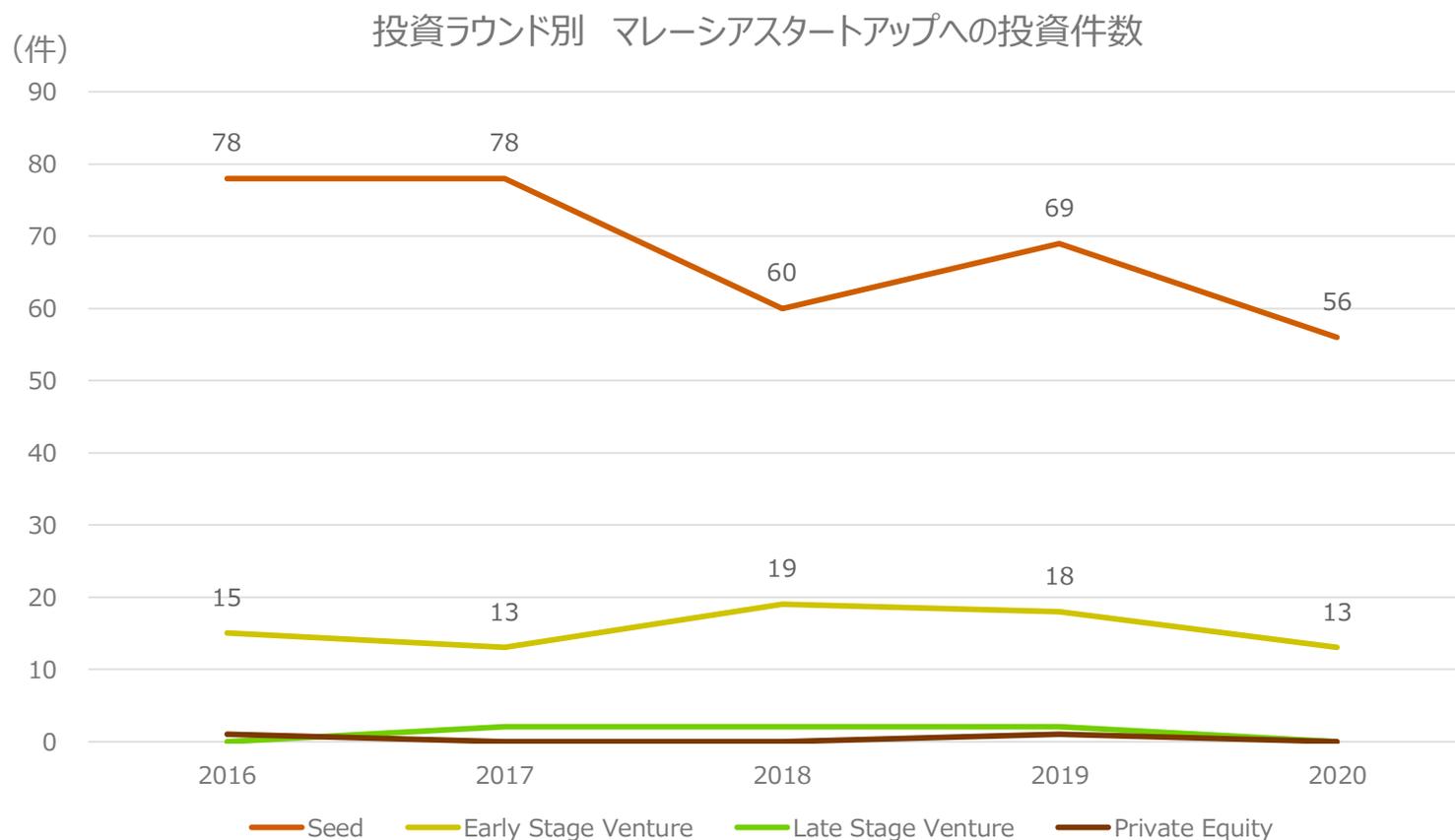
(0) マレーシアスタートアップへの投資 全体像

- マレーシアのスタートアップへの投資件数は減少傾向にある。金額は2017年に急増したものの、その他の年は1億ドル台前半で推移している。



(1) マレーシアスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

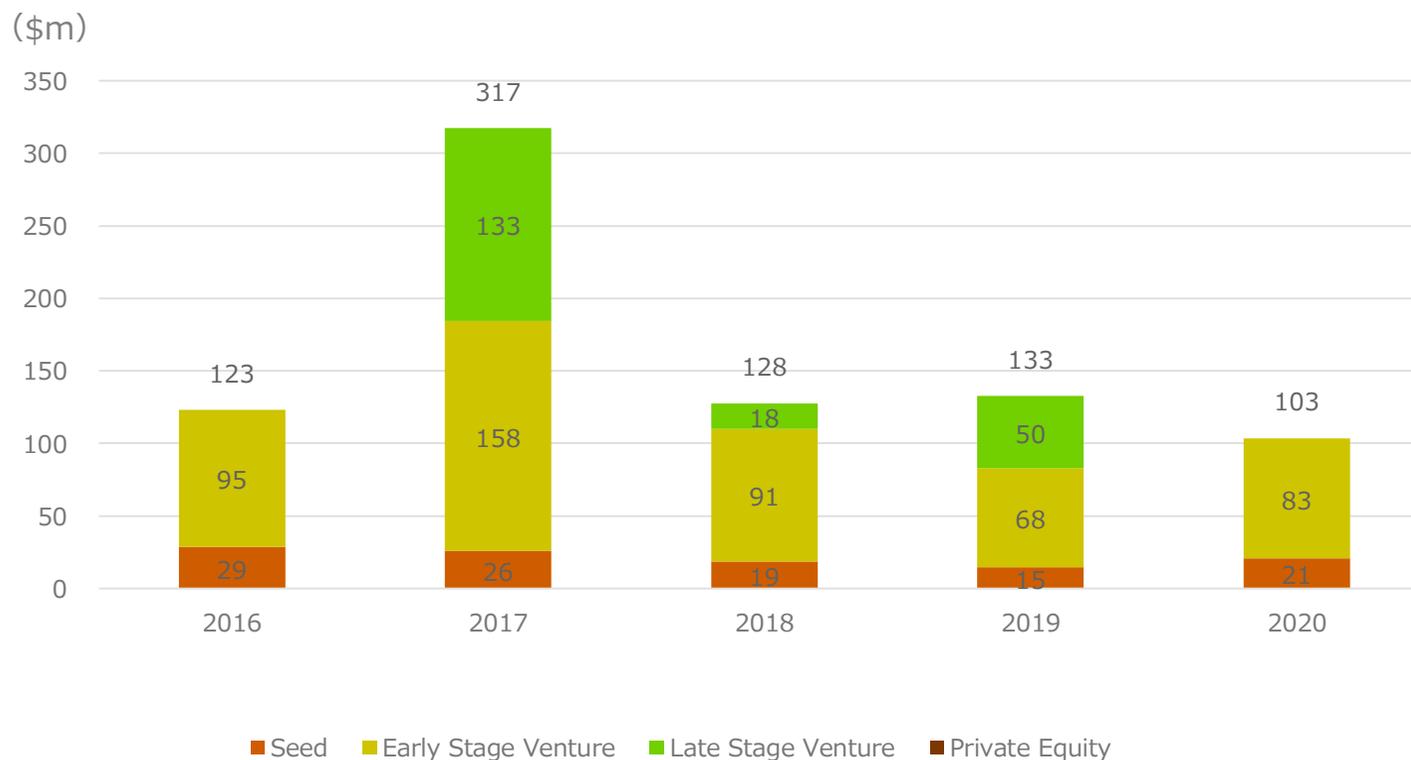
- 直近5年間、マレーシアのスタートアップへの投資ではSeedへの投資が減少傾向、Early Stageは横ばいで推移している。



(1) マレーシアスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

- 直近5年間のマレーシアのスタートアップへの投資は、2017年を除き、Early Stageへの投資が中心。

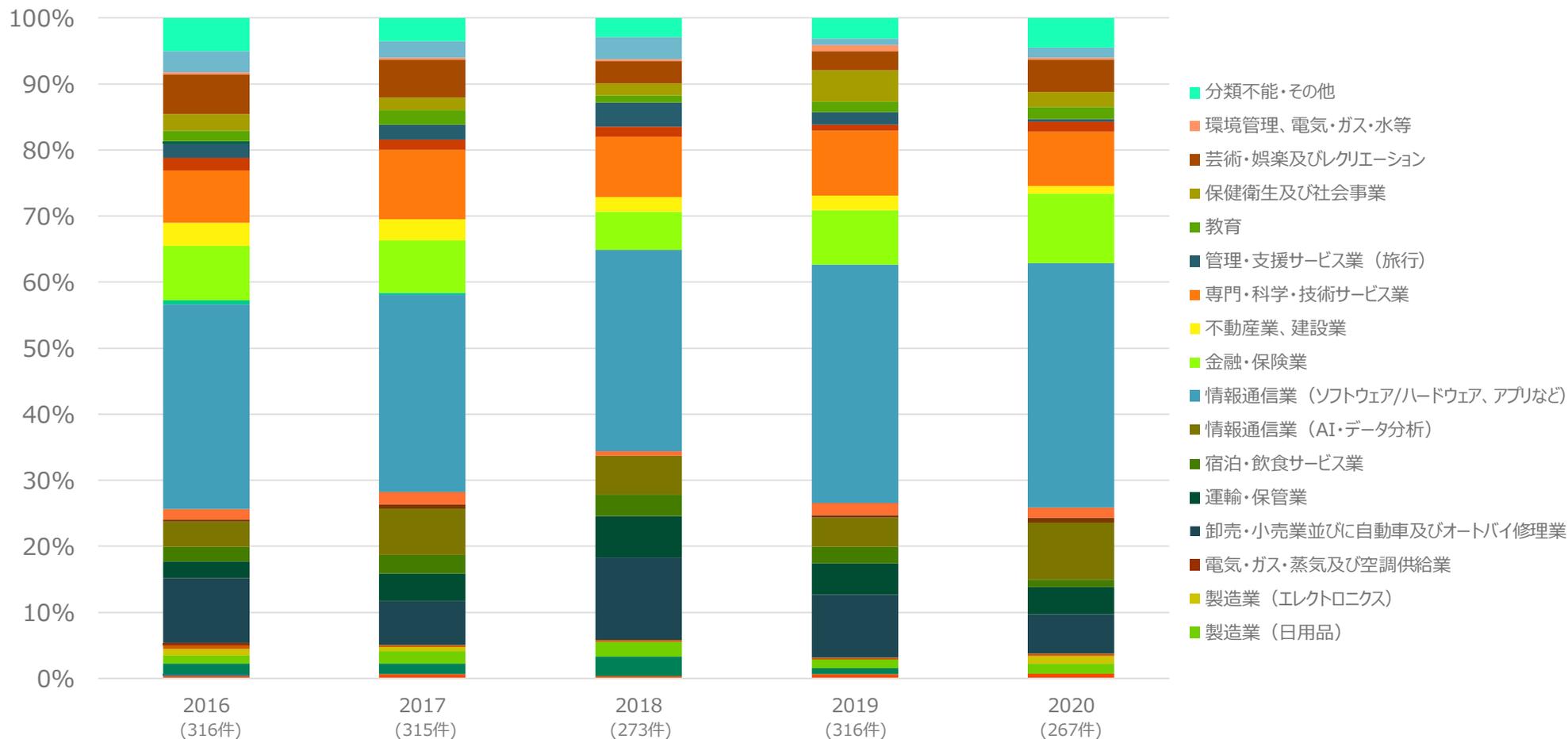
投資ラウンド別 マレーシアスタートアップへの投資金額



(2) マレーシアスタートアップへの投資 業種別投資件数

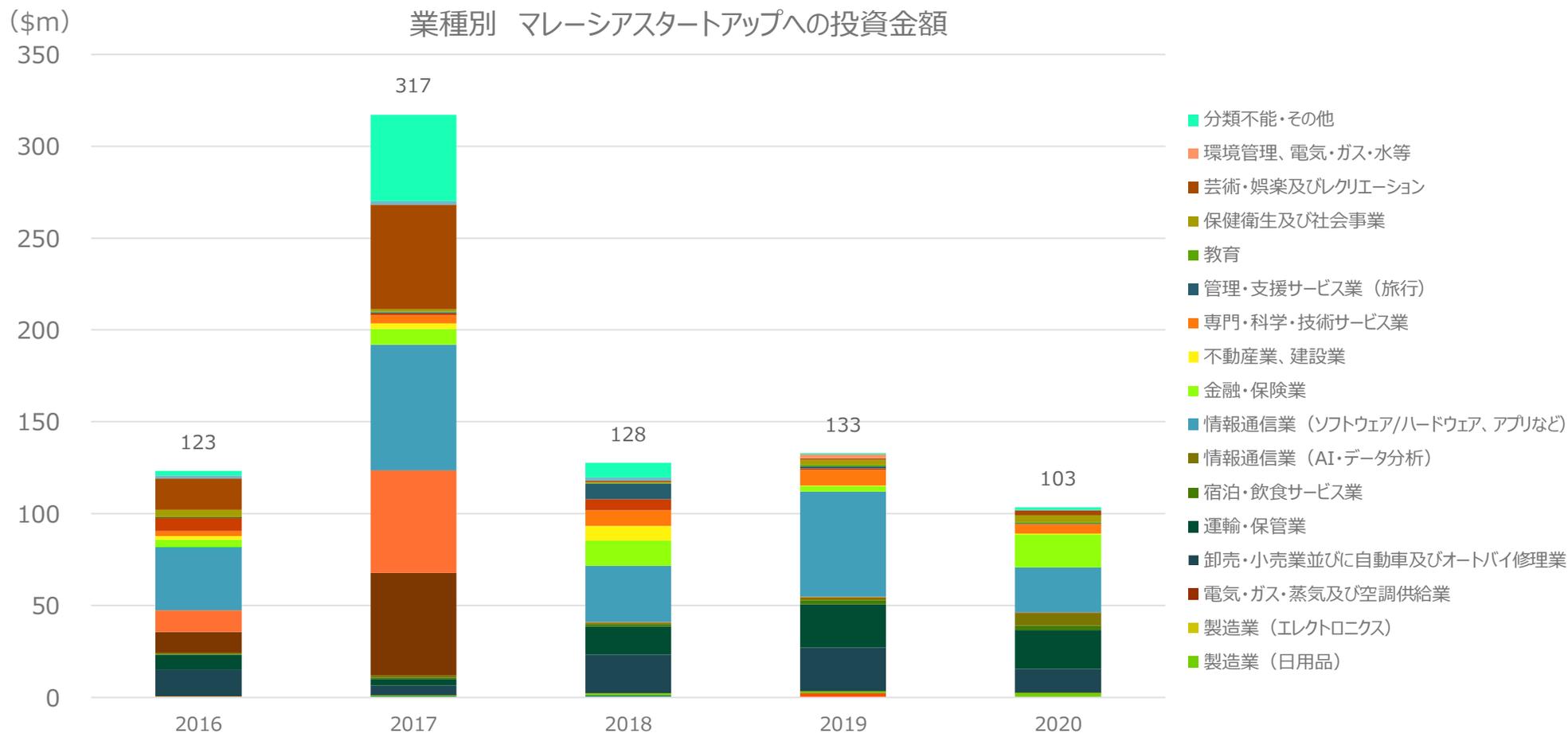
- 投資件数ベースでは、情報通信業が最も多い。年による業種構成の大きな変化はみられない。

業種別マレーシアスタートアップへの投資（件数割合）



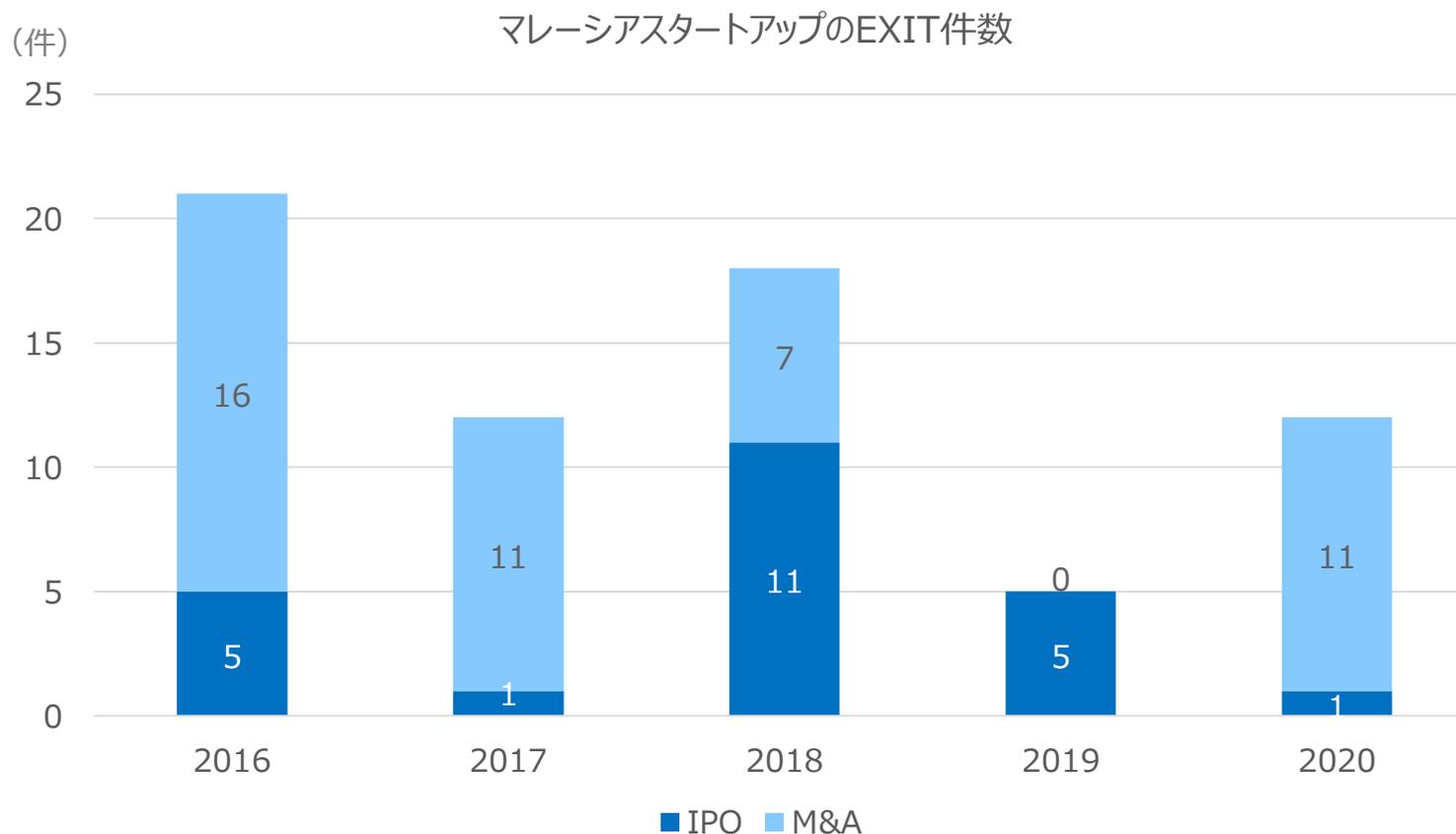
(2) マレーシアスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 直近5年をみると、毎年、主に情報通信業、運輸・保管業、卸売・小売などに一定量の投資が行われている。



(3) マレーシアスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

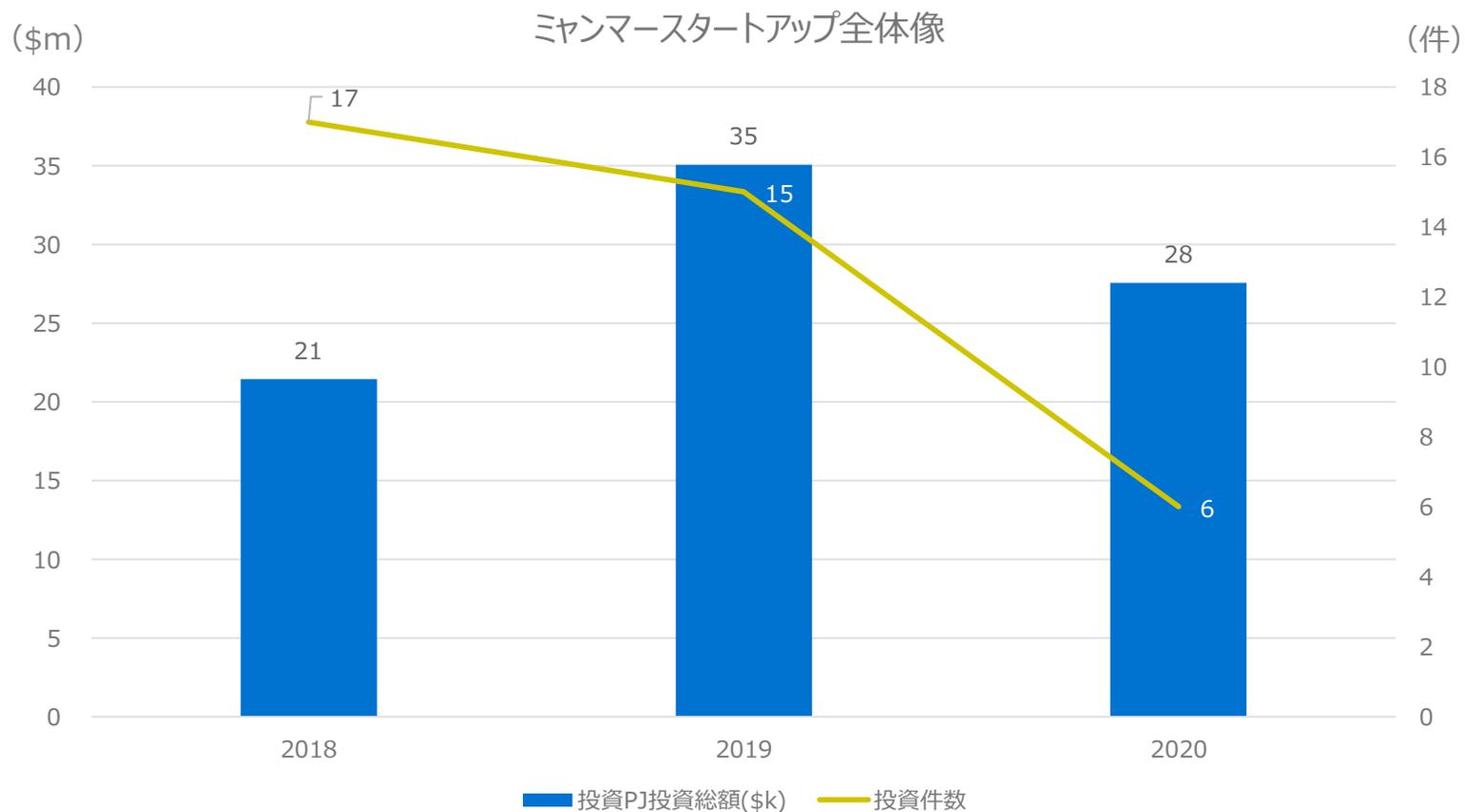
- マレーシアのスタートアップは、毎年10~20社程度がEXITしている。



(8) ミャンマーにおけるスタートアップへの投資動向

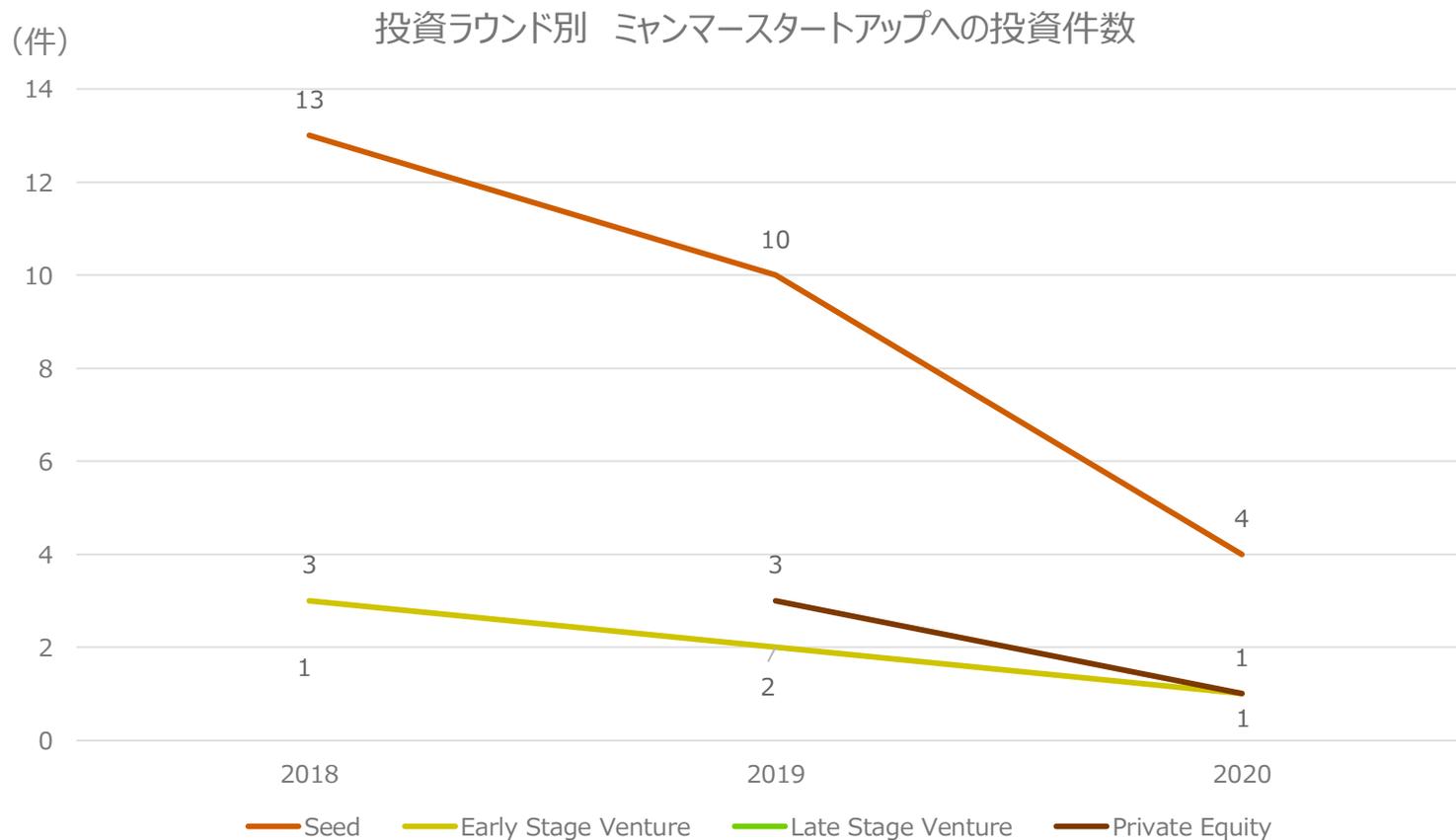
(0) ミャンマースタートアップへの投資 全体像

- ミャンマーのスタートアップへの投資は、直近3年間で金額が最も多い2019年で3500万ドル弱と、規模は限定的。件数は減少傾向にある。



(1) ミャンマースタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

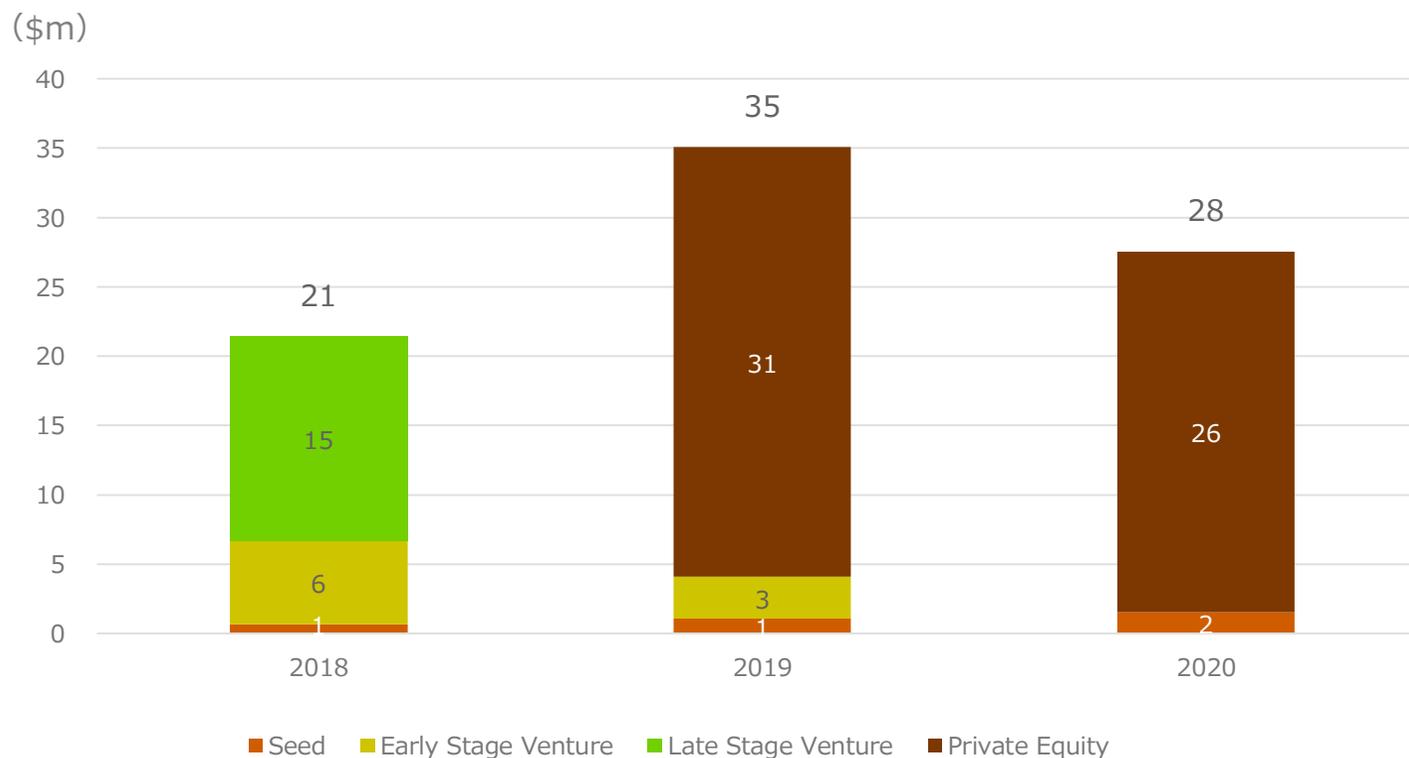
- 2018年から2020年のミャンマーのスタートアップへの投資は、件数ベースではSeedが多い。
- 3年間で、すべてのステージで投資件数が減少している。



(1) ミャンマースタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

- 直近のミャンマーのスタートアップへの投資は、金額ベースではPEへの投資が中心。

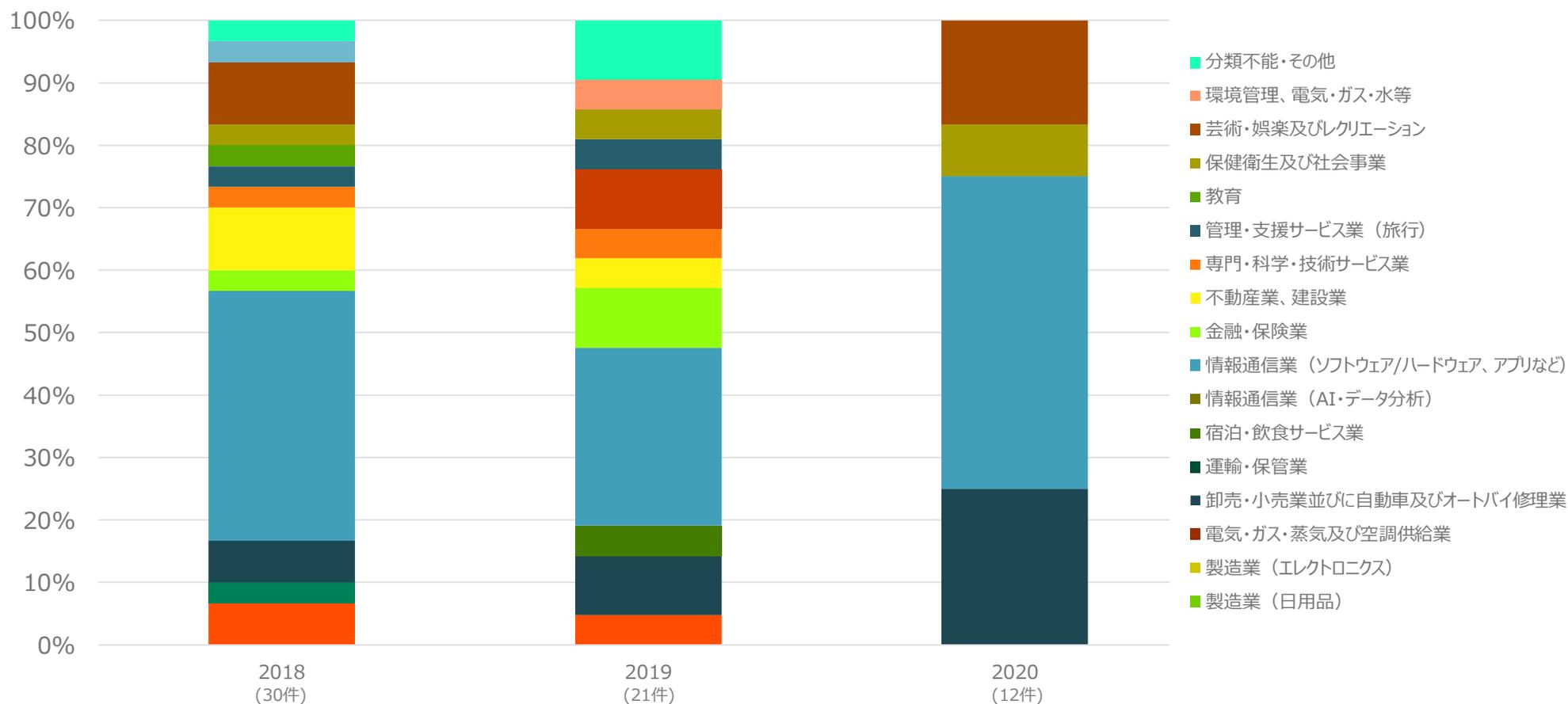
投資ラウンド別 ミャンマースタートアップへの投資金額



(2) ミャンマースタートアップへの投資 業種別投資件数

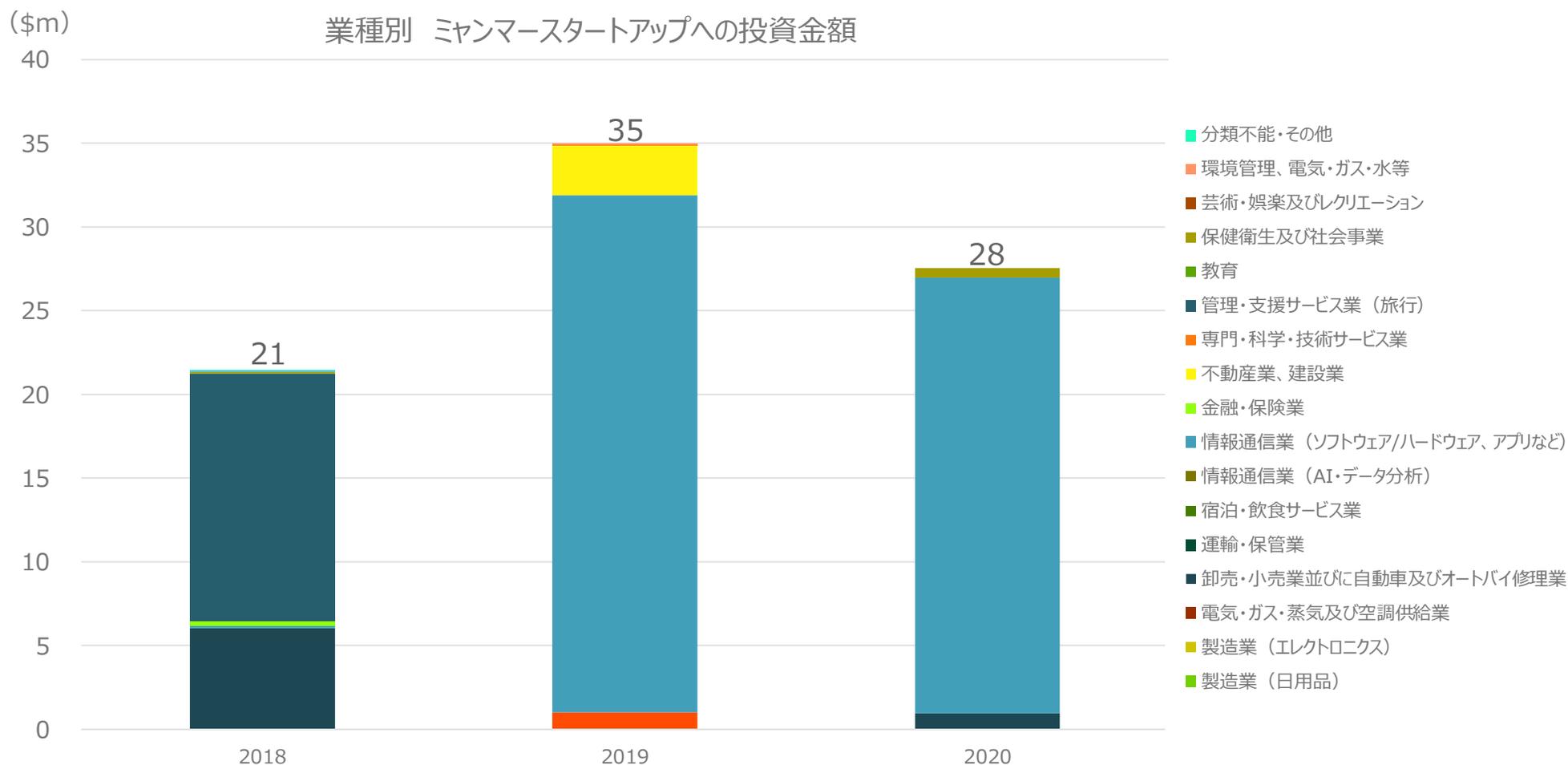
- 直近3年間の投資件数ベースでは、情報通信業が最も多い。

業種別 ミャンマースタートアップへの投資（件数割合）



(2) ミャンマースタートアップへの投資 業種別投資金額

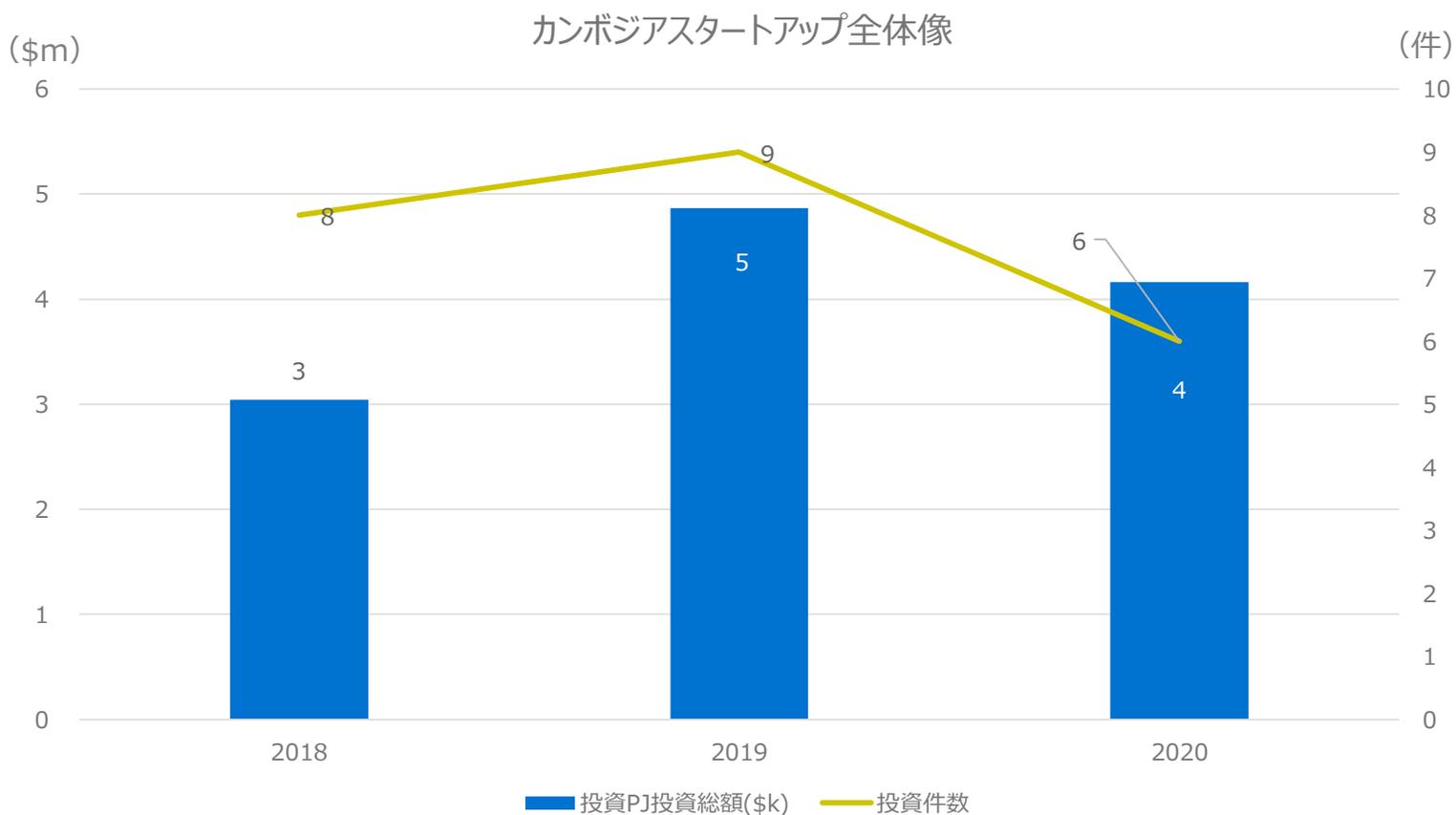
- 2018年のミャンマーへの投資は、ほぼ全額が管理・支援サービス業（旅行）と卸売・小売、2019年以降は情報通信業（ソフトウェアなどおよび広告・出版）で構成されている。



(7) カンボジアにおけるスタートアップへの投資動向

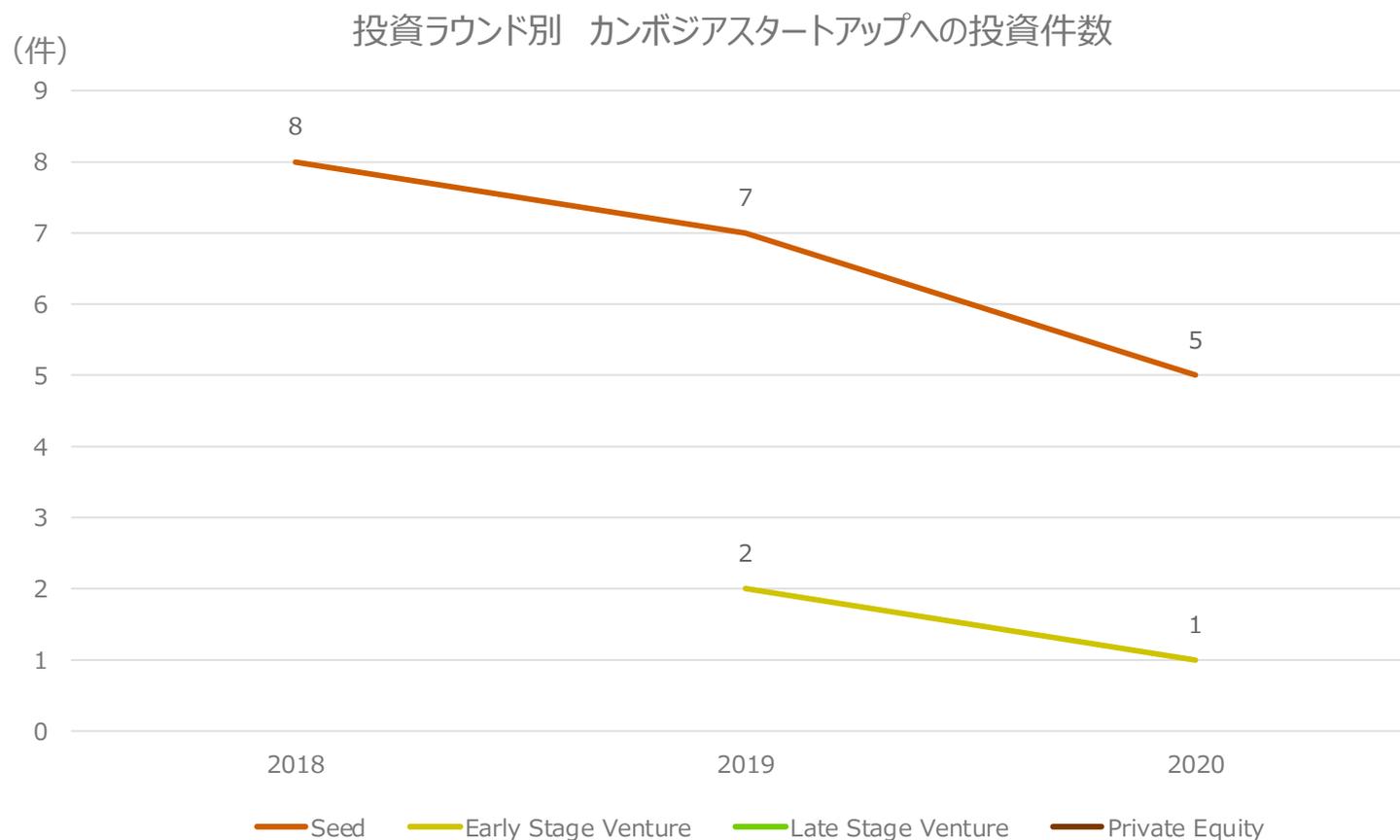
(0) カンボジアスタートアップへの投資 全体像

- カンボジアのスタートアップへの投資は、直近3年間で金額が最も多い2019年で500万ドル弱と、現時点でその規模は限定的。件数はやや減少している。



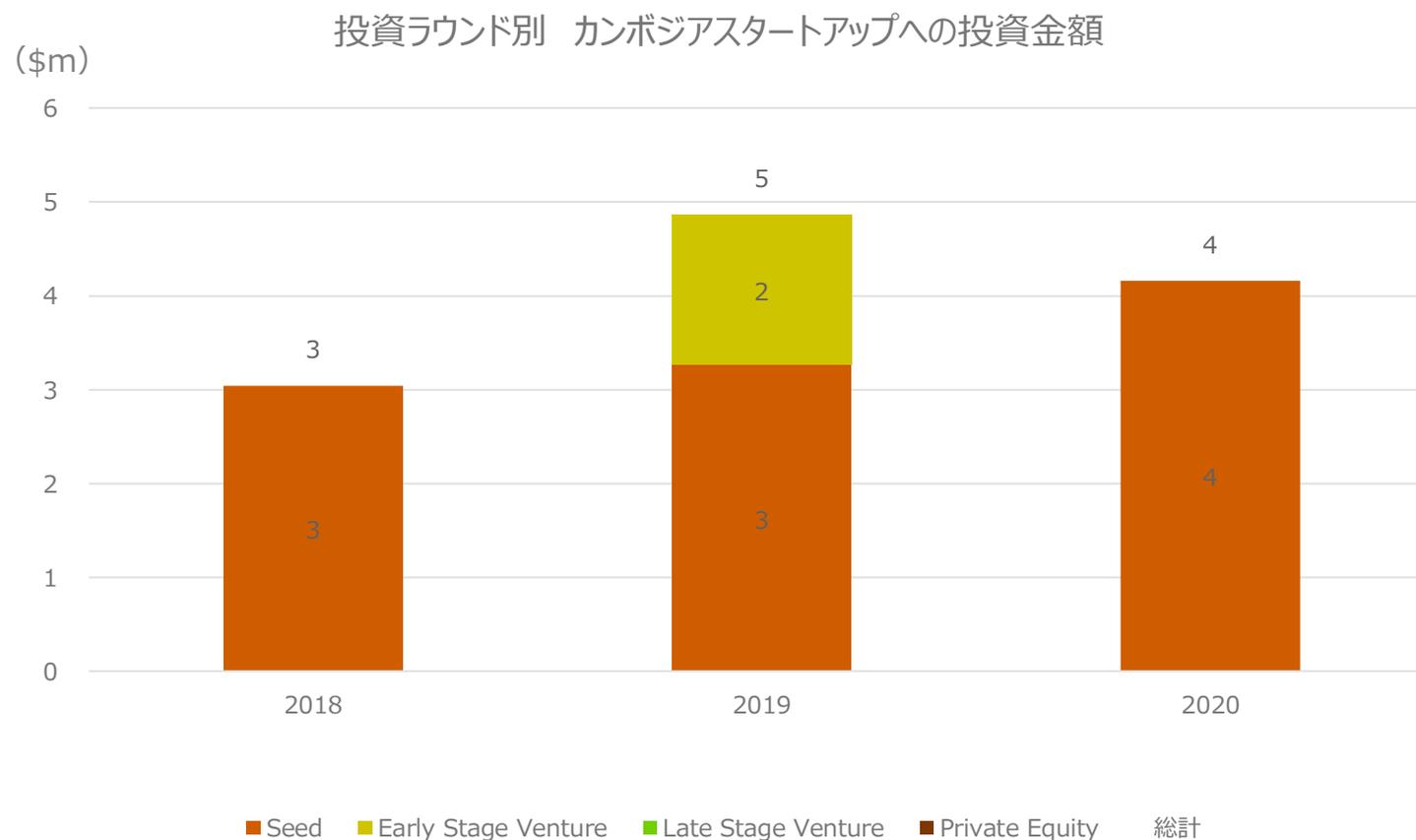
(1) カンボジアスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- カンボジアのスタートアップへの投資は、2018年から2020年はSeedとEarly Stageの企業への投資のみ。



(1) カンボジアスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

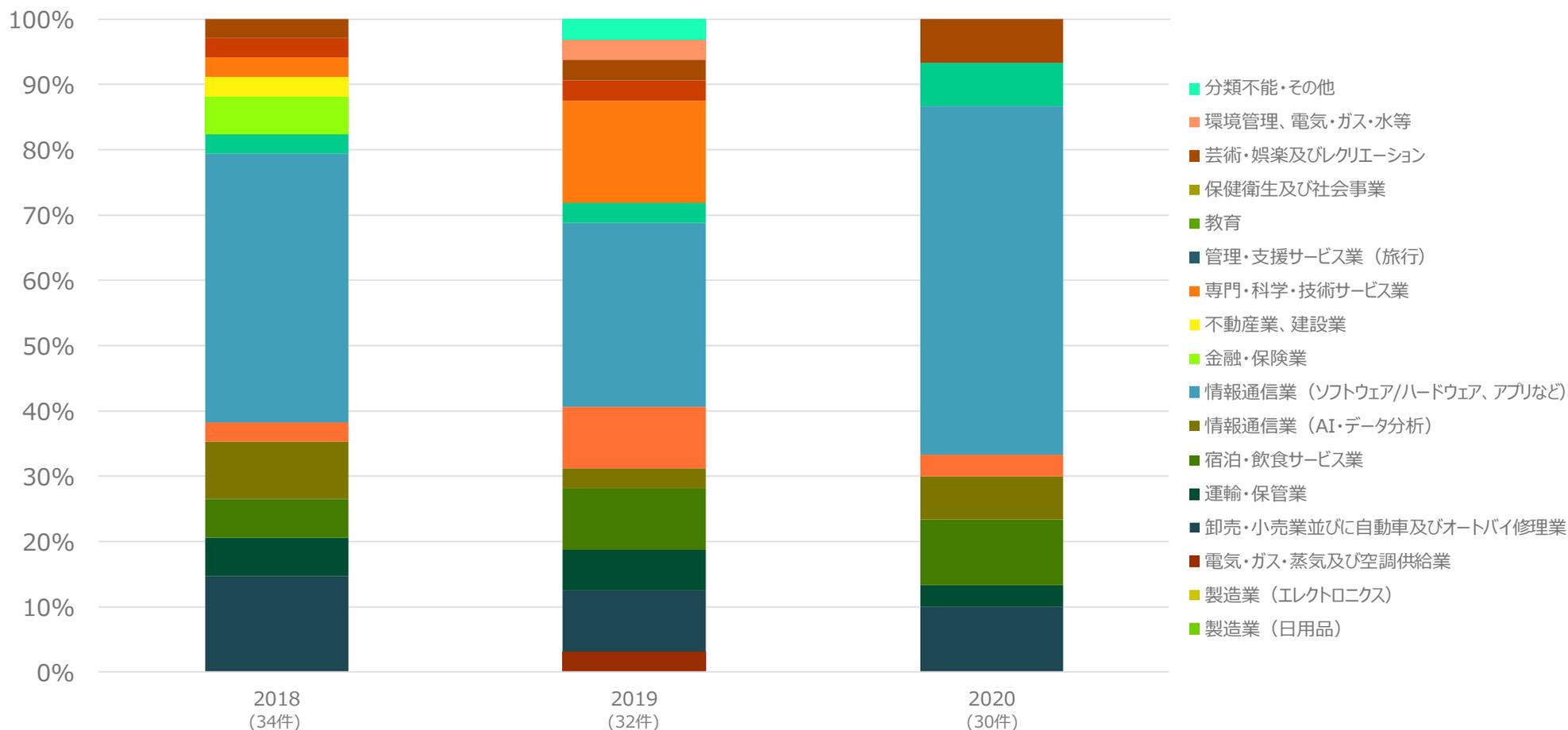
- 直近3年間のカンボジアのスタートアップへの投資は、金額ベースではSeedへの投資が中心。



(2) カンボジアスタートアップへの投資 業種別投資件数

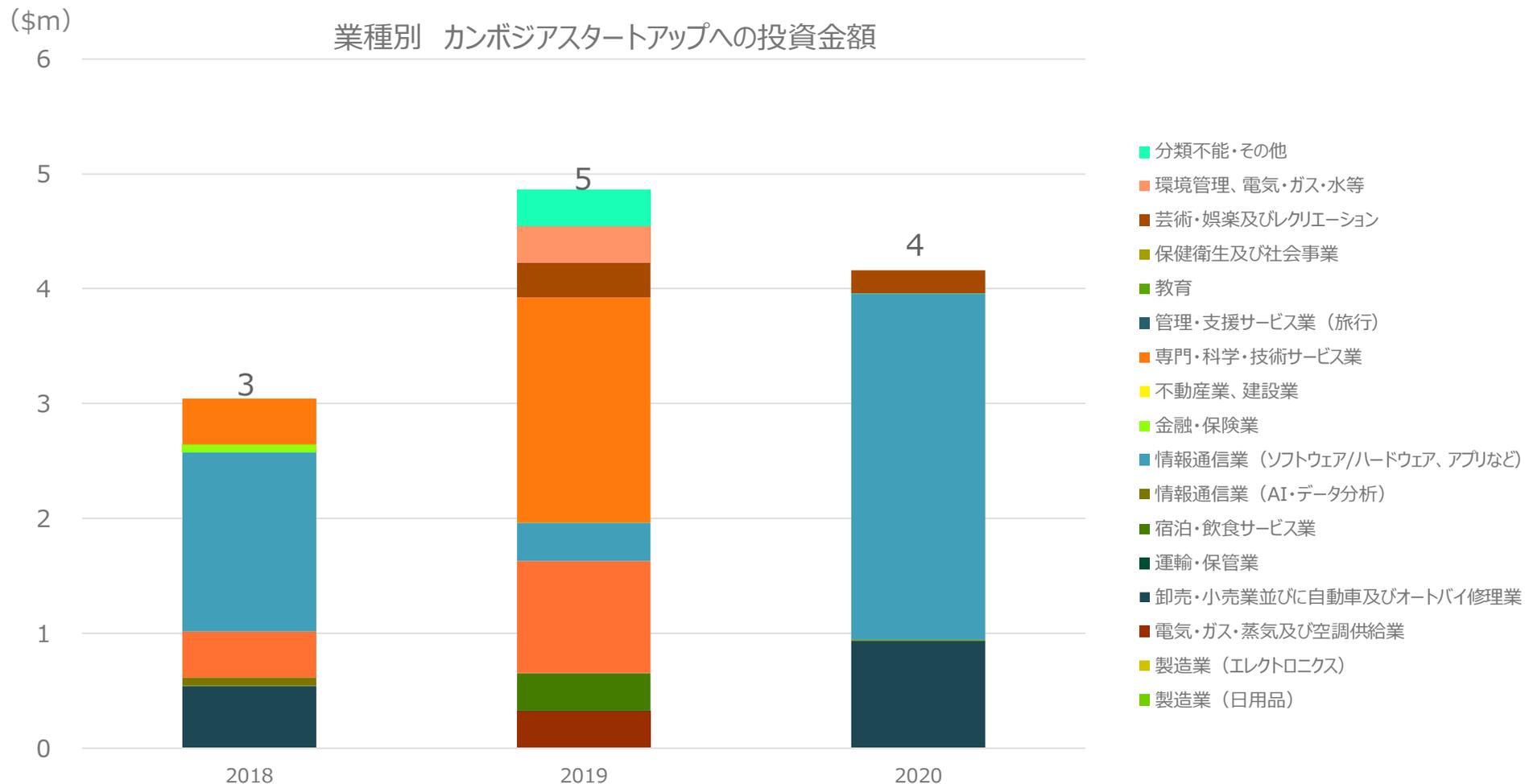
- 投資件数ベースでは、情報通信業が最も多い。

業種別 カンボジアスタートアップへの投資（件数割合）



(2) カンボジアスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 直近3年間のカンボジアへの投資は、金額ベースでは情報通信業（ソフトウェアなどおよび広告・出版）と専門・科学・技術サービス業が中心となっている。



参考資料

(参考) 業種凡例

- 分類不能・その他
- 環境管理、電気・ガス・水等
- 保健衛生及び社会事業
- 公務及び国防・義務的社会保障事業
- 管理・支援サービス業
- 不動産業、建設業
- 情報通信業（ナビ、マッピング）
- 情報通信業（広告・出版）
- 情報通信業（AI・データ分析）
- 運輸・保管業
- 電気・ガス・蒸気及び空調供給業
- 製造業（エレクトロニクス）
- 製造業（衣料）
- 農業・林業及び漁業
- その他のサービス業
- 芸術・娯楽及びレクリエーション
- 教育
- 管理・支援サービス業（旅行）
- 専門・科学・技術サービス業
- 金融・保険業
- 情報通信業（ソフトウェア/ハードウェア、アプリなど）
- 情報通信業（映像）
- 宿泊・飲食サービス業
- 卸売・小売業並びに自動車及びオートバイ修理業
- 製造業（その他）
- 製造業（日用品）
- 鉱業及び採石業

【お問い合わせ先】
日本貿易振興機構（ジェトロ）
対日投資部 対日投資課
DX推進チーム
東京都港区赤坂1-12-32
Tel. 03 3582 5571
Email: dxpt@jetro.go.jp

★本書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。